

調査の概要

自宅等にお住まいの高齢者の方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討する目的で実施しました。

調査対象	居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護施設の管理者、ケアマネジャー
調査対象数	事業所票：125 か所 利用者票：279 人
調査方法	令和8年1月26日～令和8年2月24日 メールによる送付、回答

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
在宅生活改善調査	125 か所	66 か所	52.8%

調査結果の見方

- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。

事業所票

(1) ケアマネジャー、および利用者の人数

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。
(数値を記入)

n=66 単位：人

	合計人数	平均人数
1) 所属するケアマネジャーの人数	234	3.55
2) 「自宅等 ※3) を除く」にお住まいの利用者数	5,697	86.32
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」 にお住まいの利用者数	420	6.36

ケアマネジャー、および利用者の人数について、平均人数は「所属するケアマネジャーの人数」が 3.55 人、「「自宅等 ※3) を除く」にお住まいの利用者数」が 86.32 人、「「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数」が 6.36 人となっています。

(2) 居場所を変更した利用者数

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご記入ください。(数値を記入)

n=66 単位：人

介護度		合計人数	平均人数
① 自宅等から、 変更した利用者 居場所を	要支援1	25	0.38
	要支援2	24	0.36
	要介護1	150	2.27
	要介護2	110	1.67
	要介護3	97	1.47
	要介護4	121	1.83
	要介護5	48	0.73
	申請中・不明	71	1.08
② 自宅等での死亡		374	5.67
合計		1,020	15.45

居場所を変更した利用者数について、66事業所の合計を要介護度別でみると、「要介護1」が150人と最も多く、次いで「要介護4」が121人となっています。

(3) 居場所を変更した利用者の行先

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご記入ください。（数値を記入）

n=66 単位：人

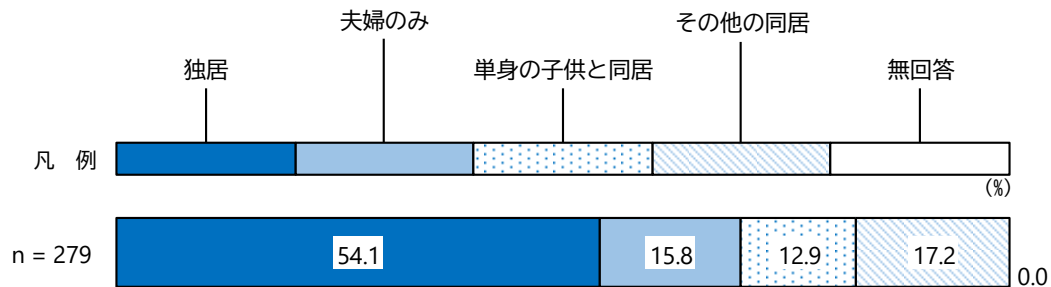
	市内	市外
1)兄弟・子ども・親戚等の家	6	10
2)住宅型有料老人ホーム	42	5
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	4	1
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	45	3
5)グループホーム	57	1
6)特定施設	37	1
7)地域密着型特定施設	16	0
8)介護老人保健施設	93	8
9)介護医療院	21	0
10)特別養護老人ホーム	83	3
11)地域密着型特別養護老人ホーム	13	0
12)病院・診療所 ※一時的な入院を除く	105	2
13)その他	19	3
1)～13)合計	578	
14)行先を把握していない	68	
15)死亡（※搬送先での死亡を含む）	374	
合計	1,020	

居場所を変更した利用者の行先について、市内の「病院・診療所 ※一時的な入院を除く」が105人と最も多く、次いで市内の「介護老人保健施設」が93人、市内の「特別養護老人ホーム」が83人となっています。

利用者票

(1) 世帯類型

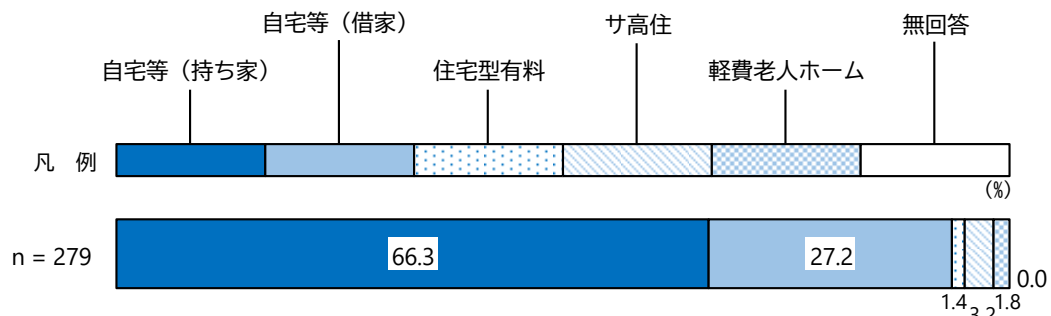
問1-1 世帯類型（番号1つ選択記入）



世帯類型について、「独居」が54.1%と最も高く、次いで「その他の同居」（17.2%）、「夫婦のみ」（15.8%）となっています。

(2) 現在の居所

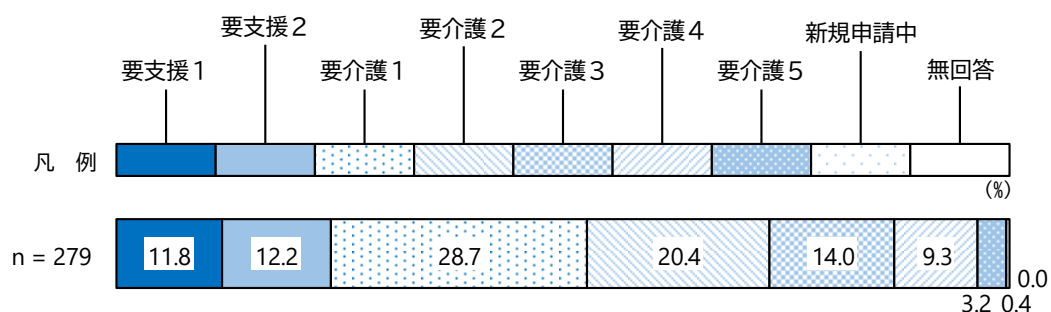
問1-2 現在の居所（番号1つ選択記入）



現在の居所について、「自宅等（持ち家）」が66.3%と最も高く、次いで「自宅等（借家）」（27.2%）、「サ高住」（3.2%）となっています。

(3) 要支援・要介護度

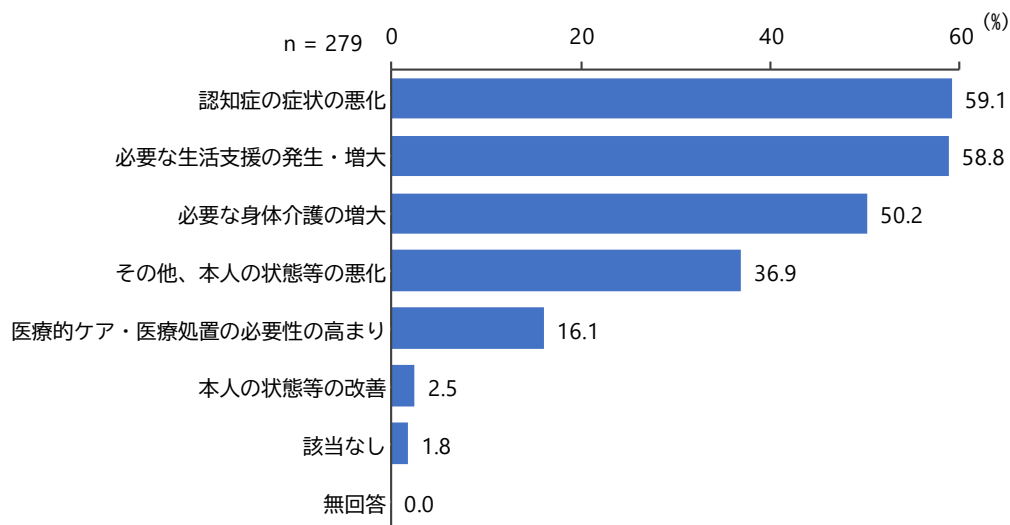
問1-3 要支援・要介護度（番号1つ選択記入）



要支援・要介護度について、「要介護1」が28.7%と最も高く、次いで「要介護2」（20.4%）、「要介護3」（14.0%）となっています。

(4) 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態等）

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

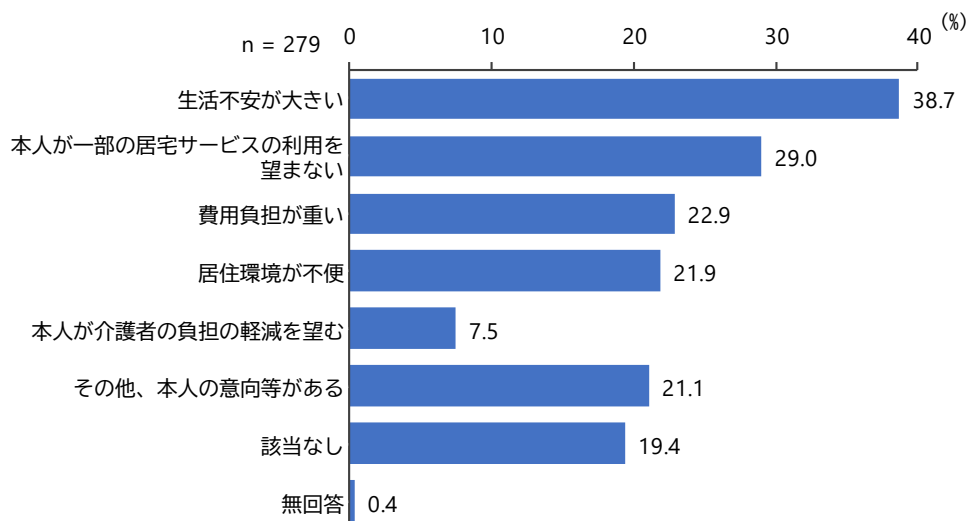


生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態等）について、「認知症の症状の悪化」が59.1%と最も高く、次いで「必要な生活支援の発生・増大」（58.8%）、「必要な身体介護の増大」（50.2%）となっています。

(5) 生活の維持が難しくなっている理由（主に本人の意向等）

問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

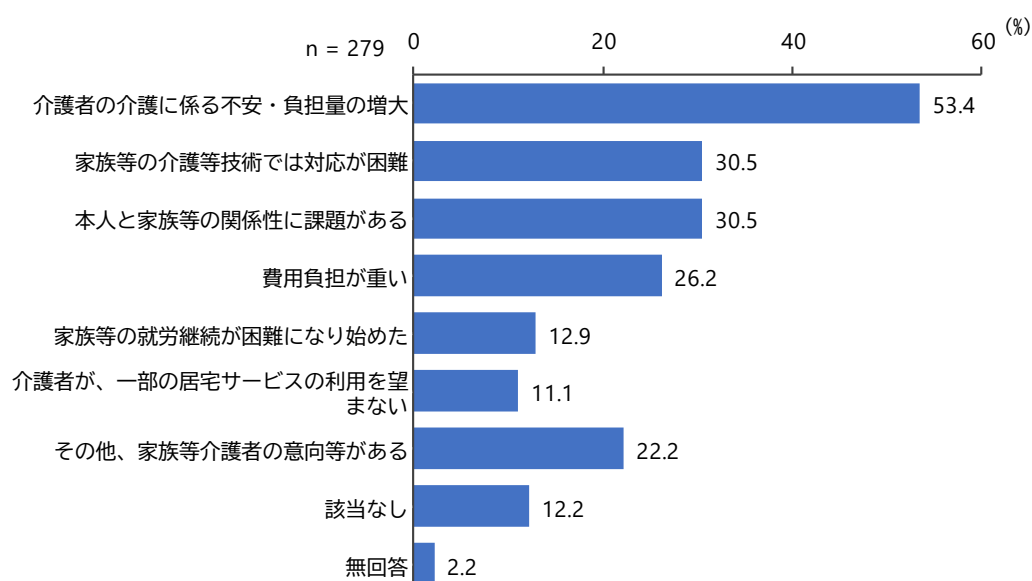
（あてはまる番号すべて選択記入）



生活の維持が難しくなっている理由（主に本人の意向等）について、「生活不安が大きい」が38.7%と最も高く、次いで「本人が一部の居宅サービスの利用を望まない」（29.0%）、「費用負担が重い」（22.9%）となっています。

（６）生活の維持が難しくなっている理由（主に家族等介護者の意向・負担等）

問２-３ 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください
（あてはまる番号すべて選択記入）

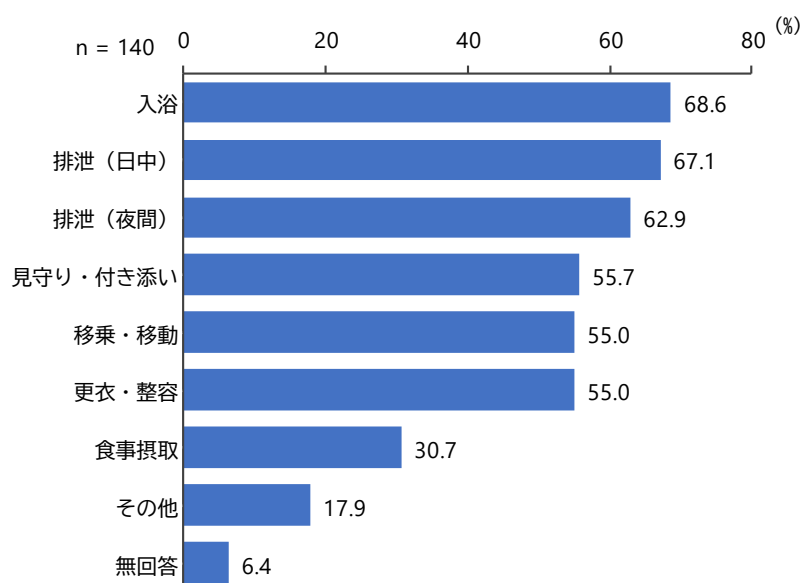


生活の維持が難しくなっている理由（主に家族等介護者の意向・負担等）について、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が53.4%と最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」「本人と家族等の関係性に課題がある」（ともに30.5%）、「費用負担が重い」（26.2%）となっています。

（７）必要な身体介護

【問２-１で「３．必要な身体介護の増大」と回答した方】

問２-４ 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

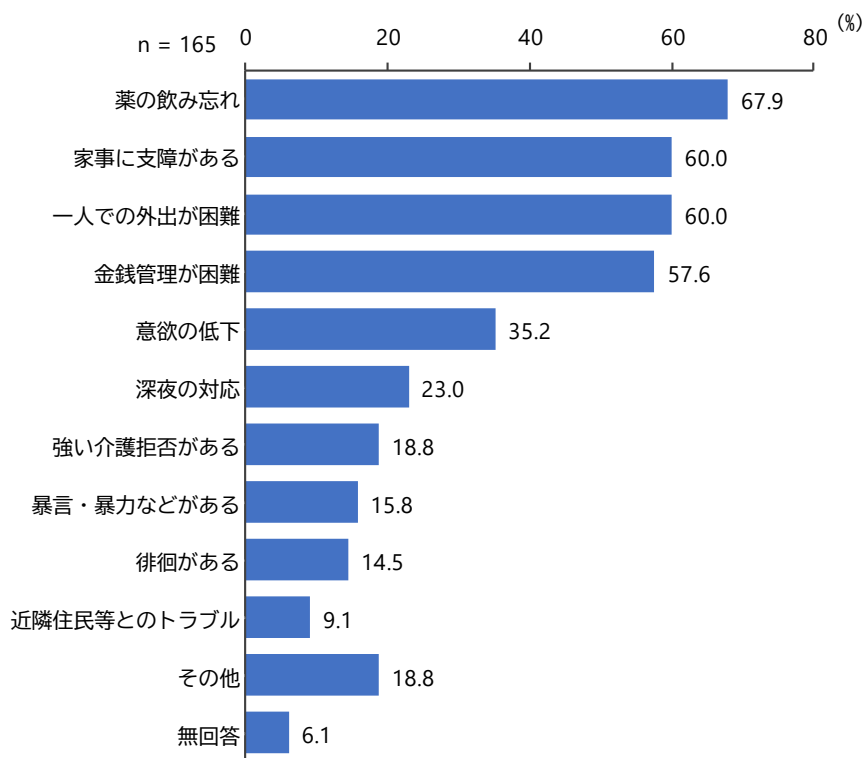


必要な身体介護について、「入浴」が68.6%と最も高く、次いで「排泄（日中）」（67.1%）、「排泄（夜間）」（62.9%）となっています。

(8) 悪化した認知症の症状

【問2-1で「4. 認知症の症状の悪化」と回答した方】

問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください(あてはまる番号すべて選択記入)



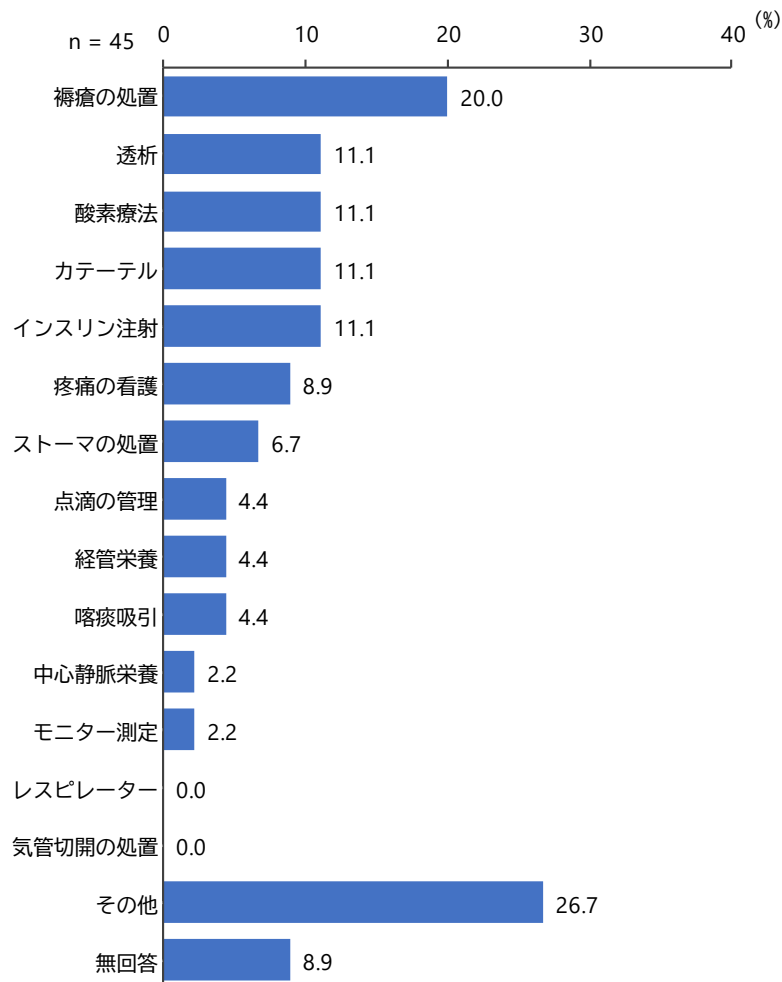
悪化した認知症の症状について、「薬の飲み忘れ」が67.9%と最も高く、次いで「家事に支障がある」「一人での外出が困難」（ともに60.0%）、「金銭管理が困難」（57.6%）となっています。

（９）必要性が高まった医療的ケア・医療処置

【問２-１で「５．医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」と回答した方】

問２-６ 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

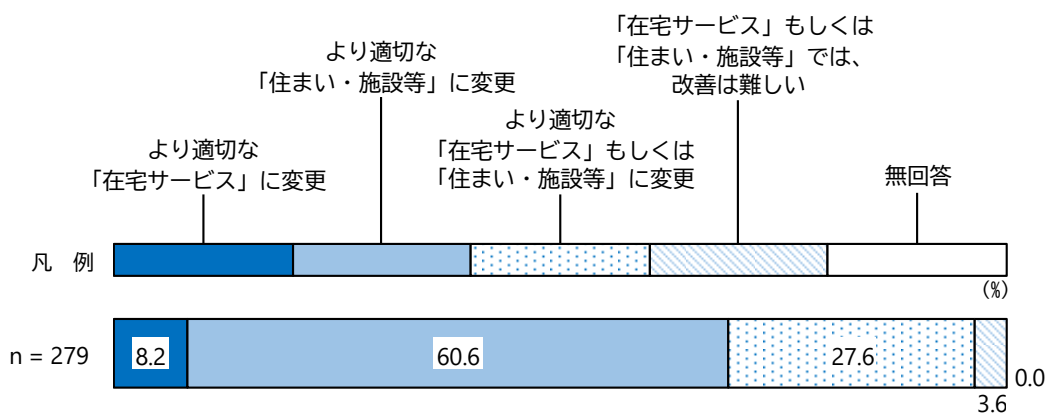
（あてはまる番号すべて選択記入）



必要性が高まった医療的ケア・医療処置について、「褥瘡の処置」が 20.0%と最も高く、次いで「透析」「酸素療法」「カテーテル」「インスリン注射」（ともに 11.1%）、「疼痛の看護」（8.9%）となっています。

(10) 変更することで改善できると思うサービス

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。（番号1つ選択記入）

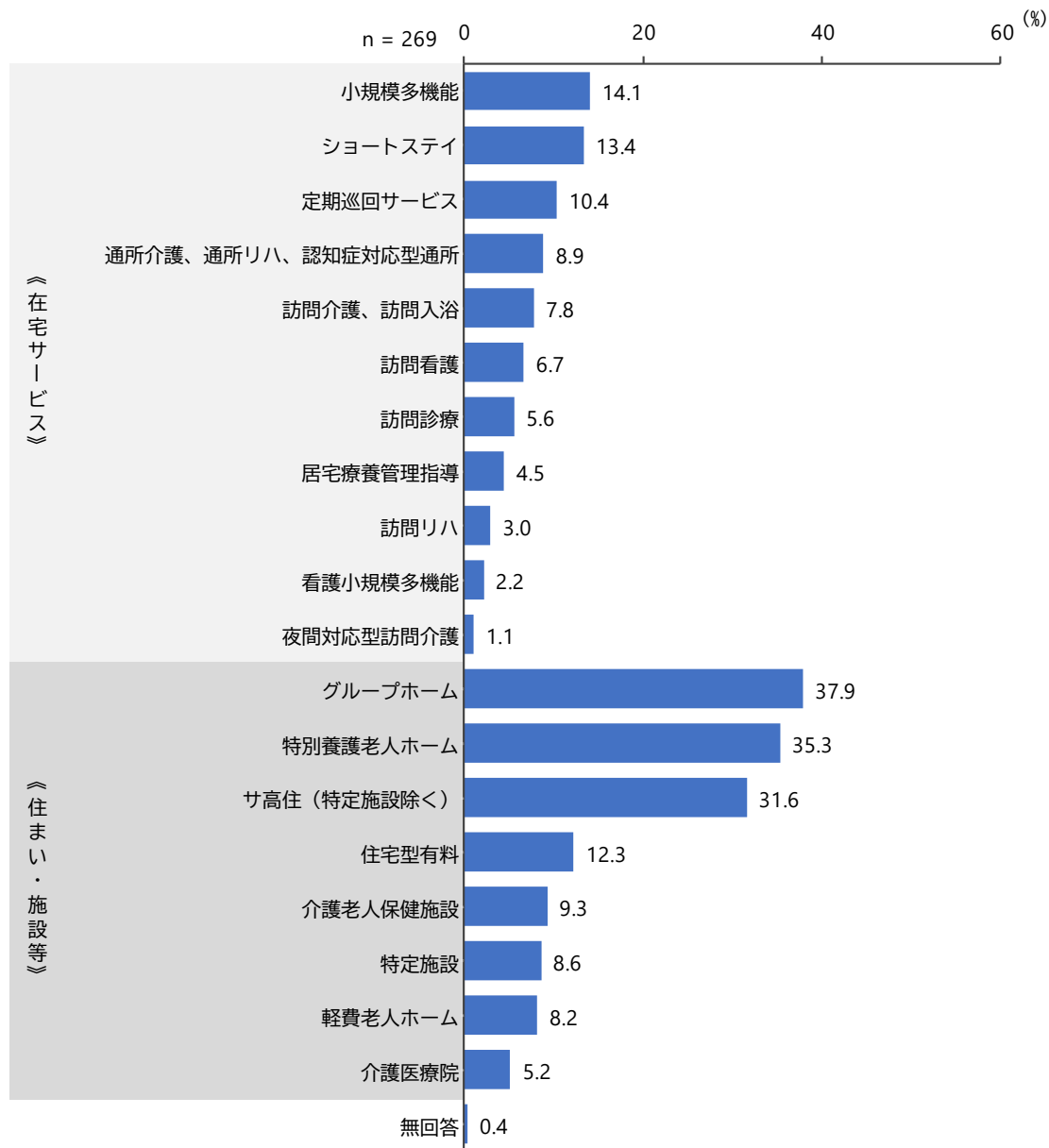


変更することで改善できると思うサービスについて、「より適切な「住まい・施設等」に変更」が60.6%と最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更」（27.6%）、「より適切な「在宅サービス」に変更」（8.2%）となっています。

(11) 本来であればより適切と思うサービス

【問3-1で《「在宅サービス」、「住まい・施設等」への変更で改善できる》と回答した方】

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）



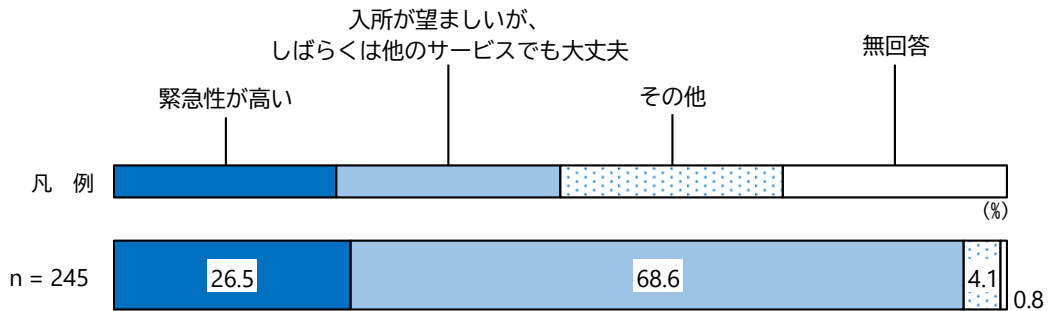
本来であればより適切と思うサービスについて、《在宅サービス》では、「小規模多機能」が14.1%と最も高く、次いで「ショートステイ」（13.4%）、「定期巡回サービス」（10.4%）となっています。

《住まい・施設等》では、「グループホーム」が37.9%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」（35.3%）、「サ高住（特定施設除く）」（31.6%）となっています。

(12) 入所・入居の緊急度

【問3-2で《住まい・施設等》と回答した方】

問3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください（番号1つ選択記入）

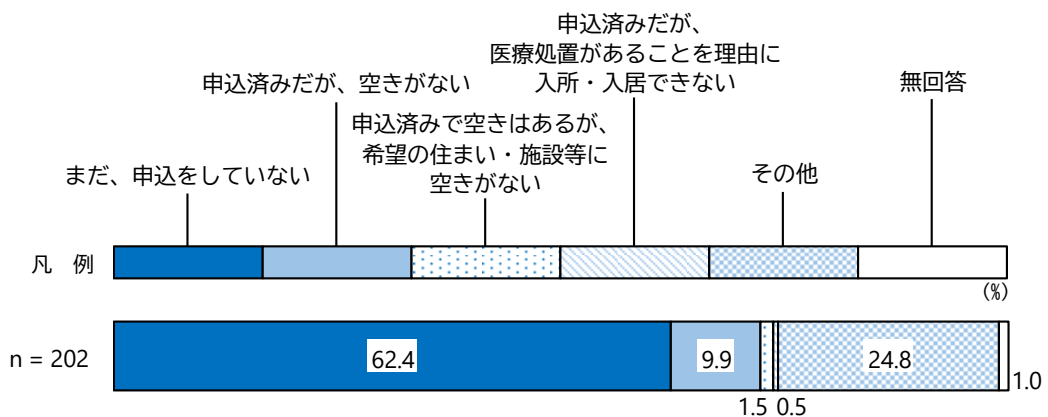


入所・入居の緊急度について、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が68.6%、「緊急性が高い」が26.5%となっています。

(13) 入所・入居できていない理由

【問3-2で《住まい・施設等》（※特養以外）と回答した方】

問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

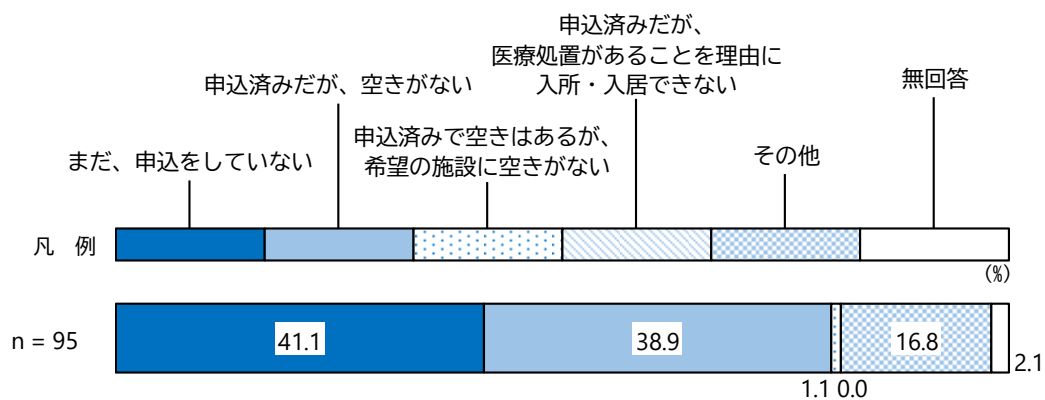


入所・入居できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が62.4%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」(9.9%)、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」(1.5%)となっています。

(14) 特養に入所できていない理由

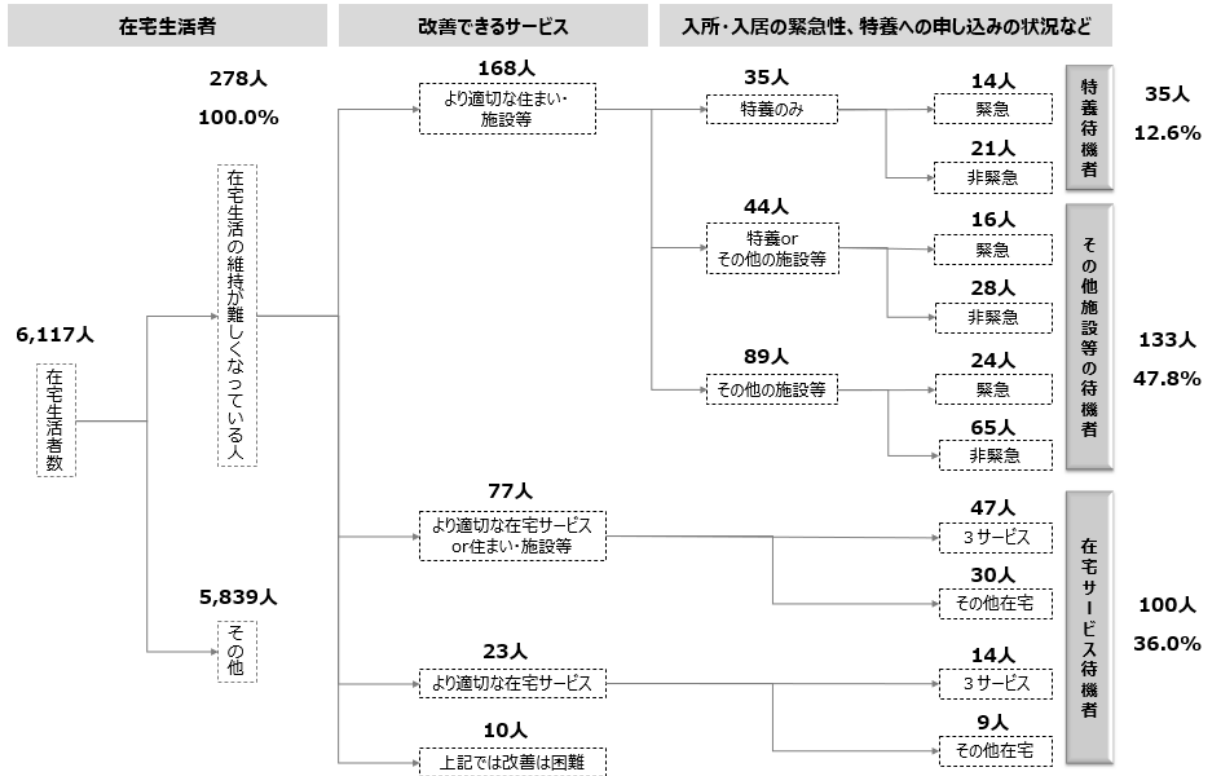
【問3-2で「19. 特別養護老人ホーム」と回答した方】

問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）



特養に入所できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が41.1%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」（38.9%）、「申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない」（1.1%）となっています。

(15) 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1) 「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計 279 人のうち、上記の分類が可能な 278 人について分類しています（分類不能な場合は「その他」に算入しています）。割合（％）は、278 人を分母として算出したものです。

(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

(注4) 上記に示す人数は、「回答実数」であり、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出した「粗推計」されたものではありません。

(16) 「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス

生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(133人)				在宅サービス待機者(100人)			
住まい・施設等	住宅型有料	20人	15.0%		住宅型有料	13人	13.0%	
	サ高住	55人	41.4%		サ高住	30人	30.0%	
	軽費老人ホーム	17人	12.8%		軽費老人ホーム	5人	5.0%	
	グループホーム	68人	51.1%		グループホーム	34人	34.0%	
	特定施設	17人	12.8%		特定施設	6人	6.0%	
	介護老人保健施設	14人	10.5%		介護老人保健施設	11人	11.0%	
	介護医療院	9人	6.8%		介護医療院	5人	5.0%	
	特別養護老人ホーム	44人	33.1%		特別養護老人ホーム	16人	16.0%	
在宅サービス					ショートステイ	36人	36.0%	
					訪問介護、訪問入浴	21人	21.0%	
					夜間対応型訪問介護	3人	3.0%	
					訪問看護	18人	18.0%	
					訪問リハ	8人	8.0%	
					通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	24人	24.0%	
					定期巡回サービス	28人	28.0%	
					小規模多機能	38人	38.0%	
					看護小規模多機能	6人	6.0%	
					訪問診療	15人	15.0%	
					居宅療養管理指導	12人	12.0%	

生活の改善に向けて、代替が可能

(注1) 割合は、それぞれ、その他施設等の待機者 133 人、在宅サービス待機者 100 人を分母として算出したものです。

(注2) 「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」の両方を回答している場合は、代替が可能としています。

事業所票

15

利用者票

在宅生活改善調査 利用者票 (●●年●●月●●日現在の状況について回答してください。)

自宅、「サ高住」、「賃貸老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。

例えば「徘徊型身体介護の利用がより適切と認む利用者」、認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と認む方」が対象である。

[illegible]

2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

期別	期1	期2	期3	期4	期5	期6	期7	期8	期9	期10	期11	期12	期13	期14	期15	期16	期17	期18	期19	期20	期21	期22	期23	期24	期25	期26	期27	期28	期29	期30	期31	期32	期33	期34	期35	期36	期37	期38	期39	期40	期41	期42	期43	期44	期45	期46	期47	期48	期49	期50	期51	期52	期53	期54	期55	期56	期57	期58	期59	期60	期61	期62	期63	期64	期65	期66	期67	期68	期69	期70	期71	期72	期73	期74	期75	期76	期77	期78	期79	期80	期81	期82	期83	期84	期85	期86	期87	期88	期89	期90	期91	期92	期93	期94	期95	期96	期97	期98	期99	期100	期101	期102	期103	期104	期105	期106	期107	期108	期109	期110	期111	期112	期113	期114	期115	期116	期117	期118	期119	期120	期121	期122	期123	期124	期125	期126	期127	期128	期129	期130	期131	期132	期133	期134	期135	期136	期137	期138	期139	期140	期141	期142	期143	期144	期145	期146	期147	期148	期149	期150	期151	期152	期153	期154	期155	期156	期157	期158	期159	期160	期161	期162	期163	期164	期165	期166	期167	期168	期169	期170	期171	期172	期173	期174	期175	期176	期177	期178	期179	期180	期181	期182	期183	期184	期185	期186	期187	期188	期189	期190	期191	期192	期193	期194	期195	期196	期197	期198	期199	期200	期201	期202	期203	期204	期205	期206	期207	期208	期209	期210	期211	期212	期213	期214	期215	期216	期217	期218	期219	期220	期221	期222	期223	期224	期225	期226	期227	期228	期229	期230	期231	期232	期233	期234	期235	期236	期237	期238	期239	期240	期241	期242	期243	期244	期245	期246	期247	期248	期249	期250	期251	期252	期253	期254	期255	期256	期257	期258	期259	期260	期261	期262	期263	期264	期265	期266	期267	期268	期269	期270	期271	期272	期273	期274	期275	期276	期277	期278	期279	期280	期281	期282	期283	期284	期285	期286	期287	期288	期289	期290	期291	期292	期293	期294	期295	期296	期297	期298	期299	期300	期301	期302	期303	期304	期305	期306	期307	期308	期309	期310	期311	期312	期313	期314	期315	期316	期317	期318	期319	期320	期321	期322	期323	期324	期325	期326	期327	期328	期329	期330	期331	期332	期333	期334	期335	期336	期337	期338	期339	期340	期341	期342	期343	期344	期345	期346	期347	期348	期349	期350	期351	期352	期353	期354	期355	期356	期357	期358	期359	期360	期361	期362	期363	期364	期365	期366	期367	期368	期369	期370	期371	期372	期373	期374	期375	期376	期377	期378	期379	期380	期381	期382	期383	期384	期385	期386	期387	期388	期389	期390	期391	期392	期393	期394	期395	期396	期397	期398	期399	期400	期401	期402	期403	期404	期405	期406	期407	期408	期409	期410	期411	期412	期413	期414	期415	期416	期417	期418	期419	期420	期421	期422	期423	期424	期425	期426	期427	期428	期429	期430	期431	期432	期433	期434	期435	期436	期437	期438	期439	期440	期441	期442	期443	期444	期445	期446	期447	期448	期449	期450	期451	期452	期453	期454	期455	期456	期457	期458	期459	期460	期461	期462	期463	期464	期465	期466	期467	期468	期469	期470	期471	期472	期473	期474	期475	期476	期477	期478	期479	期480	期481	期482	期483	期484	期485	期486	期487	期488	期489	期490	期491	期492	期493	期494	期495	期496	期497	期498	期499	期500	期501	期502	期503	期504	期505	期506	期507	期508	期509	期510	期511	期512	期513	期514	期515	期516	期517	期518	期519	期520	期521	期522	期523	期524	期525	期526	期527	期528	期529	期530	期531	期532	期533	期534	期535	期536	期537	期538	期539	期540	期541	期542	期543	期544	期545	期546	期547	期548	期549	期550	期551	期552	期553	期554	期555	期556	期557	期558	期559	期560	期561	期562	期563	期564	期565	期566	期567	期568	期569	期570	期571	期572	期573	期574	期575	期576	期577	期578	期579	期580	期581	期582	期583	期584	期585	期586	期587	期588	期589	期590	期591	期592	期593	期594	期595	期596	期597	期598	期599	期600	期601	期602	期603	期604	期605	期606	期607	期608	期609	期610	期611	期612	期613	期614	期615	期616	期617	期618	期619	期620	期621	期622	期623	期624	期625	期626	期627	期628	期629	期630	期631	期632	期633	期634	期635	期636	期637	期638	期639	期640	期641	期642	期643	期644	期645	期646	期647	期648	期649	期650	期651	期652	期653	期654	期655	期656	期657	期658	期659	期660	期661	期662	期663	期664	期665	期666	期667	期668	期669	期670	期671	期672	期673	期674	期675	期676	期677	期678	期679	期680	期681	期682	期683	期684	期685	期686	期687	期688	期689	期690	期691	期692	期693	期694	期695	期696	期697	期698	期699	期700	期701	期702	期703	期704	期705	期706	期707	期708	期709	期710	期711	期712	期713	期714	期715	期716	期717	期718	期719	期720	期721	期722	期723	期724	期725	期726	期727	期728	期729	期730	期731	期732	期733	期734	期735	期736	期737	期738	期739	期740	期741	期742	期743	期744	期745	期746	期747	期748	期749	期750	期751	期752	期753	期754	期755	期756	期757	期758	期759	期760	期761	期762	期763	期764	期765	期766	期767	期768	期769	期770	期771	期772	期773	期774	期775	期776	期777	期778	期779	期780	期781	期782	期783	期784	期785	期786	期787	期788	期789	期790	期791	期792	期793	期794	期795	期796	期797	期798	期799	期800	期801	期802	期803	期804	期805	期806	期807	期808	期809	期810	期811	期812	期813	期814	期815	期816	期817	期818	期819	期820	期821	期822	期823	期824	期825	期826	期827	期828	期829	期830	期831	期832	期833	期834	期835	期836	期837	期838	期839	期840	期841	期842	期843	期844	期845	期846	期847	期848	期849	期850	期851	期852	期853	期854	期855	期856	期857	期858	期859	期860	期861	期862	期863	期864	期865	期866	期867	期868	期869	期870	期871	期872	期873	期874	期875	期876	期877	期878	期879	期880	期881	期882	期883	期884	期885	期886	期887	期888	期889	期890	期891	期892	期893	期894	期895	期896	期897	期898	期899	期900	期901	期902	期903	期904	期905	期906	期907	期908	期909	期910	期911	期912	期913	期914	期915	期916	期917	期918	期919	期920	期921	期922	期923	期924	期925	期926	期927	期928	期929	期930	期931	期932	期933	期934	期935	期936	期937	期938	期939	期940	期941	期942	期943	期944	期945	期946	期947	期948	期949	期950	期951	期952	期953	期954	期955	期956	期957	期958	期959	期960	期961	期962	期963	期964	期965	期966	期967	期968	期969	期970	期971	期972	期973	期974	期975	期976	期977	期978	期979	期980	期981	期982	期983	期984	期985	期986	期987	期988	期989	期990	期991	期992	期993	期994	期995	期996	期997	期998	期999	期1000
期別	期1	期2	期3	期4	期5	期6	期7	期8	期9	期10	期11	期12	期13	期14	期15	期16	期17	期18	期19	期20	期21	期22	期23	期24	期25	期26	期27	期28	期29	期30	期31	期32	期33	期34	期35	期36	期37	期38	期39	期40	期41	期42	期43	期44	期45	期46	期47	期48	期49	期50	期51	期52	期53	期54	期55	期56	期57	期58	期59	期60	期61	期62	期63	期64	期65	期66	期67	期68	期69	期70	期71	期72	期73	期74	期75	期76	期77	期78	期79	期80	期81	期82	期83	期84	期85	期86	期87	期88	期89	期90	期91	期92	期93	期94	期95	期96	期97	期98	期99	期100	期101	期102	期103	期104	期105	期106	期107	期108	期109	期110	期111	期112	期113	期114	期115	期116	期117	期118	期119	期120	期121	期122	期123	期124	期125	期126	期127	期128	期129	期130	期131	期132	期133	期134	期135	期136	期137	期138	期139	期140	期141	期142	期143	期144	期145	期146	期147	期148	期149	期150	期151	期152	期153	期154	期155	期156	期157	期158	期159	期160	期161	期162	期163	期164	期165	期166	期167	期168	期169	期170	期171	期172	期173	期174	期175	期176	期177	期178	期179	期180	期181	期182	期183	期184	期185	期186	期187	期188	期189	期190	期191	期192	期193	期194	期195	期196	期197	期198	期199	期200	期201	期202	期203	期204	期205	期206	期207	期208	期209	期210	期211	期212	期213	期214	期215	期216	期217	期218	期219	期220	期221	期222	期223	期224	期225	期226	期227	期228	期229	期230	期231	期232	期233	期234	期235	期236	期237	期238	期239	期240	期241	期242	期243	期244	期245	期246	期247	期248	期249	期250	期251	期252	期253	期254	期255	期256	期257	期258	期259	期260	期261	期262	期263	期264	期265	期266	期267	期268	期269	期270	期271	期272	期273	期274	期275	期276	期277	期278	期279	期280	期281	期282	期283	期284	期285	期286	期287	期288	期289	期290	期291	期292	期293	期294	期295	期296	期297	期298	期299	期300	期301	期302	期303	期304	期305	期306	期307	期308	期309	期310	期311	期312	期313	期314	期315	期316	期317	期318	期319	期320	期321	期322	期323	期324	期325	期326	期327	期328	期329	期330	期331	期332	期333	期334	期335	期336	期337	期338	期339	期340	期341	期342	期343	期344	期345	期346	期347	期348	期349	期350	期351	期352	期353	期354	期355	期356	期357	期358	期359	期360	期361	期362	期363	期364	期365	期366	期367	期368	期369	期370	期371	期372	期373	期374	期375	期376	期377	期378	期379	期380	期381	期382	期383	期384	期385	期386	期387	期388	期389	期390	期391	期392	期393	期394	期395	期396	期397	期3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

調査の概要

市内の施設・居住系サービス事業における、過去 1 年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討するために実施しました。

調査対象	グループホーム、（地域密着型）特定施設入居者生活介護、（地域密着型）特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム
調査対象数	139 か所
調査方法	令和 7 年 11 月 10 日～令和 7 年 12 月 12 日 メールによる送付、回答

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
居所変更実態調査	139 か所	107 か所	77.0%

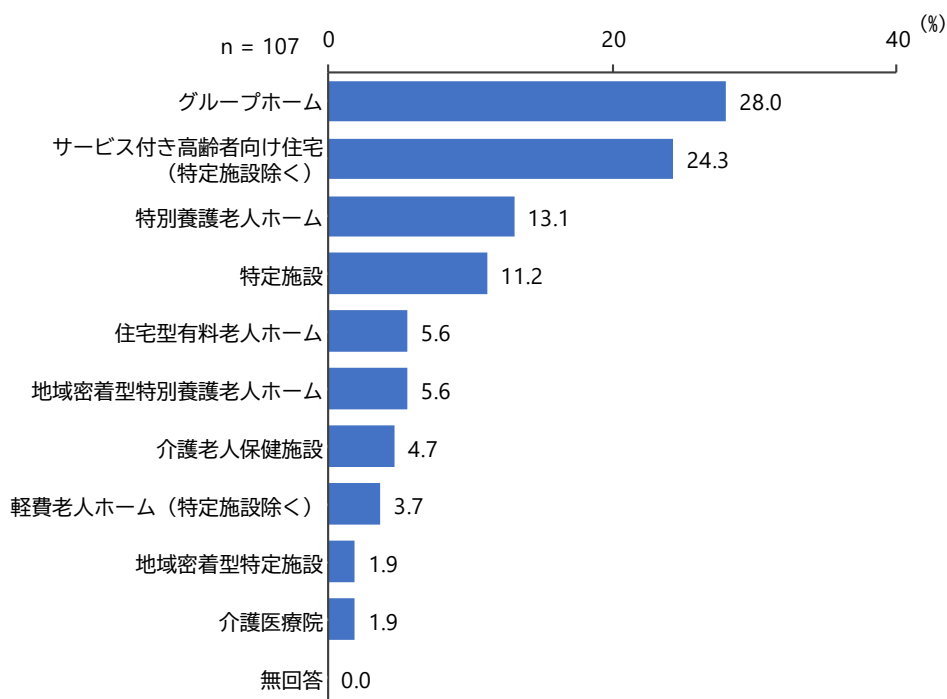
調査結果の見方

- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフの n の値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数第 2 位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が 100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。

施設等票

(1) サービス種別

問1 該当するサービス種別をご回答ください。(1つに○)



サービス種別について、「グループホーム」が28.0%と最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」(24.3%)、「特別養護老人ホーム」(13.1%)となっています。

(2) 施設の概要

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

【入所・入居者の要介護度】

	調査数	0～49 人	50～99 人	100～150 人	合計	平均
定員数 (※)	71 施設	41 施設	23 施設	7 施設	2,969 人	41.82 人
住宅戸数 (※)	26 施設	26 施設	0 施設	0 施設	620 戸	23.85 戸
居室数 (※)	10 施設	7 施設	3 施設	0 施設	322 室	32.20 室
入居者数	107 施設	79 施設	25 施設	3 施設	3,596 人	33.61 人
待機者数	107 施設	86 施設	6 施設	4 施設	3,211 人	30.01 人
特別養護老人ホームの 待機者数	87 施設	82 施設	0 施設	0 施設	148 人	1.70 人

※サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」を回答

※特別養護老人ホームの待機者数については、特養・地域密着型特養は非該当

施設の概要について、平均は「定員数」が 41.82 人、「住宅戸数」が 23.85 戸、「居室数」が 32.20 室、「入居者数」が 33.61 人、「待機者数」が 30.01 人、「特別養護老人ホームの待機者数」が 1.70 人となっています。

(3) 入所・入居者の要介護度

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご記入ください。(数値を記入)

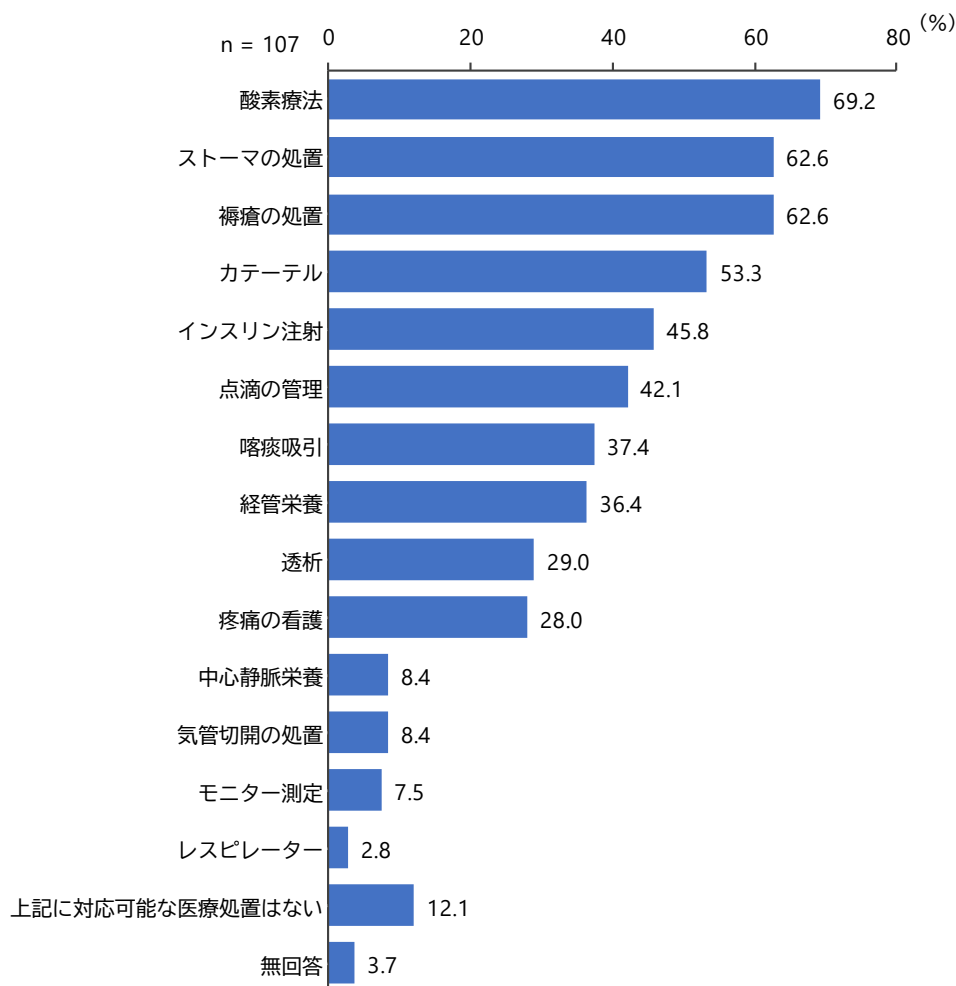
【入所・入居者の要介護度】 n=107 単位:人

介護度	合計人数	平均人数
自立	72	0.67
要支援1	102	0.95
要支援2	70	0.65
要介護1	640	5.98
要介護2	528	4.93
要介護3	593	5.54
要介護4	1,018	9.51
要介護5	561	5.24
申請中・不明	12	0.11

入所・入居者の要介護度について、「要介護4」が 1,018 人と最も多く、次いで「要介護1」(640 人)、「要介護3」(593 人)となっています。

(4) 受け入れ可能な医療処置の種類

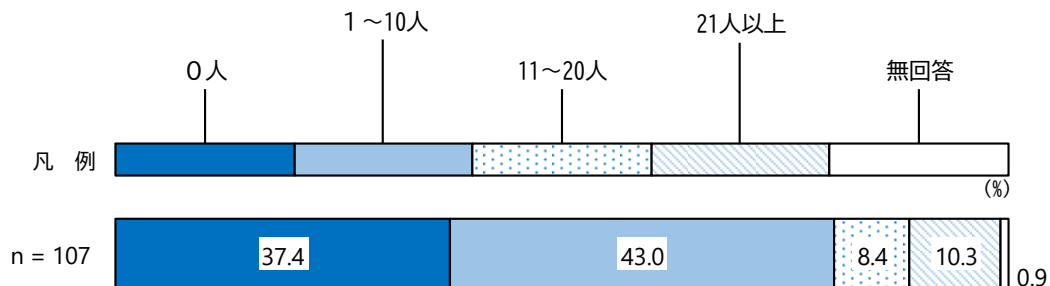
問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。
(あてはまる項目全てに○)



受け入れ可能な医療処置の種類について、「酸素療法」が69.2%と最も高く、次いで「ストーマの処置」「褥瘡の処置」(ともに62.6%)、「カテーテル」(53.3%)となっています。

(5) 医療処置が必要な入所・入居者数

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。(数値を記入)



医療処置が必要な入所・入居者数について、「1～10人」が43.0%と最も高く、次いで「0人」(37.4%)、「21人以上」(10.3%)となっています。

(5) 過去1年間の新規の入所・入居者

問6 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に、貴施設等へ新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。（数値を記入）

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

【入所・入居する前の居場所】

n=107 単位:人

	市内	市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	485	53
2)住宅型有料老人ホーム	28	7
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	6	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	43	1
5)グループホーム	12	1
6)特定施設	6	1
7)地域密着型特定施設	10	0
8)介護老人保健施設	175	8
9)介護医療院	10	1
10)特別養護老人ホーム	19	1
11)地域密着型特別養護老人ホーム	1	0
12)病院・診療所（一時的な入院を除く）	640	70
13)その他	22	1
14)入居・入所する前の居場所を把握していない	2	
合計	1,603	
平均	14.98	

過去1年間の新規の入所・入居者の人数について、107施設合計で1,603人となっています。

また、入所・入居する前の居場所について、市内の「病院・診療所（一時的な入院を除く）」が640人と最も多く、次いで市内の「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」（485人）、市内の「介護老人保健施設」（175人）となっています。

(6) 過去1年間の退去者

問8 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。（数値を記入）

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

【要介護度別退去者数】

n=107 単位:人

介護度		合計人数	平均人数
①退去者	自立	6	0.06
	要支援1	11	0.10
	要支援2	7	0.07
	要介護1	88	0.82
	要介護2	79	0.74
	要介護3	103	0.96
	要介護4	192	1.79
	要介護5	118	1.10
	申請中・不明	3	0.03
②施設等での死亡 ※搬送先での死亡を含む		832	7.78
合計		1,439	13.45

【退去先別の退去者数】

n=107 単位:人

	市内	市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	80	7
2)住宅型有料老人ホーム	12	0
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	2	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	21	3
5)グループホーム	23	3
6)特定施設	18	1
7)地域密着型特定施設	1	0
8)介護老人保健施設	14	1
9)介護医療院	12	0
10)「9」以外の病院・診療所（一時的な入院を除く）	262	19
11)特別養護老人ホーム	89	11
12)地域密着型特別養護老人ホーム	18	1
13)その他	5	1
14)行先を把握していない	3	
1)～14)の合計	607	
15)死亡	832	
合計	1,439	

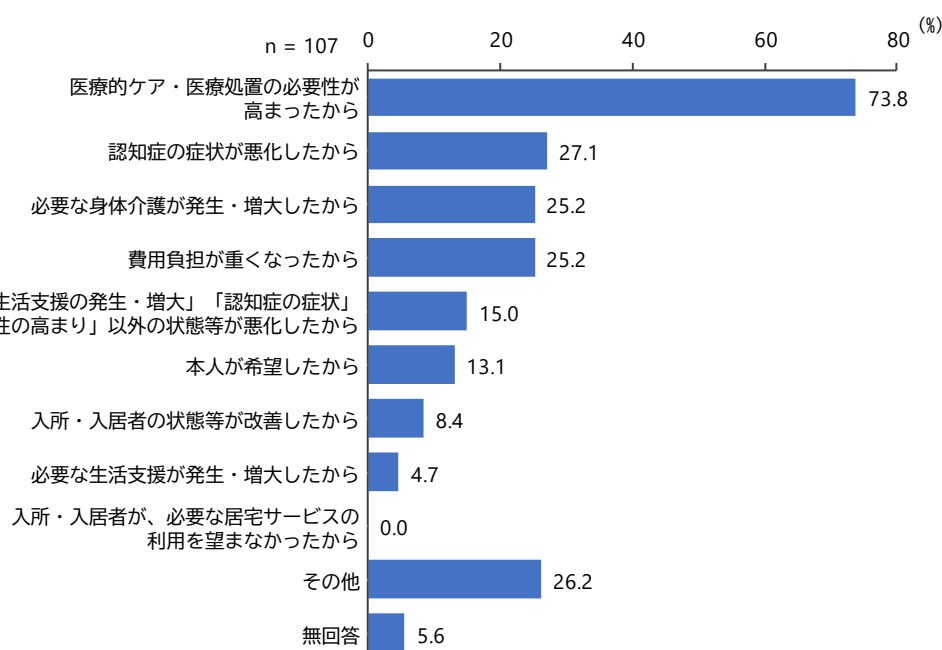
過去1年間の退去者の人数について、107施設合計で1,439人となっています。

要介護度別退去者数については、「要介護4」が192人と最も多く、次いで「要介護5」（118人）、「要介護3」（103人）となっています。

また、退去先別の退去者数について、市内の「介護医療院」以外の病院・診療所（一時的な入院を除く）」が262人と最も多く、次いで市内の「特別養護老人ホーム」（89人）、市内の「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」（80人）となっています。一方、「死亡」は832人となっています。

（7）施設の退去理由

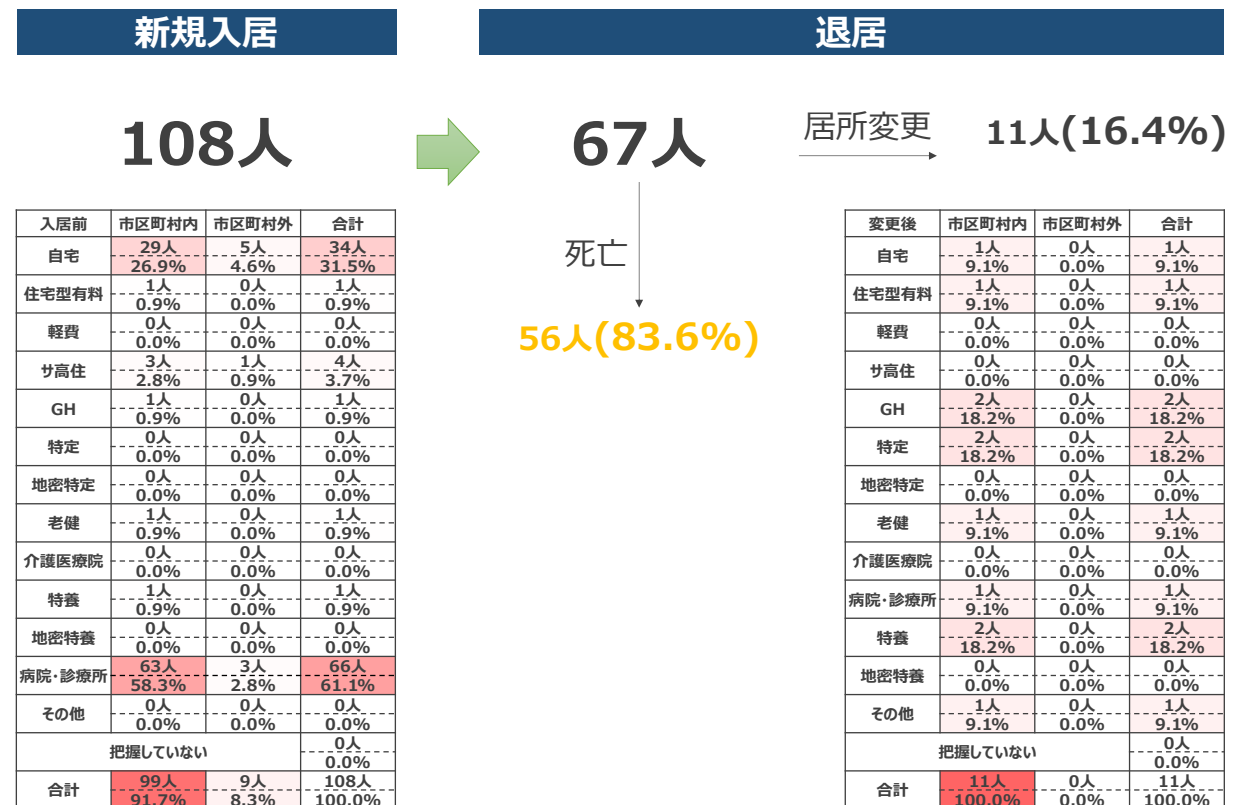
問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまで○）



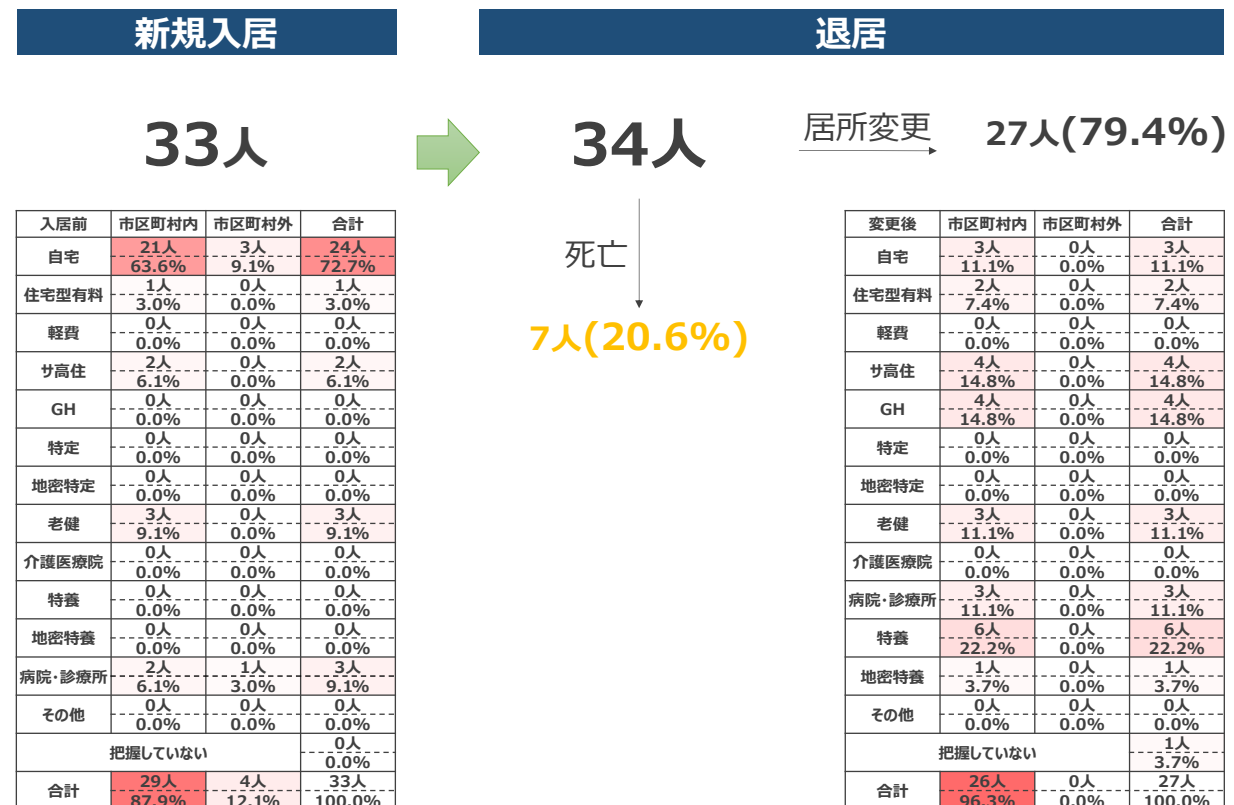
施設の退去理由について、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が73.8%と最も高く、次いで「認知症の症状が悪化したから」（27.1%）、「必要な身体介護が発生・増大したから」「費用負担が重くなったから」（ともに25.2%）となっています。

(8) 施設別にみた過去1年間の入居・退去の流れ

●住宅型有料老人ホーム（6施設 152室）



●軽費老人ホーム（4施設 170室）



●サービス付き高齢者向け住宅（26 施設 620 戸）

新規入居

退居

168人



144人

居所変更 97人(67.4%)

死亡

47人(32.6%)

入居前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	91人 54.2%	18人 10.7%	109人 64.9%
住宅型有料	5人 3.0%	2人 1.2%	7人 4.2%
軽費	2人 1.2%	0人 0.0%	2人 1.2%
サ高住	9人 5.4%	0人 0.0%	9人 5.4%
GH	1人 0.6%	0人 0.0%	1人 0.6%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	3人 1.8%	0人 0.0%	3人 1.8%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	1人 0.6%	1人 0.6%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	31人 18.5%	3人 1.8%	34人 20.2%
その他	1人 0.6%	1人 0.6%	2人 1.2%
把握していない			0人 0.0%
合計	143人 85.1%	25人 14.9%	168人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	8人 8.2%	3人 3.1%	11人 11.3%
住宅型有料	5人 5.2%	0人 0.0%	5人 5.2%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	7人 7.2%	2人 2.1%	9人 9.3%
GH	11人 11.3%	0人 0.0%	11人 11.3%
特定	11人 11.3%	0人 0.0%	11人 11.3%
地密特定	1人 1.0%	0人 0.0%	1人 1.0%
老健	5人 5.2%	0人 0.0%	5人 5.2%
介護医療院	7人 7.2%	0人 0.0%	7人 7.2%
病院・診療所	25人 25.8%	0人 0.0%	25人 25.8%
特養	5人 5.2%	2人 2.1%	7人 7.2%
地密特養	0人 0.0%	1人 1.0%	1人 1.0%
その他	2人 2.1%	0人 0.0%	2人 2.1%
把握していない			2人 2.1%
合計	87人 89.7%	8人 8.2%	97人 100.0%

●グループホーム（30 施設 定員 405 人）

新規入所

退所

117人



116人

居所変更 32人(27.6%)

死亡

84人(72.4%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	39人 33.3%	3人 2.6%	42人 35.9%
住宅型有料	6人 5.1%	0人 0.0%	6人 5.1%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	8人 6.8%	0人 0.0%	8人 6.8%
GH	3人 2.6%	0人 0.0%	3人 2.6%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	3人 2.6%	0人 0.0%	3人 2.6%
老健	8人 6.8%	0人 0.0%	8人 6.8%
介護医療院	1人 0.9%	0人 0.0%	1人 0.9%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	1人 0.9%	0人 0.0%	1人 0.9%
病院・診療所	28人 25.9%	1人 0.9%	29人 26.9%
その他	14人 13.0%	0人 0.0%	14人 12.0%
把握していない			2人 1.7%
合計	111人 94.9%	4人 3.4%	117人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	5人 15.6%	0人 0.0%	5人 15.6%
住宅型有料	1人 3.1%	0人 0.0%	1人 3.1%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	9人 9.4%	1人 3.1%	12人 12.5%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	12人 37.5%	0人 0.0%	12人 37.5%
特養	8人 25.0%	1人 3.1%	9人 28.1%
地密特養	1人 3.1%	0人 0.0%	1人 3.1%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	30人 93.8%	2人 6.3%	32人 100.0%

●特定施設（12施設 定員 722人）

新規入所

退所

196人



174人

居所変更

46人(26.4%)

死亡

128人(73.6%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	59人 30.1%	12人 6.1%	71人 36.2%
住宅型有料	4人 2.0%	3人 1.5%	7人 3.6%
軽費	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
サ高住	15人 7.7%	0人 0.0%	15人 7.7%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	2人 1.0%	0人 0.0%	2人 1.0%
地密特定	3人 1.5%	0人 0.0%	3人 1.5%
老健	13人 6.6%	2人 1.0%	15人 7.7%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	70人 35.7%	12人 6.1%	82人 41.8%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	167人 85.2%	29人 14.8%	196人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	2人 4.3%	1人 2.2%	3人 6.5%
住宅型有料	2人 4.3%	0人 0.0%	2人 4.3%
軽費	1人 2.2%	0人 0.0%	1人 2.2%
サ高住	7人 15.2%	0人 0.0%	7人 15.2%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	2人 4.3%	1人 2.2%	3人 6.5%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	2人 4.3%	0人 0.0%	2人 4.3%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	17人 37.0%	3人 6.5%	20人 43.5%
特養	7人 15.2%	1人 2.2%	8人 17.4%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	40人 87.0%	6人 13.0%	46人 100.0%

●地域密着型特定施設（2施設 定員 58人）

新規入所

退所

16人



17人

居所変更

2人(11.8%)

死亡

15人(88.2%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	8人 50.0%	0人 0.0%	8人 50.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 6.3%	0人 0.0%	1人 6.3%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	3人 18.8%	0人 0.0%	3人 18.8%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	4人 25.0%	0人 0.0%	4人 25.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	16人 100.0%	0人 0.0%	16人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	2人 100.0%	0人 0.0%	2人 100.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	2人 100.0%	0人 0.0%	2人 100.0%

●介護老人保健施設（5施設 定員 454人）

新規入所

退所

348人



298人

居所変更 → 186人(62.4%)

死亡

112人(37.6%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	104人 29.9%	4人 1.1%	108人 31.0%
住宅型有料	2人 0.6%	0人 0.0%	2人 0.6%
軽費	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
サ高住	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
GH	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	9人 2.6%	0人 0.0%	9人 2.6%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	207人 59.5%	18人 5.2%	225人 64.7%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	326人 93.7%	22人 6.3%	348人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	54人 29.0%	2人 1.1%	56人 30.1%
住宅型有料	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
軽費	1人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.5%
サ高住	2人 1.1%	1人 0.5%	3人 1.6%
GH	2人 1.1%	2人 1.1%	4人 2.2%
特定	3人 1.6%	0人 0.0%	3人 1.6%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	67人 36.0%	1人 0.5%	68人 36.6%
特養	47人 25.3%	3人 1.6%	50人 26.9%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	177人 95.2%	9人 4.8%	186人 100.0%

●介護医療院（2施設 定員 119人）

新規入所

退所

199人



191人

居所変更 → 138人(72.3%)

死亡

53人(27.7%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	4人 2.0%	0人 0.0%	4人 2.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	9人 4.5%	0人 0.0%	9人 4.5%
介護医療院	3人 1.5%	0人 0.0%	3人 1.5%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	160人 80.4%	23人 11.6%	183人 92.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	176人 88.4%	23人 11.6%	199人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	4人 2.9%	0人 0.0%	4人 2.9%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	1人 0.7%	0人 0.0%	1人 0.7%
GH	1人 0.7%	0人 0.0%	1人 0.7%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	2人 1.4%	1人 0.7%	3人 2.2%
介護医療院	5人 3.6%	0人 0.0%	5人 3.6%
病院・診療所	100人 72.5%	15人 10.9%	115人 83.3%
特養	5人 3.6%	2人 1.4%	7人 5.1%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	2人 1.4%	0人 0.0%	2人 1.4%
把握していない			0人 0.0%
合計	120人 87.0%	18人 13.0%	138人 100.0%

●特別養護老人ホーム（14施設 定員1,046人）

新規入所

退所

354人



324人

居所変更 43人(13.3%)

死亡

281人(86.7%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	106人 29.9%	8人 2.3%	114人 32.2%
住宅型有料	8人 2.3%	2人 0.6%	10人 2.8%
軽費	2人 0.6%	0人 0.0%	2人 0.6%
サ高住	2人 0.6%	0人 0.0%	2人 0.6%
GH	4人 1.1%	1人 0.3%	5人 1.4%
特定	2人 0.6%	1人 0.3%	3人 0.8%
地密特定	4人 1.1%	0人 0.0%	4人 1.1%
老健	116人 32.8%	6人 1.7%	122人 34.5%
介護医療院	6人 1.7%	1人 0.3%	7人 2.0%
特養	1人 0.3%	0人 0.0%	1人 0.3%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	68人 19.2%	9人 2.5%	77人 21.8%
その他	7人 2.0%	0人 0.0%	7人 2.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	326人 92.1%	28人 7.9%	354人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	3人 7.0%	1人 2.3%	4人 9.3%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	1人 2.3%	0人 0.0%	1人 2.3%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	34人 79.1%	0人 0.0%	34人 79.1%
特養	1人 2.3%	2人 4.7%	3人 7.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	1人 2.3%	1人 2.3%
把握していない			0人 0.0%
合計	39人 90.7%	4人 9.3%	43人 100.0%

●地域密着型特別養護老人ホーム（6施設 定員165人）

新規入所

退所

64人



74人

居所変更 25人(33.8%)

死亡

49人(66.2%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	24人 37.5%	0人 0.0%	24人 37.5%
住宅型有料	1人 1.6%	0人 0.0%	1人 1.6%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	2人 3.1%	0人 0.0%	2人 3.1%
GH	2人 3.1%	0人 0.0%	2人 3.1%
特定	2人 3.1%	0人 0.0%	2人 3.1%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	10人 15.6%	0人 0.0%	10人 15.6%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	16人 25.0%	0人 0.0%	16人 25.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	7人 10.9%	0人 0.0%	7人 10.9%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	64人 100.0%	0人 0.0%	64人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	3人 12.0%	0人 0.0%	3人 12.0%
特養	6人 24.0%	0人 0.0%	6人 24.0%
地密特養	16人 64.0%	0人 0.0%	16人 64.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	25人 100.0%	0人 0.0%	25人 100.0%

資料編（調査票）

居所変更実態調査

※令和7年11月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別をご回答ください。（1つに○）

1. 住宅型有料老人ホーム	6. 地域密着型特定施設
2. 転居老人ホーム（特定施設除く）	7. 介護老人保健施設
3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	8. 介護医療院
4. グループホーム	9. 特別養護老人ホーム
5. 特定施設	10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 施設等について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	
2) 定員数など	(人/戸/室)
3) 入所・入居者数	人
4) (貴施設等の) 待機者数	人
5) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	人

※(2)定員数などは、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・転居老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご記入ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護レベルの人数について、ご記入ください。（数値を記入）

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。（あてはまる項目全てに○）

※1人でも受け入れが可能であれば、○をご記入ください。

1) 点滴の管理		8) 疼痛の管理	
2) 中心静脈栄養		9) 経管栄養	
3) 透析		10) モニター測定	
4) ストーマの処置		11) 褥瘡の処置	
5) 酸素療法		12) カテーテル	
6) レスビレーター		13) 吸引吸引	
7) 気管切開の処置		14) インスリン注射	
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。（数値を記入）

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計（要人数）	人
-----------------------------	---

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問6 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。（数値を記入）

※貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等や貴施設等に居た方は含めなくてください。

新規の入所・入居者数（合計★） 人

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※「合計★」と、問6「新規の入所・入居者数（合計★）」が一致することも確認してください。

※一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12)病院」を選択してください。

※「1)自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親族等の家族含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 転居老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）		
13) その他		
14) 入所・入居する前の居場所を把握していない		
合計★		

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問8 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に、貴施設等から退去した人の人数をご記入ください。

※一時的な入院等や貴施設等から退去した方、現在31日に入居中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めなくてください。

※「死亡」には、「貴施設等で亡くなった方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。

退去者数（合計）※死亡を含む 人 ☆

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護レベルの人数をご記入ください。（数値を記入）

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご記入ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先での死亡は「②貴施設等での死亡」、搬送先からの搬送後の死亡に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」が一致することも確認してください。

①退去者									②貴施設等での死亡 ※搬送先での死亡を含む	合計☆ ※①②の合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの搬送後の死亡に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」、問9の「合計☆」が一致することも確認してください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親族等の家族含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 転居老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 病院・診療所（上記「9」を除く）		
※一時的な入院は含みません。		
11) 特別養護老人ホーム		
12) 地域密着型特別養護老人ホーム		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）		
合計☆		

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問11 貴施設等の入所・入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまで○）

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な介護サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問12 貴事業所での入所・入居者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

事業所についてご記入ください。	
事業所名	
担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

合計人数が一致するようご注意ください。

1 ページ

2 ページ

3 ページ

4 ページ

13

調査の概要

在宅介護の実態を把握し、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効なサービス利用のあり方やサービス基盤整備の方向性を検討する目的で実施しました。

調査対象	市内の在宅で生活している要支援・要介護認定者と家族等の介護者 (要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方 から抽出)
調査対象者数	600 人
調査方法	令和 7 年 10 月 17 日～令和 8 年 3 月 31 日 認定調査員による聞き取り調査

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
在宅介護実態調査	600 人	600 人	100.0%

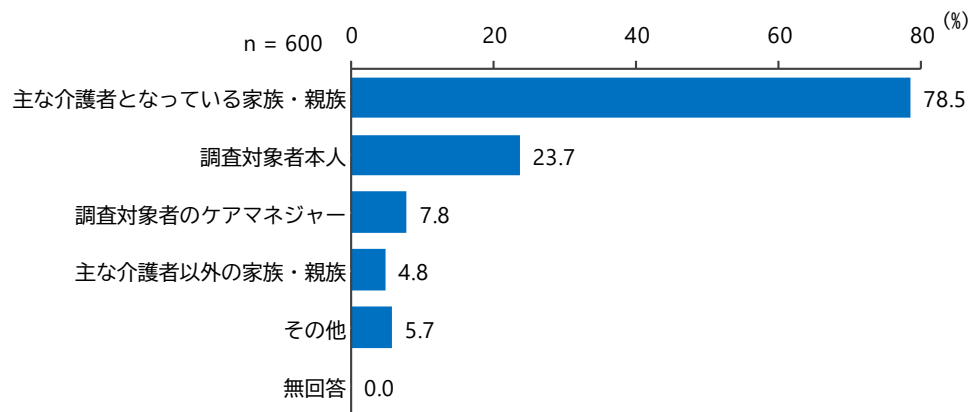
調査結果の見方

- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフの n の値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数第 2 位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が 100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。

A票. 調査の対象者について

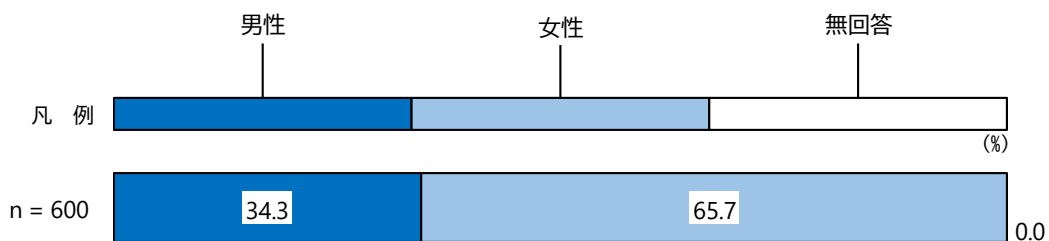
(1) 聞き取りを行った相手

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか（複数回答可）



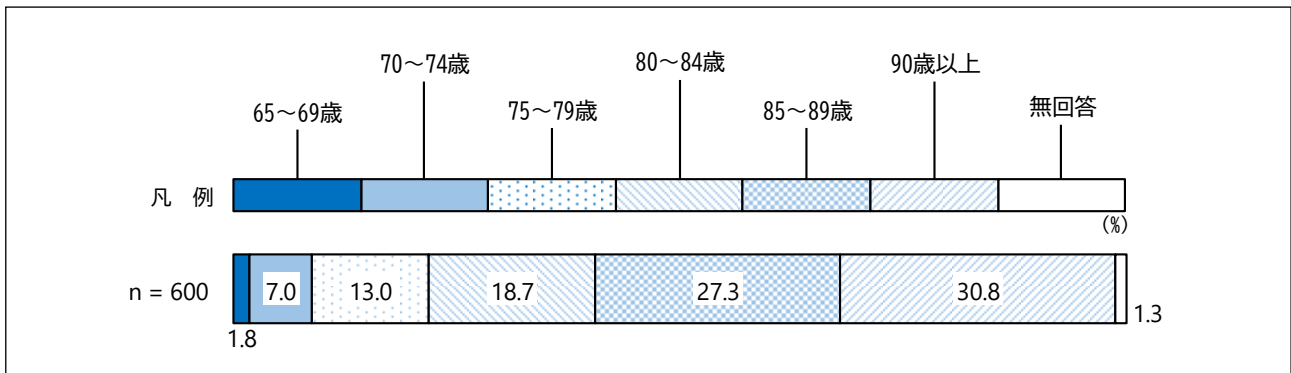
聞き取りを行った相手について、「主な介護者となっている家族・親族」が78.5%と最も高く、次いで「調査対象者本人」（23.7%）、「調査対象者のケアマネジャー」（7.8%）となっています。

(2) 性別



性別について、「女性」が65.7%、「男性」が34.3%となっています。

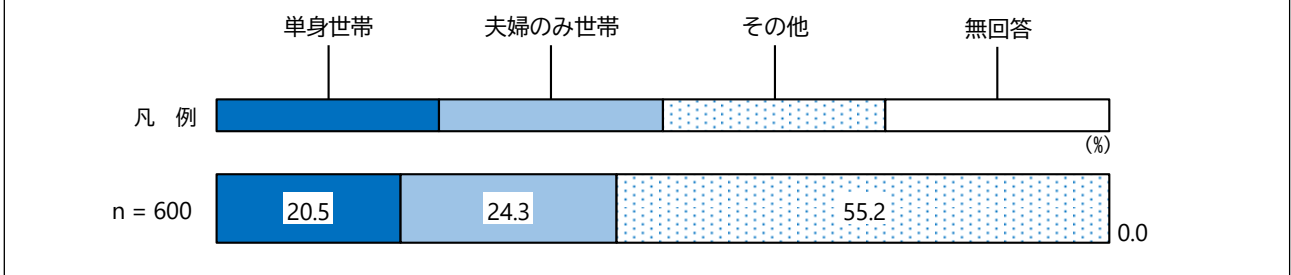
(3) 年齢



年齢について、「90歳以上」が30.8%と最も高く、次いで「85~89歳」(27.3%)、「80~84歳」(18.7%)となっています。

(4) 世帯類型

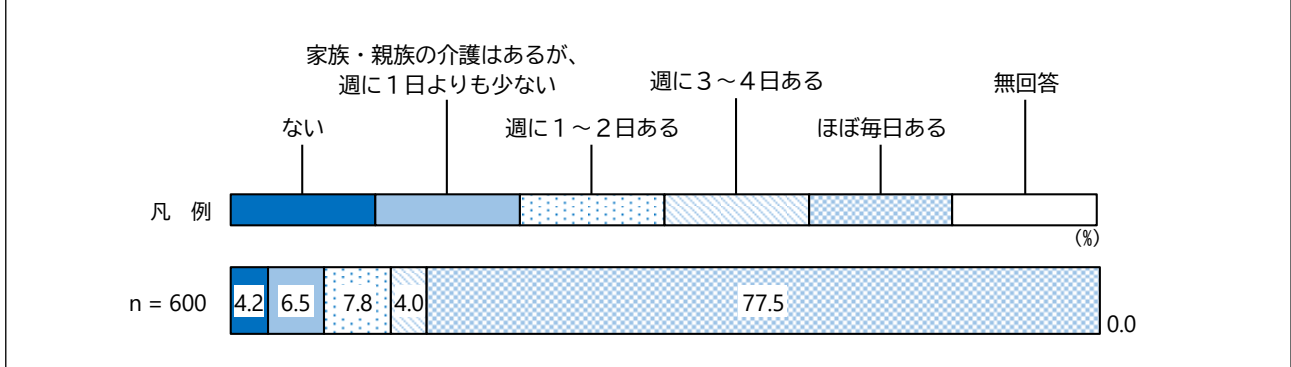
問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)



世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が24.3%、「単身世帯」が20.5%となっています。

(5) 家族や親族からの介護

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

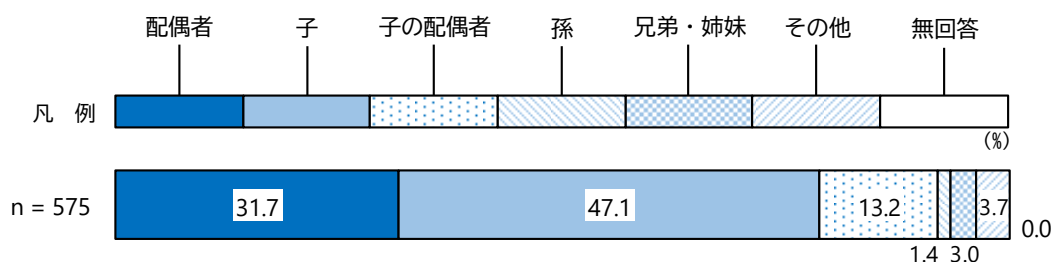


家族や親族からの介護について、「ほぼ毎日ある」が77.5%と最も高く、次いで「週に1~2日ある」(7.8%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」(6.5%)となっています。

(6) 主な介護者

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

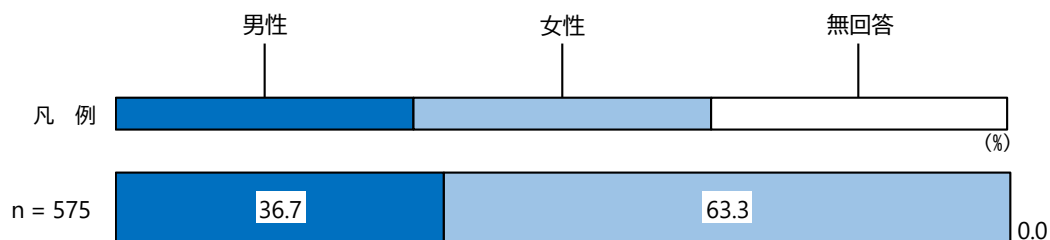


主な介護者について、「子」が47.1%と最も高く、次いで「配偶者」(31.7%)、「子の配偶者」(13.2%)となっています。

(7) 主な介護者の性別

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

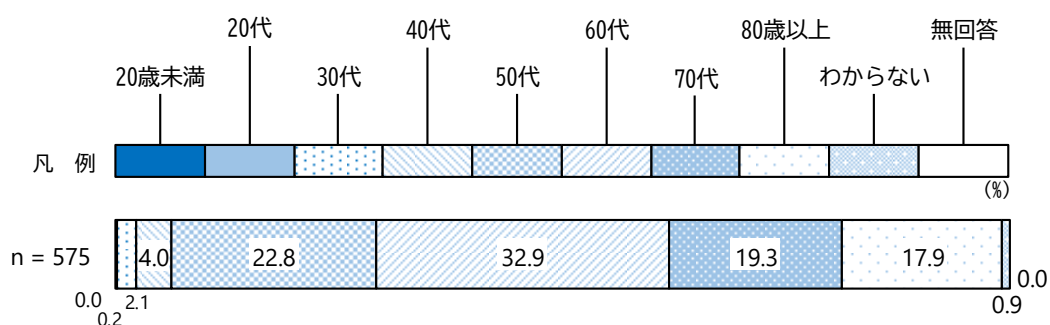


主な介護者の性別について、「女性」が63.3%、「男性」が36.7%となっています。

(8) 主な介護者の年齢

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

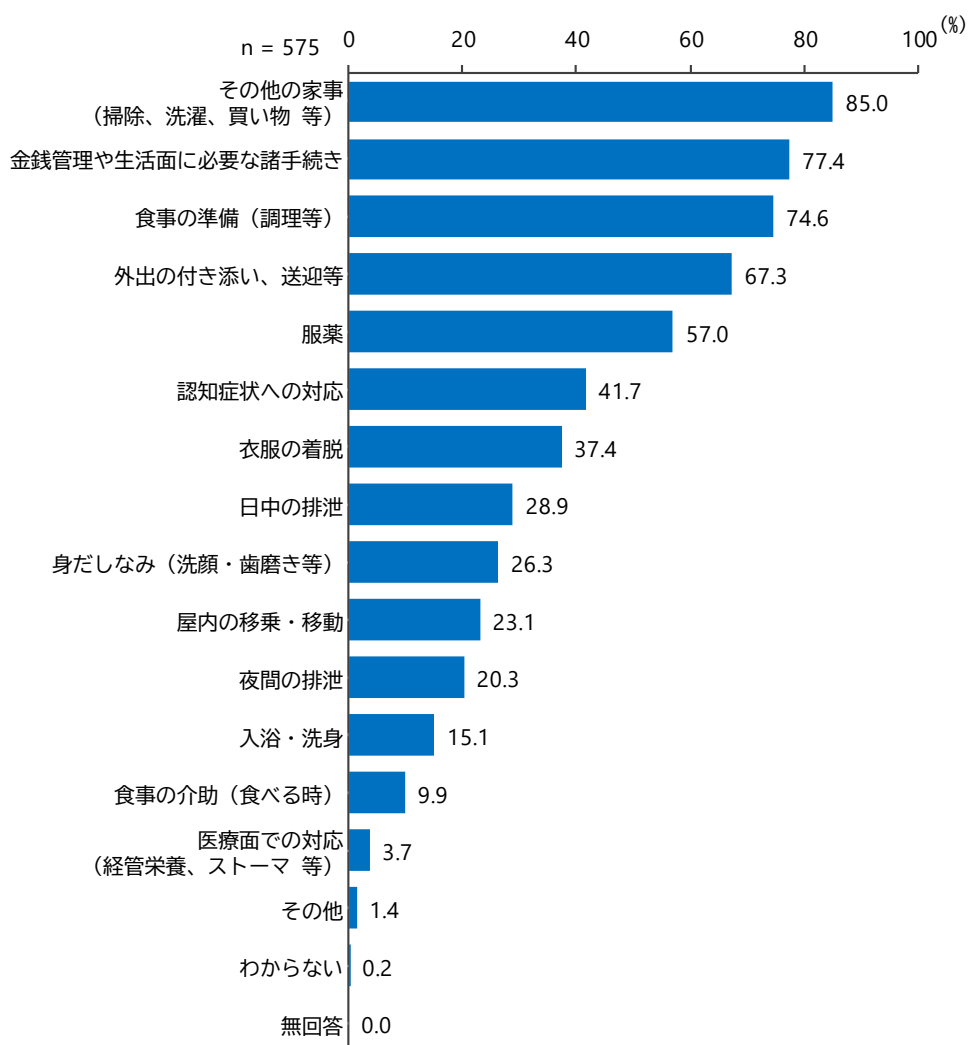


主な介護者の年齢について、「60代」が32.9%と最も高く、次いで「50代」(22.8%)、「70代」(19.3%)となっています。

(9) 主な介護者が行っている介護等

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

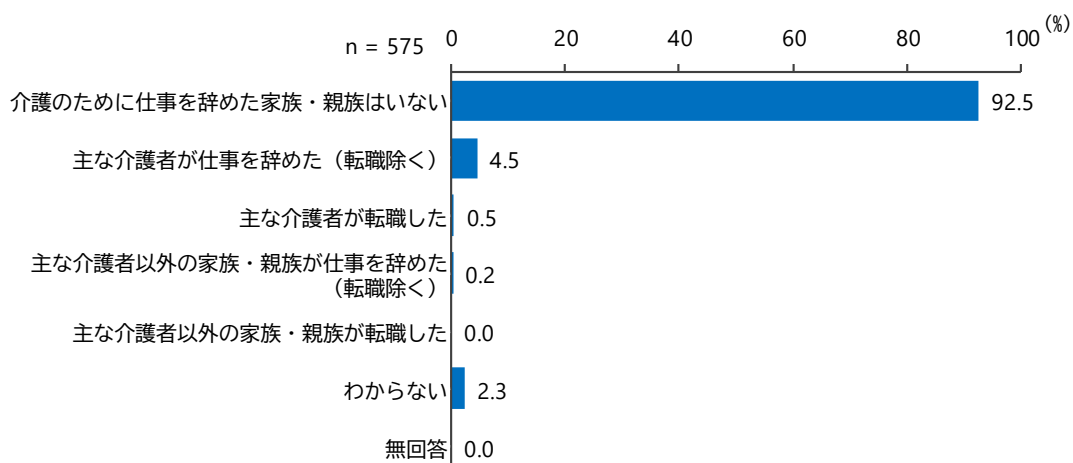


主な介護者が行っている介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が85.0%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（77.4%）、「食事の準備（調理等）」（74.6%）となっています。

(10) 介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めた方がいるか

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

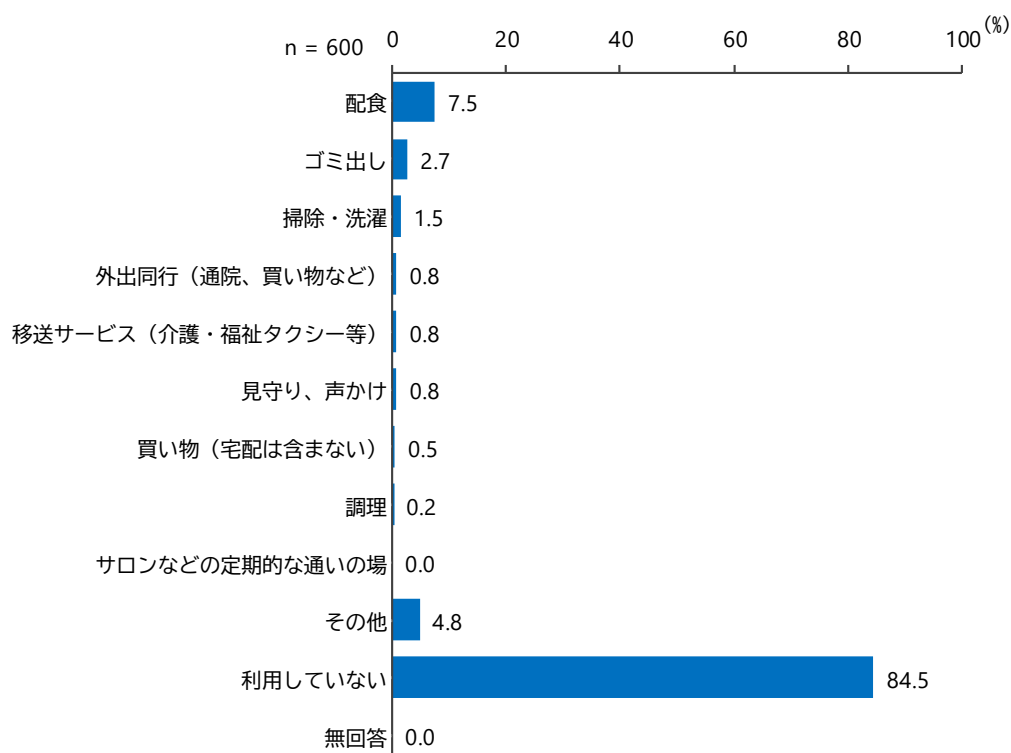
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



介護を理由に過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が92.5%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（4.5%）、「主な介護者が転職した」（0.5%）となっています。一方、「わからない」は2.3%となっています。

(11)「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービス

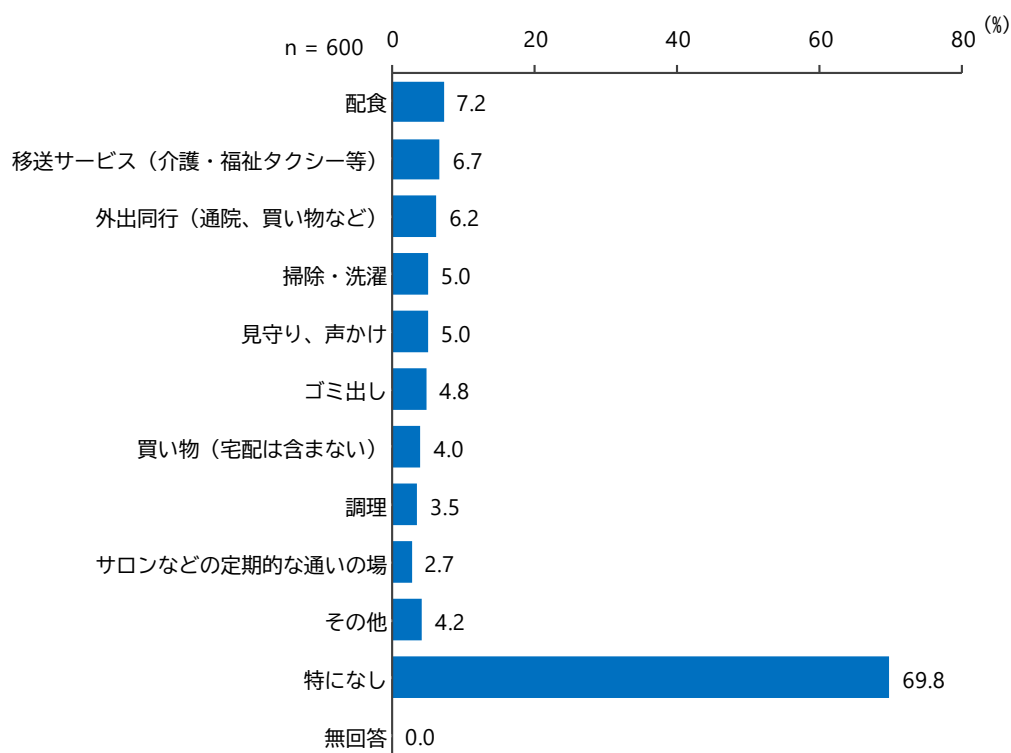
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)



「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービスについて、「配食」が 7.5%と最も高く、次いで「ゴミ出し」(2.7%)、「掃除・洗濯」(1.5%)となっています。一方、「利用していない」は 84.5%となっています。

(12) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

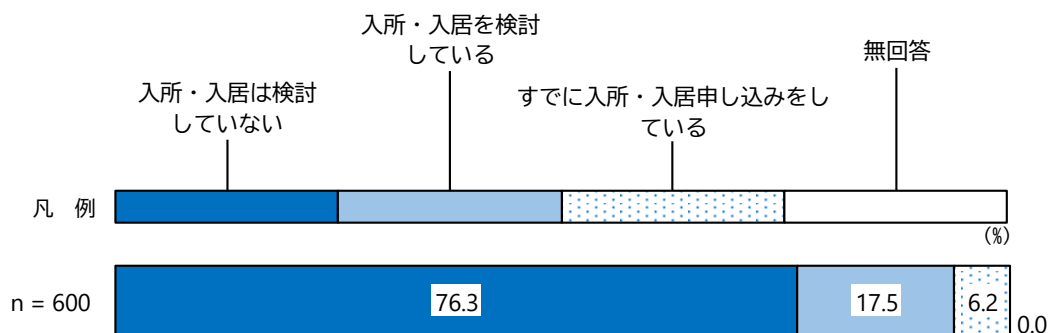
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「配食」が 7.2%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.7%）、「外出同行（通院、買い物など）」（6.2%）となっています。一方、「特になし」は 69.8%となっています。

(13) 施設等への入所・入居の検討状況

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居を検討していない」が 76.3%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」（17.5%）、「すでに入所・入居申し込みをしている」（6.2%）となっています。

性別でみると、特筆すべき差はみられません。

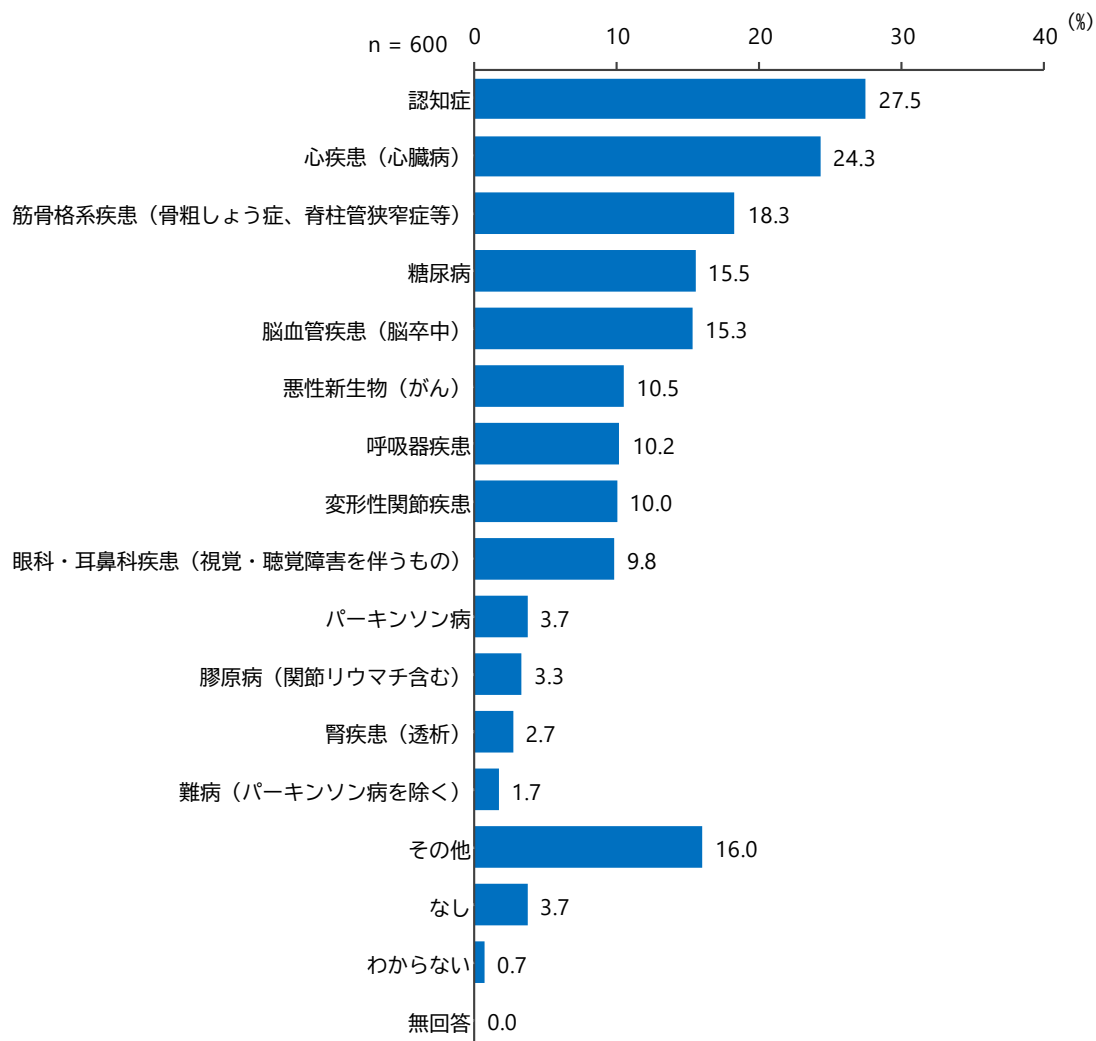
年齢別でみると、「入所・入居を検討していない」の割合は、70～74歳で 85.7%と最も高くなっています。

【性別・年齢別】施設等への入所・入居の検討状況

	調査数	い な い ・ 入 居 は 検 討 し て	い 入 る 所 ・ 入 居 を 検 討 し て	上段：件数 下段：% 込 す み で を に し て 所 い ・ 入 居 申 し	無 回 答
全体	600 100.0	458 76.3	105 17.5	37 6.2	- -
性別					
男性	206 100.0	160 77.7	34 16.5	12 5.8	- -
女性	394 100.0	298 75.6	71 18.0	25 6.3	- -
年齢別					
65～69歳	11 100.0	7 63.6	3 27.3	1 9.1	- -
70～74歳	42 100.0	36 85.7	3 7.1	3 7.1	- -
75～79歳	78 100.0	60 76.9	11 14.1	7 9.0	- -
80～84歳	112 100.0	94 83.9	11 9.8	7 6.3	- -
85～89歳	164 100.0	125 76.2	34 20.7	5 3.0	- -
90歳以上	185 100.0	128 69.2	43 23.2	14 7.6	- -

(14) 現在抱えている傷病

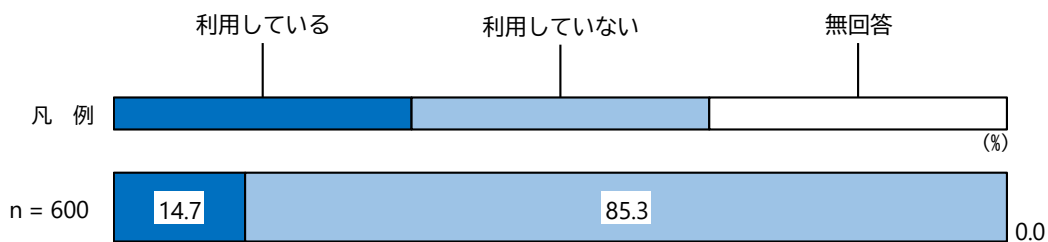
問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）



現在抱えている傷病について、「認知症」が27.5%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」（24.3%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（18.3%）となっています。

(15) 訪問診療の利用の有無

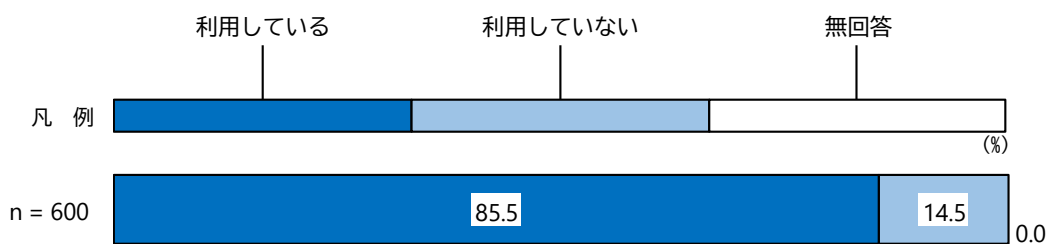
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



訪問診療の利用の有無について、「利用していない」が85.3%、「利用している」が14.7%となっています。

(16) 介護保険サービスの利用の有無

問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）介護保険サービスを利用していますか
（1つを選択）



介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」が85.5%、「利用していない」が14.5%となっています。

性別でみると、特筆すべき差はみられません。

年齢別でみると、「利用している」の割合は、90歳以上で90.8%と最も高くなっています。

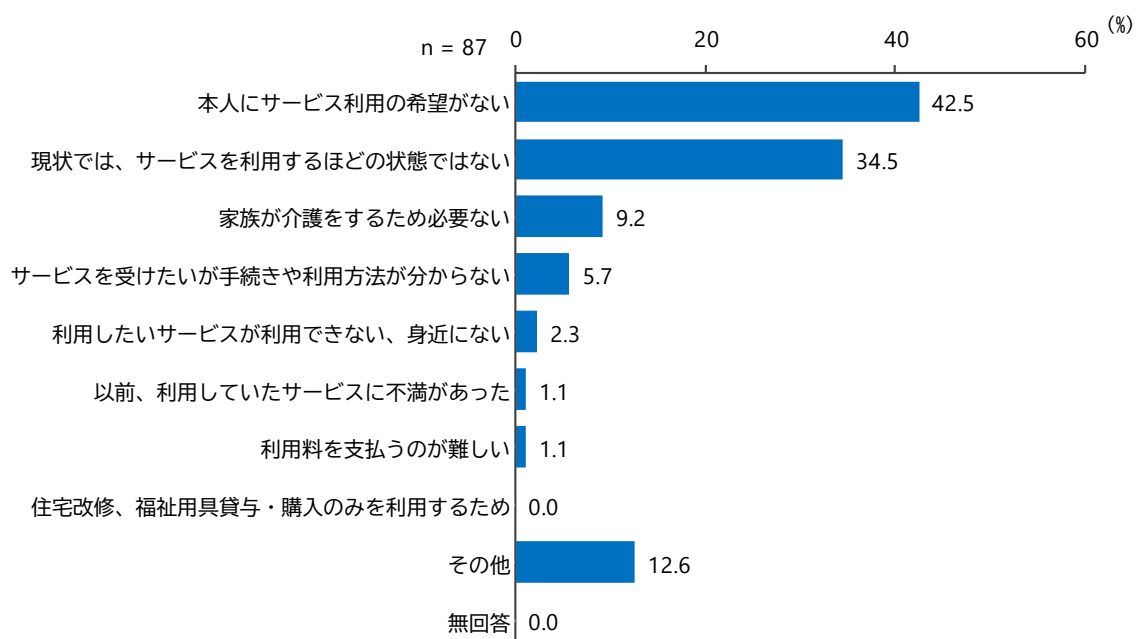
【性別・年齢別】介護保険サービスの利用の有無

	調査数	上段：件数		下段：%	
		利用している	利用していない	無回答	
全体	600	513	87	-	
	100.0	85.5	14.5	-	
性別					
男性	206	173	33	-	
	100.0	84.0	16.0	-	
女性	394	340	54	-	
	100.0	86.3	13.7	-	
年齢別					
65～69歳	11	9	2	-	
	100.0	81.8	18.2	-	
70～74歳	42	33	9	-	
	100.0	78.6	21.4	-	
75～79歳	78	67	11	-	
	100.0	85.9	14.1	-	
80～84歳	112	95	17	-	
	100.0	84.8	15.2	-	
85～89歳	164	135	29	-	
	100.0	82.3	17.7	-	
90歳以上	185	168	17	-	
	100.0	90.8	9.2	-	

(17) 介護保険サービスを利用していない理由

【問 13 で「2. 利用していない」と回答した方】

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



介護保険サービスを利用していない理由について、「本人にサービス利用の希望がない」が 42.5%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（34.5%）、「家族が介護をするため必要ない」（9.2%）となっています。

性別でみると、男性女性ともに、「本人にサービス利用の希望がない」の割合が最も高くなっています。また、男性は女性に比べ「本人にサービス利用の希望がない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「本人にサービス利用の希望がない」の割合は、90 歳以上で 64.7%と最も高くなっています。

【性別・年齢別】介護保険サービスを利用していない理由

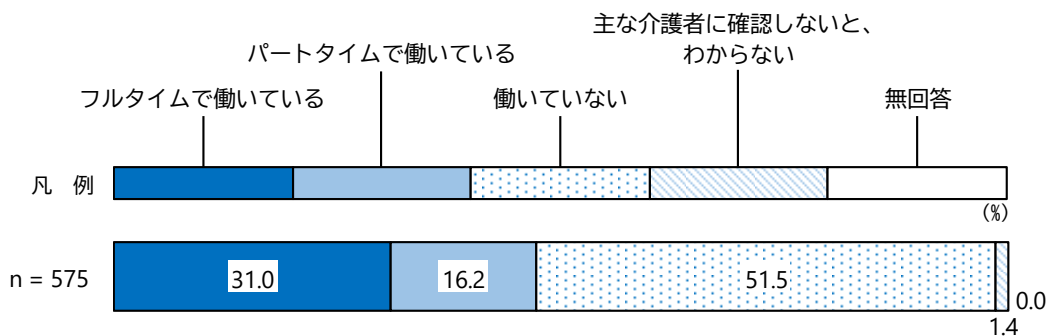
上段：件数 下段：%														
	調査数	本人にサービス利用の希望がない	利用するほどの状態ではない	現状では、サービスの状態を必要ない	家族が介護をするため	手続が難しい	サービスを受けたいが分らない	利用できないサービスが身近にない	利用したいサービスがあつた	以前、利用していたが不満があつた	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	その他	無回答
全体	87 100.0	37 42.5	30 34.5	8 9.2	5 5.7	2 2.3	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	11 12.6	1 1.1
性別														
男性	33 100.0	17 51.5	11 33.3	2 6.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	3 9.1	1 3.0
女性	54 100.0	20 37.0	19 35.2	6 11.1	3 5.6	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	1 1.9	8 14.8	1 1.9
年齢別														
65～69歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
70～74歳	9 100.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
75～79歳	11 100.0	2 18.2	6 54.5	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1
80～84歳	17 100.0	6 35.3	7 41.2	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9
85～89歳	29 100.0	14 48.3	7 24.1	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	1 3.4	6 20.7	1 3.4
90歳以上	17 100.0	11 64.7	5 29.4	3 17.6	3 17.6	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9

B票. 主な介護者について

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

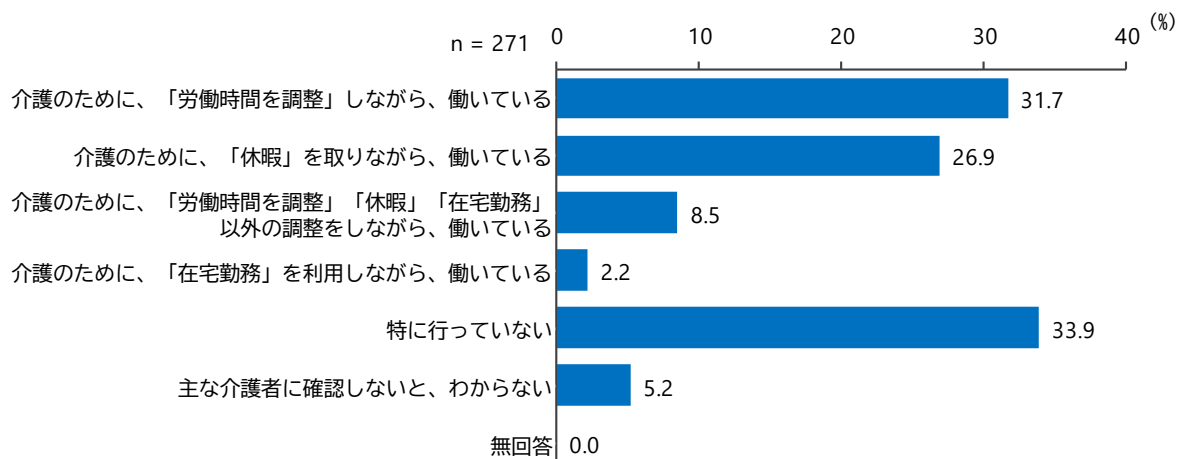


主な介護者の現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」が31.0%、「パートタイムで働いている」が16.2%となっています。一方、「働いていない」は51.5%となっています。

(2) 介護をするにあたり、何か働き方の調整等をしたか

【B票問1で《働いている》と回答した方】

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

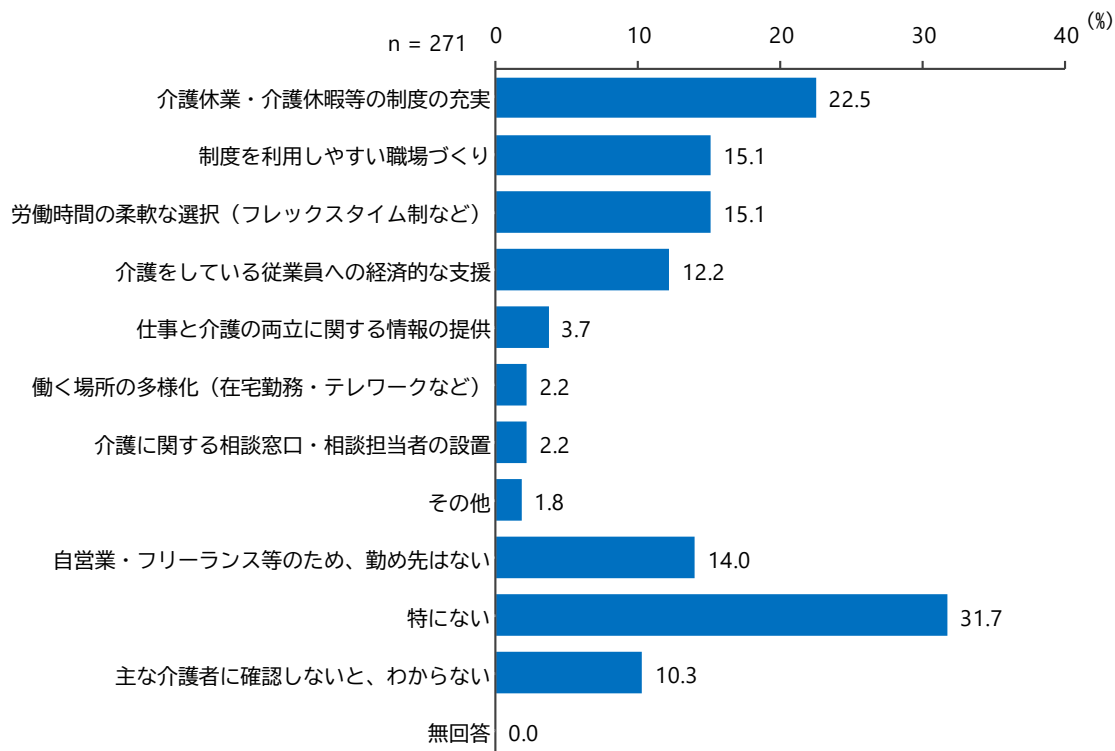


介護をするにあたり、何か働き方の調整等をしたかについて、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が31.7%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」(26.9%)、「介護のために、「労働時間を調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」(8.5%)となっています。一方、「特に行っていない」は33.9%となっています。

（３）仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

【Ｂ票問１で《働いている》と回答した方】

問３ 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（３つまで選択可）

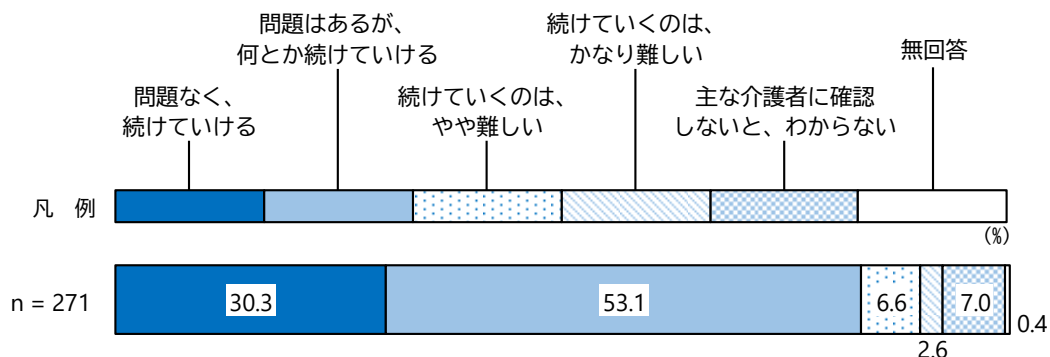


仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 22.5%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（ともに 15.1%）、「介護をしている従業員への経済的な支援」（12.2%）となっています。一方、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」は 14.0%、「特にない」は 31.7%となっています。

(4) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

【B票問1で《働いている》と回答した方】

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」（30.3%）、「続けていくのは、やや難しい」（6.6%）となっています。一方、「主な介護者に確認しないと、わからない」は7.0%となっています。

性別でみると、男性は女性に比べ「問題なく、続けていける」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“難しい”の割合は、90歳以上で15.6%と最も高くなっています。

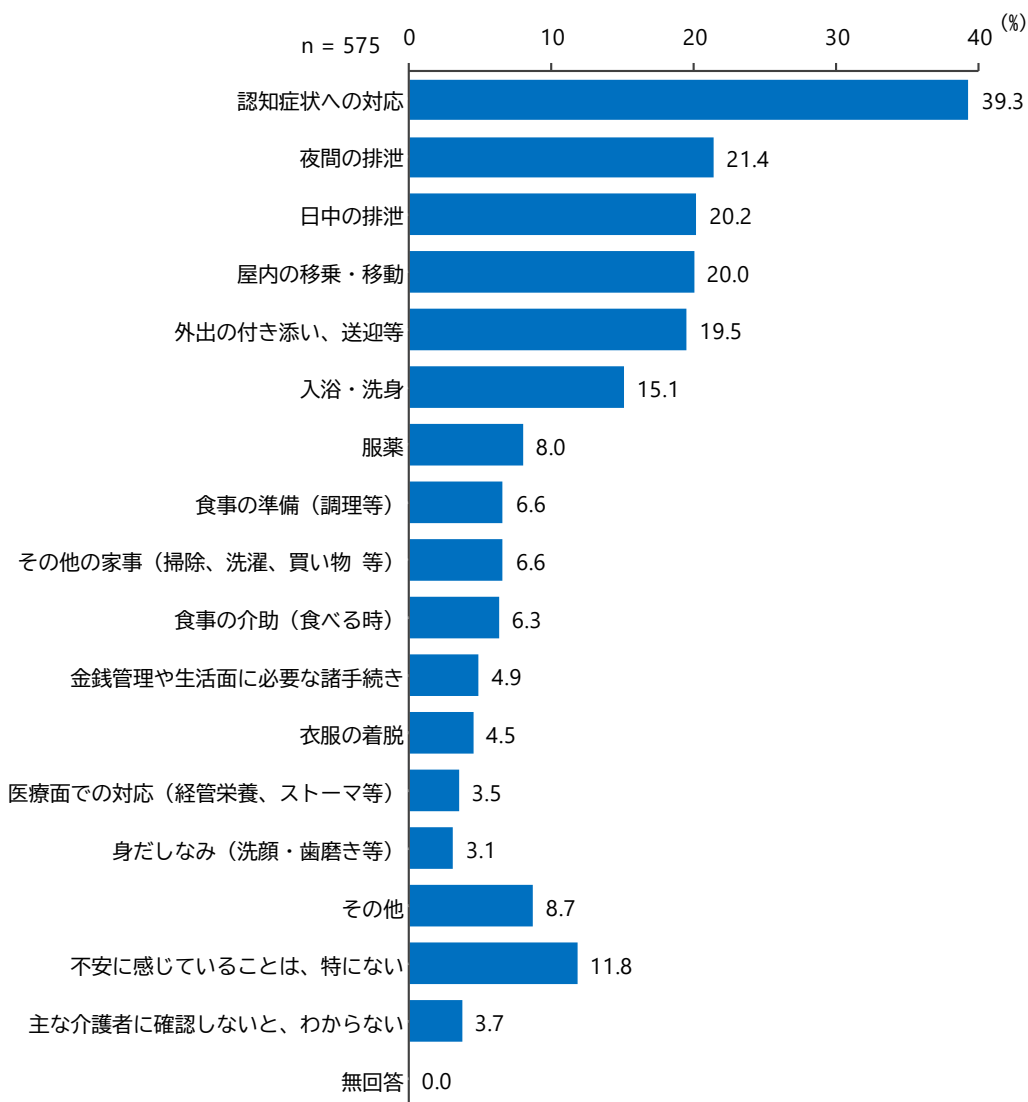
【性別・年齢別】今後も働きながら介護を続けていけそうか

	調査数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	271	82	144	18	7	19	1
	100.0	30.3	53.1	6.6	2.6	7.0	0.4
性別							
男性	75	26	39	4	3	3	-
	100.0	34.7	52.0	5.3	4.0	4.0	-
女性	196	56	105	14	4	16	1
	100.0	28.6	53.6	7.1	2.0	8.2	0.5
年齢別							
65～69歳	3	-	3	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-
70～74歳	20	4	13	1	1	1	-
	100.0	20.0	65.0	5.0	5.0	5.0	-
75～79歳	38	15	18	2	-	2	1
	100.0	39.5	47.4	5.3	-	5.3	2.6
80～84歳	59	27	22	2	-	8	-
	100.0	45.8	37.3	3.4	-	13.6	-
85～89歳	69	22	39	4	3	1	-
	100.0	31.9	56.5	5.8	4.3	1.4	-
90歳以上	77	13	47	9	3	5	-
	100.0	16.9	61.0	11.7	3.9	6.5	-

(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

【A票問2で《家族や親族からの介護がある》と回答した方】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



主な介護者が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が 39.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」（21.4%）、「日中の排泄」（20.2%）となっています。

性別でみると、男性女性ともに、「認知症状への対応」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「認知症状への対応」の割合は、85～89 歳で 43.9%と最も高くなっています。

【性別・年齢別】主な介護者が不安に感じる介護等

上段：件数										下段：％
	調 査 数	認 知 症 状 へ の 対 応	夜 間 の 排 泄	日 中 の 排 泄	屋 内 の 移 乗 ・ 移 動	外 出 の 付 き 添 い 、 送 迎 等	入 浴 ・ 洗 身	服 薬	食 事 の 準 備 （ 調 理 等 ）	洗 濯 、 買 い 物 等 ） そ の 他 の 家 事 （ 掃 除 、
全体	575 100.0	226 39.3	123 21.4	116 20.2	115 20.0	112 19.5	87 15.1	46 8.0	38 6.6	38 6.6
性別										
男性	196 100.0	75 38.3	44 22.4	42 21.4	43 21.9	39 19.9	35 17.9	10 5.1	12 6.1	16 8.2
女性	379 100.0	151 39.8	79 20.8	74 19.5	72 19.0	73 19.3	52 13.7	36 9.5	26 6.9	22 5.8
年齢別										
65～69歳	11 100.0	4 36.4	1 9.1	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	－ －	－ －	－ －
70～74歳	35 100.0	13 37.1	6 17.1	5 14.3	9 25.7	10 28.6	6 17.1	1 2.9	1 2.9	1 2.9
75～79歳	74 100.0	22 29.7	10 13.5	11 14.9	13 17.6	15 20.3	10 13.5	6 8.1	8 10.8	12 16.2
80～84歳	109 100.0	43 39.4	28 25.7	20 18.3	23 21.1	17 15.6	16 14.7	13 11.9	4 3.7	8 7.3
85～89歳	157 100.0	69 43.9	30 19.1	26 16.6	32 20.4	33 21.0	20 12.7	17 10.8	12 7.6	10 6.4
90歳以上	181 100.0	73 40.3	46 25.4	50 27.6	35 19.3	32 17.7	31 17.1	9 5.0	13 7.2	7 3.9

上段：件数 下段：%									
	食事の介助 （食べる時）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	衣服の着脱	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	その他	不安に感じていること は、特にない	主な介護者に確認しない いと、わからない	無回答
全体	36 6.3	28 4.9	26 4.5	20 3.5	18 3.1	50 8.7	68 11.8	21 3.7	- -
性別									
男性	8 4.1	9 4.6	15 7.7	5 2.6	3 1.5	23 11.7	17 8.7	3 1.5	- -
女性	28 7.4	19 5.0	11 2.9	15 4.0	15 4.0	27 7.1	51 13.5	18 4.7	- -
年齢別									
65～69歳	1 9.1	1 9.1	- -	1 9.1	- -	2 18.2	2 18.2	- -	- -
70～74歳	1 2.9	3 8.6	1 2.9	2 5.7	4 11.4	1 2.9	4 11.4	1 2.9	- -
75～79歳	2 2.7	9 12.2	4 5.4	3 4.1	2 2.7	8 10.8	9 12.2	4 5.4	- -
80～84歳	7 6.4	5 4.6	6 5.5	2 1.8	3 2.8	6 5.5	14 12.8	5 4.6	- -
85～89歳	12 7.6	5 3.2	5 3.2	7 4.5	2 1.3	14 8.9	20 12.7	3 1.9	- -
90歳以上	13 7.2	5 2.8	8 4.4	4 2.2	6 3.3	19 10.5	19 10.5	7 3.9	- -

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【身体介護】

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 室内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

【生活援助】

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き | |

【その他】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特になし |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査の概要

介護人材の実態を把握することにより、性別・年齢別・資格の有無などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保・定着に向けて必要な取り組み等を検討するために実施しました。

調査対象	介護保険施設・事業所（居宅介護支援事業所・福祉用具・訪問看護・訪問リハを除く）、総合事業（通所型・訪問型）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム
調査対象数	事業所票：訪問系 118 か所、施設・通所系 302 か所、計 420 か所 職員票：訪問系 393 人、施設・通所系（問 5）1,526 人、計 1,919 人
調査方法	令和 7 年 11 月 17 日～令和 7 年 12 月 19 日 メールによる送付、回答

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
介護人材実態調査（訪問系）	118 か所	41 か所	34.7%
介護人材実態調査（施設・通所系）	302 か所	126 か所	41.7%

調査結果の見方

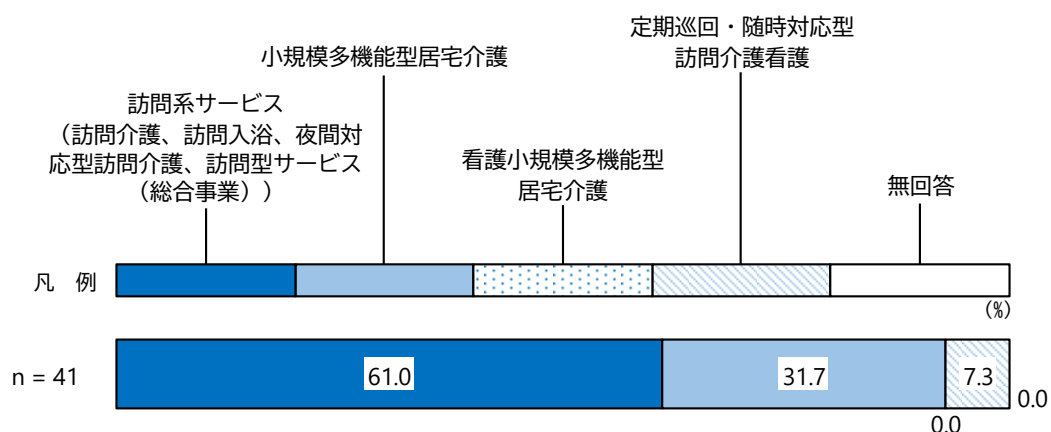
- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフの n の値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数第 2 位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が 100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。

事業所票

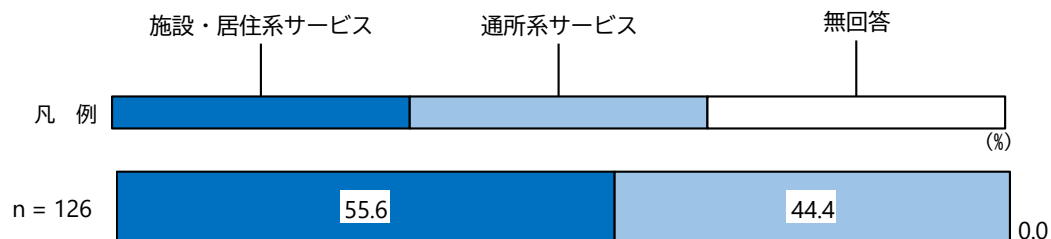
(1) サービス種別

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

【訪問系】



【施設・通所系】



サービス種別について、訪問系では、「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）」が61.0%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」（31.7%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（7.3%）となっています。

施設・通所系では、「施設・居住系サービス」が55.6%、「通所系サービス」が44.4%となっています。

(2) 介護職員の人数

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。(数値を記入)

【訪問系】

n=41

	0人	1～4人	5～9人	10人～	合計	平均
総数	0事業所	20事業所	15事業所	6事業所	489人	11.93人
常勤職員数	0事業所	20事業所	15事業所	6事業所	218人	5.32人
非常勤職員数	1事業所	18事業所	12事業所	9事業所	274人	6.68人
外国人職員数	38事業所	0事業所	0事業所	0事業所	0人	0.00人
派遣職員数	37事業所	0事業所	0事業所	0事業所	0人	0.00人

【施設・通所系】

n=126

	0人	1～9人	10～29人	30人～	合計	平均
総数	0事業所	70事業所	40事業所	16事業所	1,686人	13.38人
常勤職員数	1事業所	80事業所	33事業所	12事業所	1,282人	10.17人
非常勤職員数	19事業所	93事業所	10事業所	0事業所	394人	3.13人
外国人職員数	104事業所	19事業所	0事業所	0事業所	38人	0.30人
派遣職員数	109事業所	12事業所	1事業所	0事業所	44人	0.35人

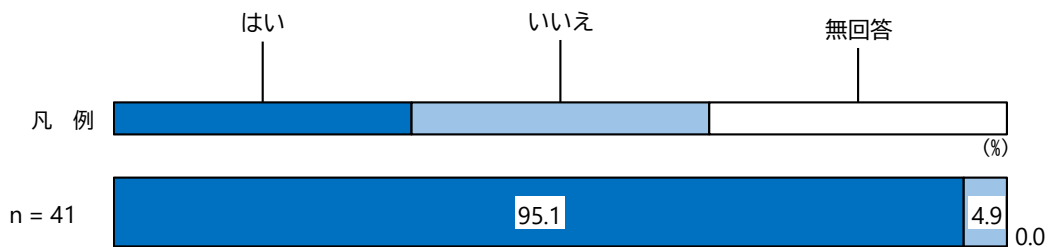
介護職員の人数について、訪問系では、常勤職員数の平均が5.32人、非常勤職員数の平均が6.68人となっています。

施設・通所系では、常勤職員数の平均が10.17人、非常勤職員数の平均が3.13人となっています。
また、外国人職員数の平均が0.30人、派遣職員数の平均が0.35人となっています。

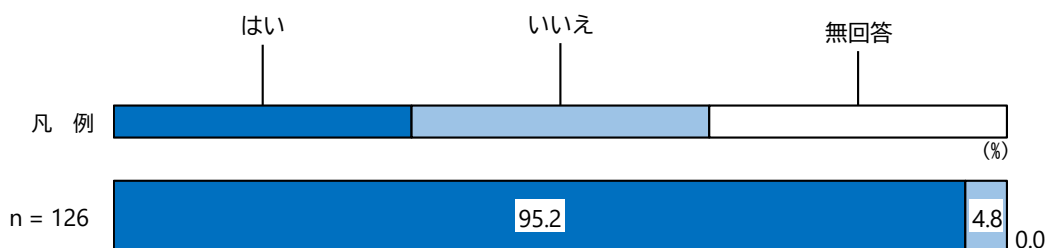
(3) 事業所の開設から1年以上経過しているか

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つに○)

【訪問系】



【施設・通所系】



事業所の開設から1年以上経過しているかについて、訪問系では、「はい」が95.1%、「いいえ」が4.9%となっています。

施設・通所系では、「はい」が95.2%、「いいえ」が4.8%となっています。

(4) 過去1年間の採用者・離職者

問2-3 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。

（数値を記入）

【訪問系】

n=39

	0人	1人	2人	3人	4人	5人～	合計	平均
採用者数 (合計)	10 事業所	12 事業所	8 事業所	4 事業所	3 事業所	2 事業所	74 人	1.90 人
採用者数 (常勤職員)	20 事業所	9 事業所	7 事業所	2 事業所	0 事業所	1 事業所	39 人	1.00 人
採用者数 (非常勤職員)	21 事業所	9 事業所	7 事業所	0 事業所	1 事業所	1 事業所	35 人	0.90 人
離職者数 (合計)	13 事業所	9 事業所	5 事業所	5 事業所	3 事業所	3 事業所	75 人	1.92 人
離職者数 (常勤職員)	23 事業所	6 事業所	7 事業所	1 事業所	0 事業所	1 事業所	34 人	0.87 人
離職者数 (非常勤職員)	21 事業所	7 事業所	5 事業所	3 事業所	0 事業所	2 事業所	41 人	1.05 人

【施設・通所系】

n=120

	0人	1人	2人	3人	4人	5人～	合計	平均
採用者数 (合計)	34 事業所	24 事業所	24 事業所	8 事業所	6 事業所	22 事業所	294 人	2.45 人
採用者数 (常勤職員)	56 事業所	22 事業所	16 事業所	4 事業所	9 事業所	11 事業所	189 人	1.58 人
採用者数 (非常勤職員)	68 事業所	21 事業所	17 事業所	3 事業所	6 事業所	3 事業所	105 人	0.88 人
離職者数 (合計)	36 事業所	32 事業所	13 事業所	11 事業所	3 事業所	21 事業所	254 人	2.12 人
離職者数 (常勤職員)	48 事業所	32 事業所	16 事業所	4 事業所	3 事業所	13 事業所	177 人	1.48 人
離職者数 (非常勤職員)	76 事業所	23 事業所	6 事業所	4 事業所	2 事業所	4 事業所	77 人	0.64 人

過去1年間の採用者について、訪問系では、常勤職員の平均が1.00人、非常勤職員の平均が0.90人となっています。離職者については、常勤職員の平均が0.87人、非常勤職員の平均が1.05人となっています。

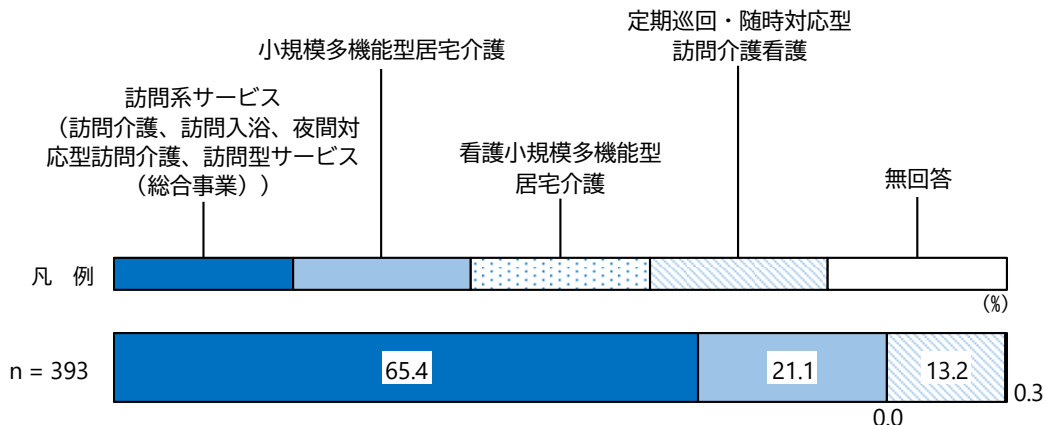
施設・通所系の採用者については、常勤職員の平均が1.58人、非常勤職員の平均が0.88人となっています。離職者については、常勤職員の平均が1.48人、非常勤職員の平均が0.64人となっています。

職員票

(1) 事業所で提供するサービス種別

【訪問系】

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答ください。(1つ選択)



事業所で提供するサービス種別について、「訪問系サービス(訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))」が65.4%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」(21.1%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(13.2%)となっています。

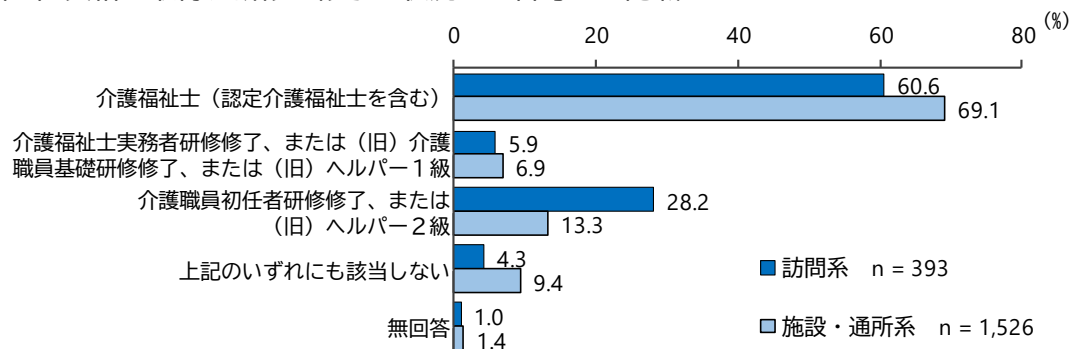
(2) 資格の取得、研修の修了状況

【訪問系】

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(1つ選択)

【施設・通所系】

問5 (1) 資格の取得、研修の修了の状況 ※番号1つ記載



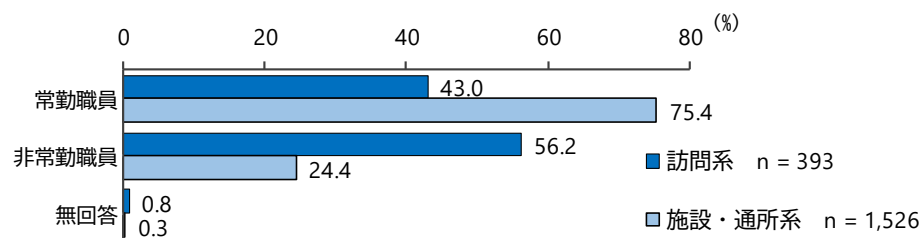
資格の取得、研修の修了状況について、訪問系では、「介護福祉士(認定介護福祉士を含む)」が60.6%と最も高くなっています。

施設・通所系についても、「介護福祉士(認定介護福祉士を含む)」が69.1%と最も高くなっています。

(3) 雇用形態

【訪問系】問3（1）雇用形態（1つに○）

【施設・通所系】問5（2）雇用形態 ※番号1つ記載

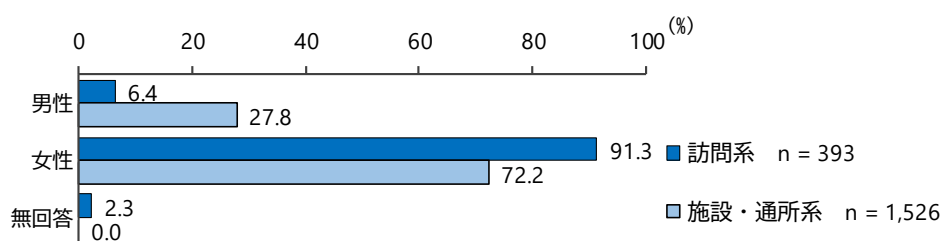


雇用形態について、訪問系では、「常勤職員」が43.0%、「非常勤職員」が56.2%となっています。施設・通所系では、「常勤職員」が75.4%、「非常勤職員」が24.4%となっています。

(4) 性別

【訪問系】問3（2）性別（1つに○）

【施設・通所系】問5（3）性別 ※番号1つ記載

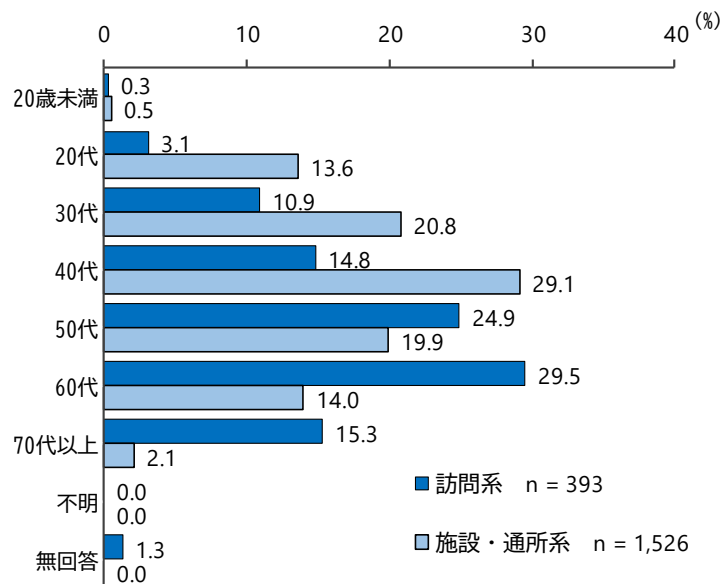


性別について、訪問系では、「男性」が6.4%、「女性」が91.3%となっています。施設・通所系では、「男性」が27.8%、「女性」が72.2%となっています。

(5) 年齢

【訪問系】問3 (3) 年齢 (1つに○)

【施設・通所系】問5 (4) 年齢 ※番号1つ記載



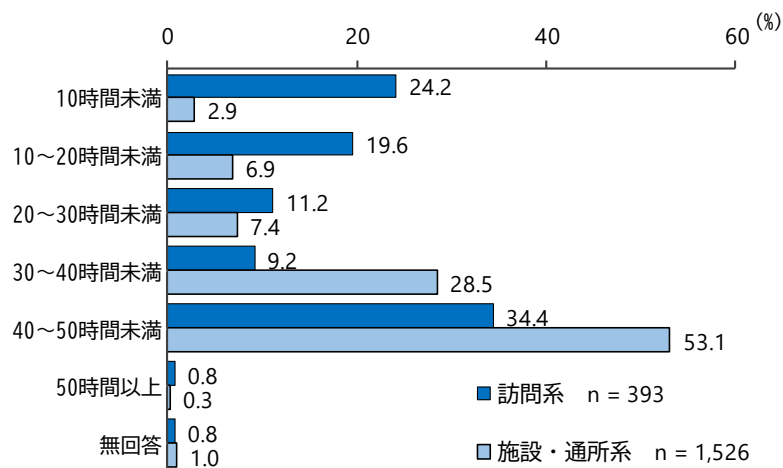
年齢について、訪問系では、「60代」が29.5%と最も高く、次いで「50代」(24.9%)、「70代以上」(15.3%)となっています。

施設・通所系では、「40代」が29.1%と最も高く、次いで「30代」(20.8%)、「50代」(19.9%)となっています。

(6) 1 週間の勤務時間

【訪問系】問3（4）過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※問1で回答した勤務先における時間

【施設・通所系】問5（5）過去1週間の勤務時間 ※数値を記入



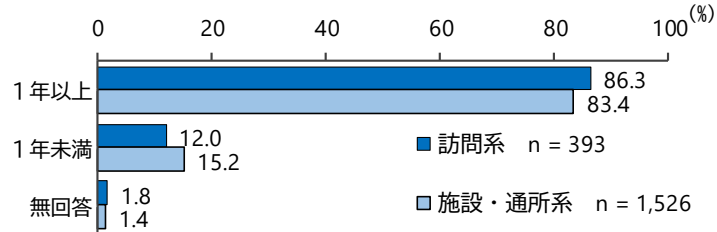
1 週間の勤務時間について、訪問系では、「40～50 時間未満」が 34.4%と最も高く、次いで「10 時間未満」（24.2%）、「10～20 時間未満」（19.6%）となっています。

施設・通所系では、「40～50 時間未満」が 53.1%と最も高く、次いで「30～40 時間未満」（28.5%）、「20～30 時間未満」（7.4%）となっています。

(7) 勤務年数

【訪問系】問3（5）現在の事業所での勤務年数（1つに○）

【施設・通所系】問5（6）現在の施設等での勤務年数



勤務年数について、訪問系では、「1年以上」が86.3%、「1年未満」が12.0%となっています。施設・通所系では、「1年以上」が83.4%、「1年未満」が15.2%となっています。

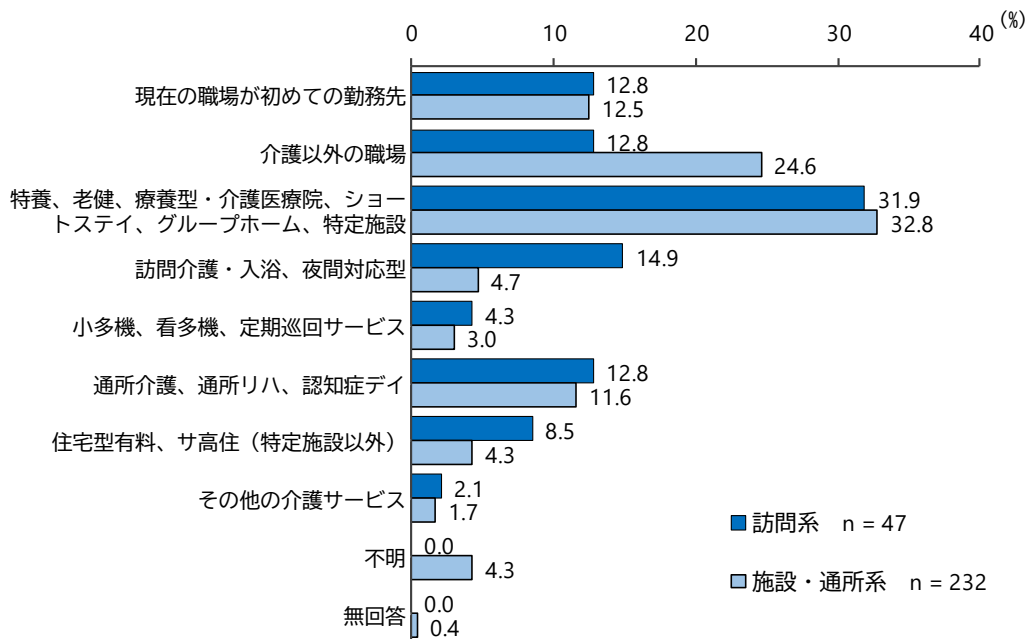
(8) 勤務する直前の職場

【訪問系】【問3（5）で「2. 1年未満」と回答した方】

問4 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

【施設・通所系】【問5（6）で「2. 1年未満」と回答した方】

問5（7）現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む ※番号1つ記載



勤務する直前の職場について、訪問系では、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が31.9%と最も高くなっています。

また、施設・通所系についても、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が32.8%と最も高くなっています。

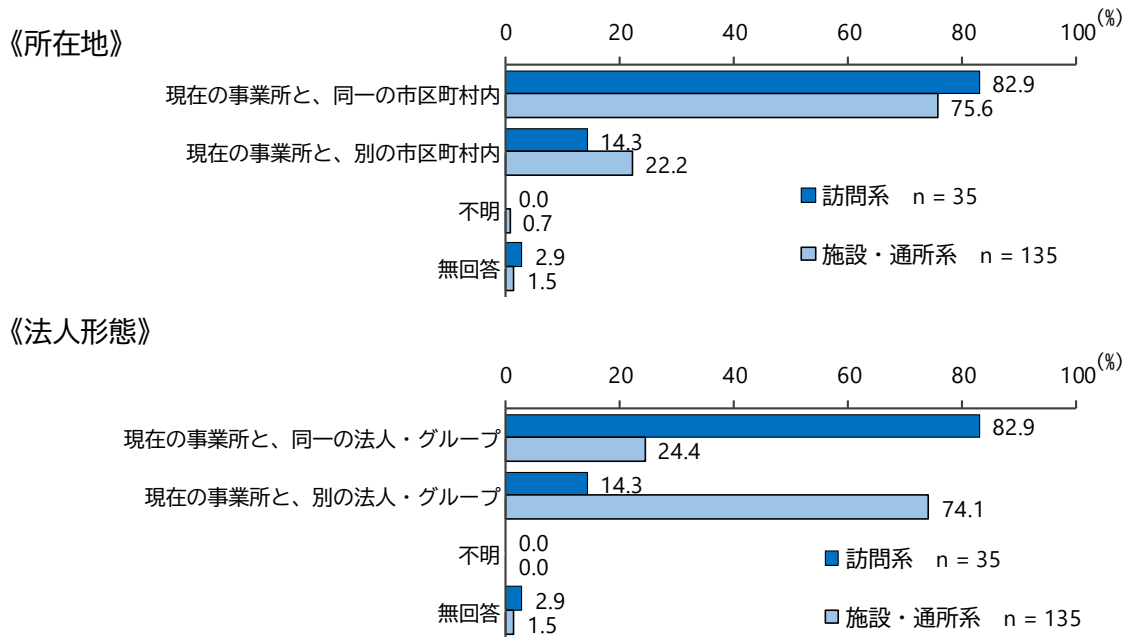
(9) 現在の施設に勤務する直前の職場の所在地・法人形態

【訪問系】 【問4で《介護の職場で働いていた》と回答した方】

問5 ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

【施設・通所系】 【問5（7）で《介護の職場で働いていた》と回答した方】

問5（8）直前の職場について ※番号1つ記載



現在の施設に勤務する直前の職場の所在地・法人形態について、訪問系の《所在地》では、「現在の事業所と、同一の市区町村内」が 82.9%、「現在の事業所と、別の市区町村内」が 14.3%となっています。

また、《法人形態》では、「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 82.9%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 14.3%となっています。

施設・通所系の《所在地》では、「現在の事業所と、同一の市区町村内」が 75.6%、「現在の事業所と、別の市区町村内」が 22.2%となっています。

また、《法人形態》では、「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 24.4%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 74.1%となっています。

(10) 訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳 ※「訪問介護員」が調査対象

【訪問系】【「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方】

問6 問3「4）過去1週間の勤務時間」（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

■介護給付による訪問

曜日	身体介護 (n=296)		生活援助							
			買い物 (n=134)		調理・配膳 (n=214)		掃除 (n=259)		その他の生活援助 (n=139)	
月	15,920	分	2,050	分	4,770	分	5,015	分	1,565	分
火	18,340	分	2,020	分	4,425	分	5,555	分	1,275	分
水	17,500	分	2,090	分	4,410	分	4,605	分	1,475	分
木	16,935	分	1,210	分	3,870	分	6,650	分	1,765	分
金	18,910	分	1,980	分	5,205	分	5,835	分	1,655	分
土	13,045	分	835	分	2,610	分	2,395	分	605	分
日	8,685	分	115	分	2,100	分	1,185	分	625	分
計	109,335	分	10,300	分	27,390	分	31,240	分	8,965	分
平均	369.4	分	76.9	分	128.0	分	120.6	分	64.5	分

■介護予防給付・総合事業による訪問

曜日	身体介護 (n=36)		生活援助							
			買い物 (n=86)		調理・配膳 (n=75)		掃除 (n=138)		その他の生活援助 (n=36)	
月	360	分	1,595	分	830	分	3,510	分	200	分
火	655	分	1,560	分	1,155	分	4,960	分	170	分
水	205	分	1,590	分	1,045	分	4,160	分	210	分
木	470	分	1,225	分	1,685	分	4,080	分	350	分
金	415	分	2,005	分	1,045	分	4,645	分	235	分
土	20	分	255	分	470	分	970	分	85	分
日	30	分	60	分	110	分	70	分	10	分
計	2,155	分	8,290	分	6,340	分	22,395	分	1,260	分
平均	59.9	分	96.4	分	84.5	分	162.3	分	35.0	分

訪問介護のサービス提供時間の内容別の内訳について、介護給付による訪問のうち、週の合計の提供時間が最も長いのは、「身体介護」となっており、次いで「生活援助（掃除）」、「生活援助（調理・配膳）」となっています。

介護予防給付・総合事業による訪問のうち、週の合計の提供時間が最も長いのは、「生活援助（掃除）」となっており、次いで「生活援助（買い物）」、「生活援助（調理・配膳）」となっています。

事業所票（訪問系）

※●●年●●月●●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の添付先（郵便・メール等の宛先）は「利用サービス」について、ご回答ください。

1. 訪問サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））

2. 小規模多機能型居宅介護

3. 看護小規模多機能型居宅介護

4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休職（育児休業等）中の職員は人数に含まないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数	人	左記のうち常勤職員	人
		左記のうち非常勤職員	人

外国人職員数	人	派遣職員数	人
--------	---	-------	---

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

1. はい

2. いいえ

問2-3 ●●年●●月●●日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（●●年●●月●●日～●●年●●月●●日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

採用者数	離職者数
常勤職員	
非常勤職員	
合計	

問3 採用や人材定額に関する課題をご回答ください。（自由記述）

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

貴事業所についてご記入ください。

事業所名
ご担当者氏名
電話番号
Eメールアドレス

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

職員票（訪問系）

介護人材実態調査 職員票（訪問系）

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む、ボランティア除く）が対象です。
 ※●●年●●月●●日現在の状況について、□□の中に、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供しているサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

☐	1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
☐	2. 介護福祉士業務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
☐	3. 介護福祉士業務者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
☐	4. 「1」、「2」のいずれにも該当しない

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

☐	1. 介護福祉士（認定介護福祉士を含む）
☐	2. 介護福祉士業務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
☐	3. 介護福祉士業務者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
☐	4. 「1」、「2」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態（1つに○）	1. 常勤職員	☐	2. 非常勤職員	☐
2) 性別（1つに○）	1. 男性	☐	2. 女性	☐
3) 年齢（1つに○）	1. 20歳未満	☐	2. 20代	☐
	3. 30代	☐	4. 40代	☐
	5. 50代	☐	6. 60代	☐
	7. 70代以上	☐		☐
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）	週		時間	★
※第1で回答した数値先における時間 休憩時間は除く。				
5) 現在の事業所での勤務年数（1つに○）	1. 1年以上	☐	2. 1年未満	☐
※第1で回答した数値先における時間 休憩時間は除く。				

問4 「問3の①で「2」と回答された方」現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

☐	1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】
☐	2. 介護以外の職場⇒【裏面に回答】
☐	3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
☐	4. 訪問介護・入浴、夜間対応型
☐	5. 小多機能、看多機能、定期巡回サービス
☐	6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
☐	7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
☐	8. その他の介護サービス

⇒【「3」、「8」の場合は問5へ】

問5 「問4で「3」～「8」と回答された方」ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内
	2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人（1つに○）	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ
	2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

※重複、誤記入
 ※訂正ください

職員票（訪問介護員向け）裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※表裏の間3「4」過去1週間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。
 （例）水曜日を記入する場合、水曜日（開始日）から次の水曜日までの7日間の勤務時間を記入してください。
 ※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居室における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります。（移動時間を含まない）。
 ※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。
 ※介護サービスには、掃除は除いてください。
 ※介護給付による報酬、介護予防給付・緊急要援による報酬は分けて記入してください。
 ※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助				その他の生活援助	
	記入例	60分	買い物	調理・配膳	掃除	20分	20分	20分
月		分	20分	分	分	分	分	分
火		分	分	分	分	分	分	分
水		分	分	分	分	分	分	分
木		分	分	分	分	分	分	分
金		分	分	分	分	分	分	分
土		分	分	分	分	分	分	分
日		分	分	分	分	分	分	分
週の合計		分	分	分	分	分	分	分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護		生活援助				その他の生活援助	
	記入例	30分	買い物	調理・配膳	掃除	20分	20分	20分
月		分	0分	分	分	分	分	分
火		分	分	分	分	分	分	分
水		分	分	分	分	分	分	分
木		分	分	分	分	分	分	分
金		分	分	分	分	分	分	分
土		分	分	分	分	分	分	分
日		分	分	分	分	分	分	分
週の合計		分	分	分	分	分	分	分

※自立生活支援・重症化防止のための見守り的援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助である状態でけいふ見守り等）は、身体介護に含む

週の合計時間
 時間

事業所票（施設・通所系）

介護人材実態調査【事業所票】施設・通所系

※●●年●月●日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本問票の送付先（郵便・メール等の宛先）となっている事業所で行うサービスについて、ご回答ください。

1、施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域型等型含む）、介護老人保健施設、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域型等型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2、通所系サービス

（通所介護（地域型等型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご記入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休職（育児休業等）中の職員は人数に含まないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習生・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

介護職員の総数	人	左記のうち常勤職員	人	左記のうち非常勤職員	人
外国人職員数	人	派遣職員数	人		人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

1. はい

2. いいえ

3. その他

問2-3 ●年●月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（●年●月●日～●年●月●日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

常勤職員	採用者数	離職者数
非常勤職員		
合計		

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

貴事業所についてご記入ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

続いて、調査票（05）の設問（問5）にお進みください。

15

職員票（施設・通所系）

問 5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※番号1つ記載				※番号1つ記載				(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む	(8)直前の職場について	
	(1)資格の取得、研修の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(1)現在の施設等	(2)直前の職場							
設問	1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2. 介護福祉士実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、 または (旧)ヘルパー2級 4. 上記のいずれも該当しない	1. 常勤職員 2. 非常勤職員	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 以上 8. 不明	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。 ※ 週の始まりは事業所ごとに任意の曜日で構いません。	1. 1年以上 ⇒ 【回答終了】 2. 1年未満 ⇒ 【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒ 【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒ 【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機能、看多機能、定期巡回サービス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 在宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒ 【「3」～「8」の場合は(8)へ】 9. 不明 ⇒ 【回答終了】	1. 現在の施設等と、同一の市区町村内 2. 現在の施設等と、別の市区町村内 3. 不明	1. 現在の施設等と、同一の法 人・グループ 2. 現在の施設等と、別の法人・グループ 3. 不明				
記入例	1	1	1	3	40 時間	2	2	1	2				
01					時間								
02					時間								
03					時間								
04					時間								
05					時間								
06					時間								
07					時間								
08					時間								
09					時間								
10					時間								
11					時間								
12					時間								
13					時間								
14					時間								
15					時間								

調査の概要

郡山市の介護人材確保における課題等を把握するため、人材確保のための取り組みや苦慮していること等の実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討するために実施しました。

調査対象	郡山市内介護サービス事業所・施設
調査対象数	547 か所
調査方法	令和8年1月19日～令和8年2月27日 メールによる送付、回答

調査票の配布と回答状況

種 類	配布数/依頼箇所	有効回答者数	有効回収率
介護人材確保・定着アンケート	547 か所	191 か所	34.9%

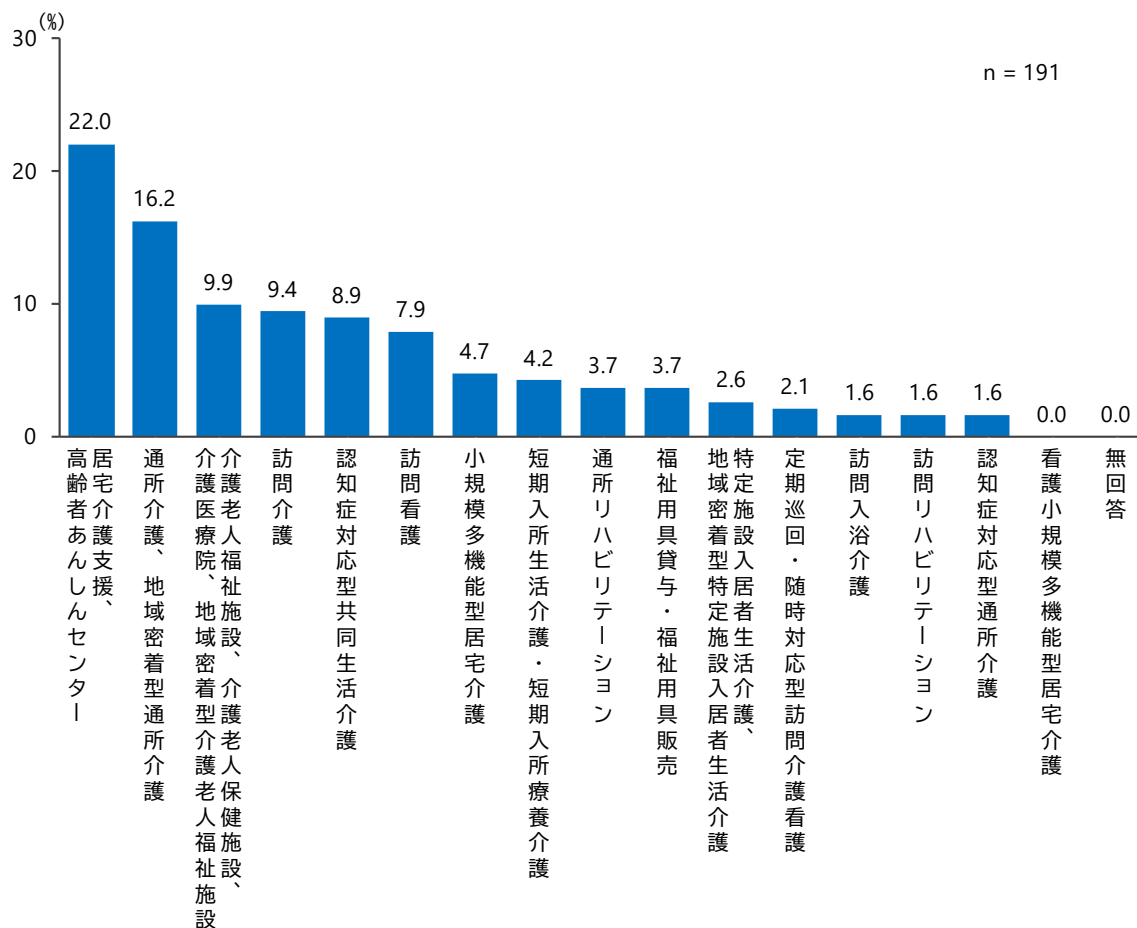
調査結果の見方

- ◇各設問のカテゴリー（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのnの値（number of cases）は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”には、当該設問への無回答の他、回答規則違反の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数第2位を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- ◇各設問番号は、実際のアンケート調査の番号を用いています。

(1) 行っているサービス

設問3 貴事業所で行っているサービスはどれですか。

※いずれか1つのみチェックしてください。

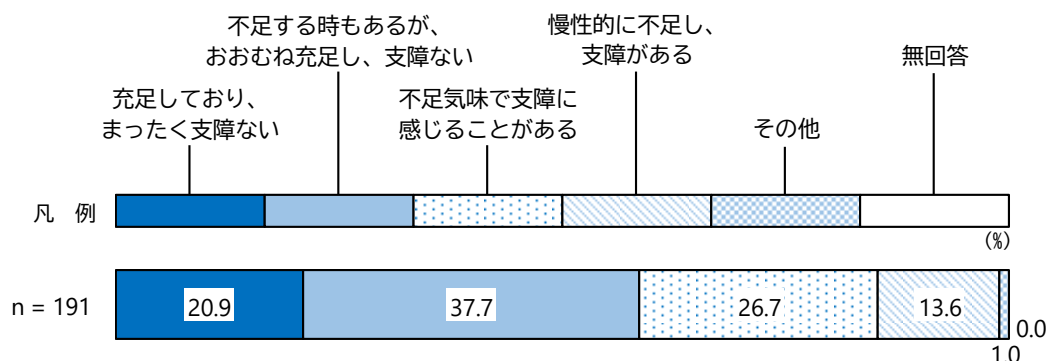


行っているサービスについて、「居宅介護支援、高齢者あんしんセンター」が22.0%と最も高く、次いで「通所介護、地域密着型通所介護」（16.2%）、「介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設」（9.9%）となっています。

(2) 介護人材の充足度

設問4 貴事業所の、介護人材の充足の度合いについてチェックしてください。

※いずれか1つのみチェックしてください。

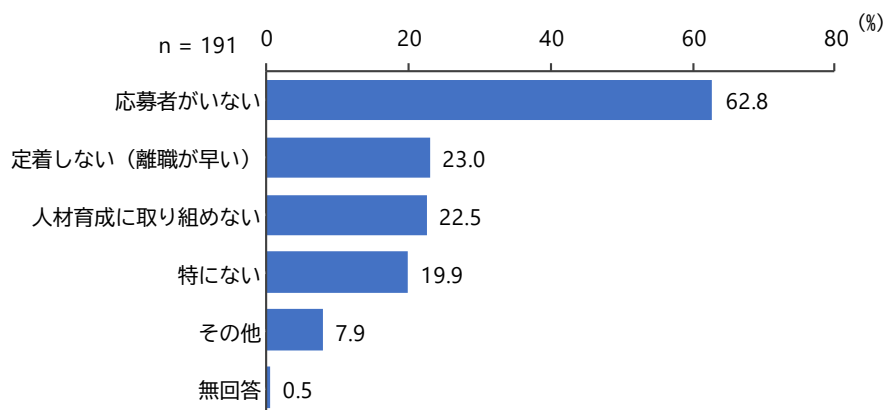


介護人材の充足度について、「不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない」が37.7%と最も高く、次いで「不足気味で支障に感じることもある」（26.7%）、「充足しており、まったく支障ない」（20.9%）となっています。

(3) 介護人材確保の課題

設問5 貴事業所で、介護人材の確保・定着で困っていることは何ですか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

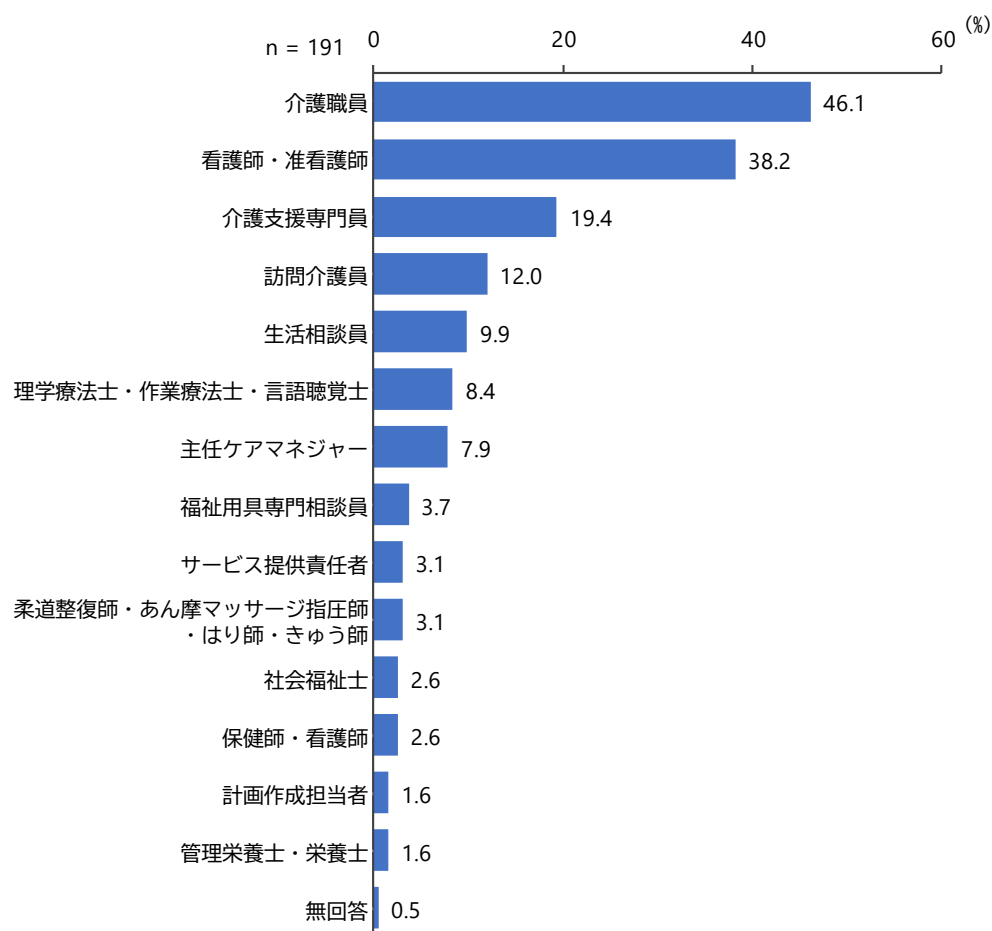


介護人材確保の課題について、「応募者がいない」が62.8%と最も高く、次いで「定着しない（離職が早い）」（23.0%）、「人材育成に取り組めない」（22.5%）となっています。

(4) 人材確保が困難な職種

設問6 貴事業所において、現在、特に人材確保に苦慮している職種はどれですか。

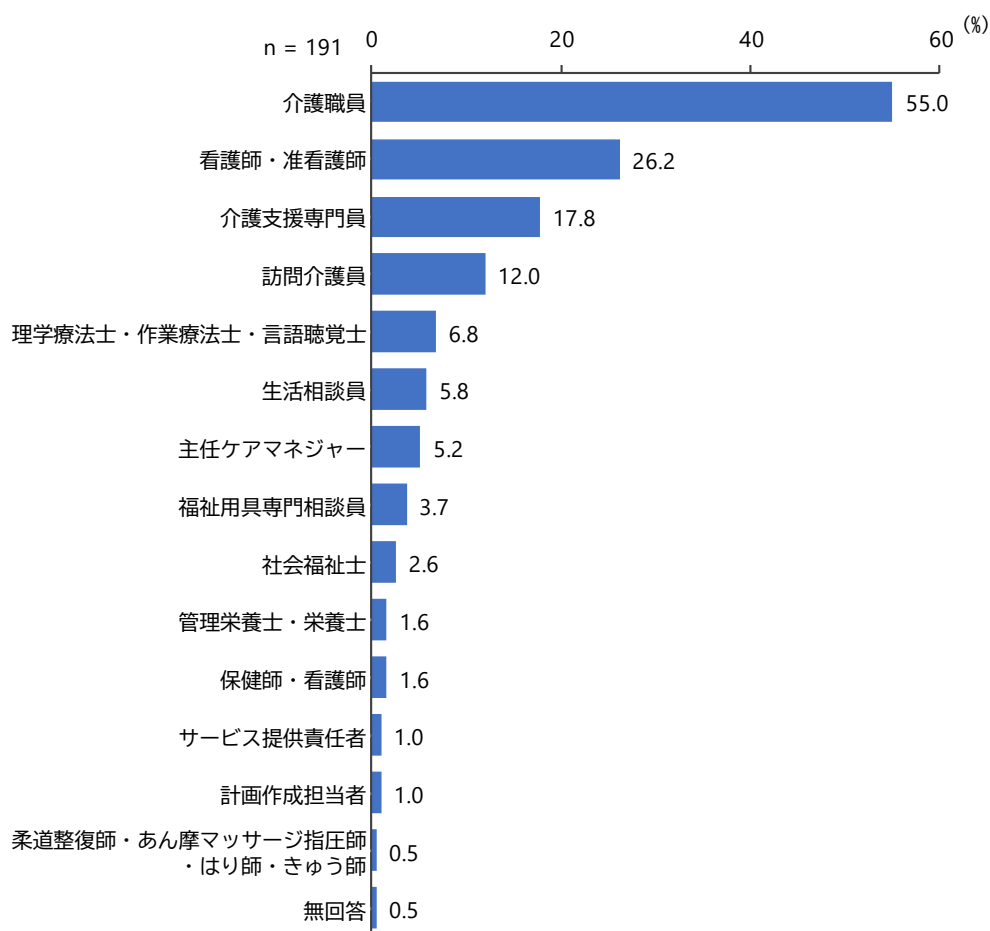
※上位3つまでをチェックしてください。



人材確保が困難な職種について、「介護職員」が 46.1%と最も高く、次いで「看護師・准看護師」(38.2%)、「介護支援専門員」(19.4%)となっています。

（５）退職者の多い職種（定着率の低い職種）

設問７ 貴事業所において、特に退職者の多い職種（定着率の低い職種）はどれですか。
※上位３つまでをチェックしてください。

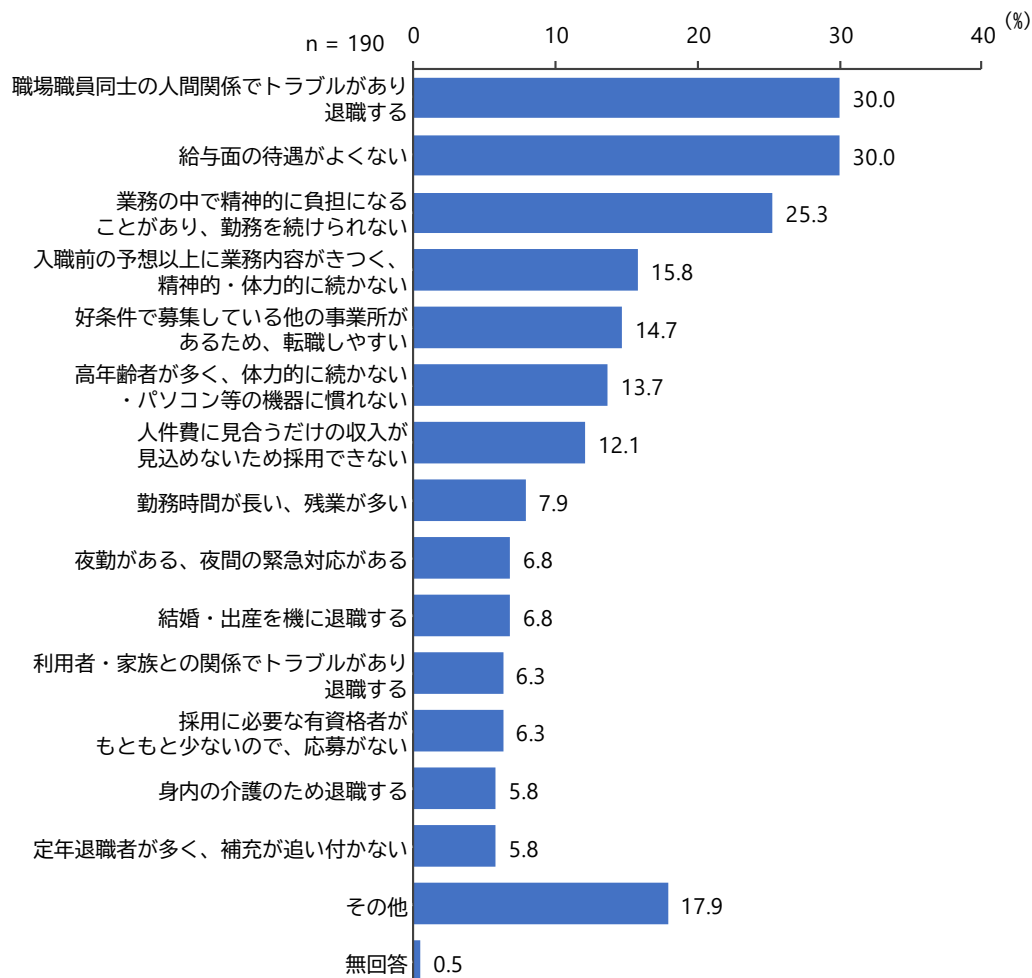


退職者の多い職種（定着率の低い職種）について、「介護職員」が55.0%と最も高く、次いで「看護師・准看護師」（26.2%）、「介護支援専門員」（17.8%）となっています。

(6) 人材不足の理由

【設問6、7で《人材不足・定着率が低い職種がある》と回答した事業所】

設問8 設問6、7の職種の人材が不足する理由、退職者が多い理由にチェックしてください。
※上位3つまでをチェックしてください。



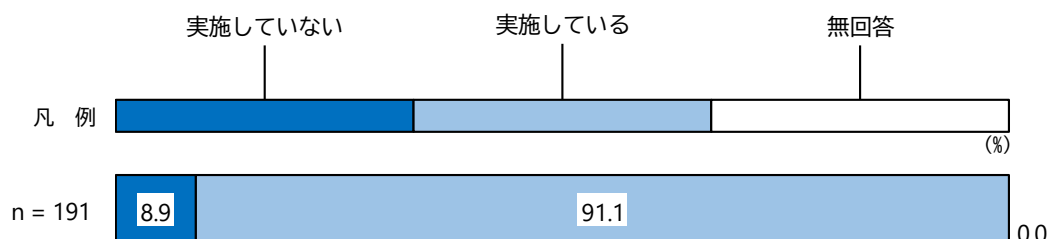
人材不足の理由について、「職場職員同士の人間関係でトラブルがあり退職する」「給与面の待遇がよくない」がともに30.0%と最も高く、次いで「業務の中で精神的に負担になることがあり、勤務を続けられない」(25.3%)、「入職前の予想以上に業務内容がきつく、精神的・体力的に続かない」(15.8%)となっています。

(7) 研修の実施

設問9 貴事業所で、研修は実施していますか。

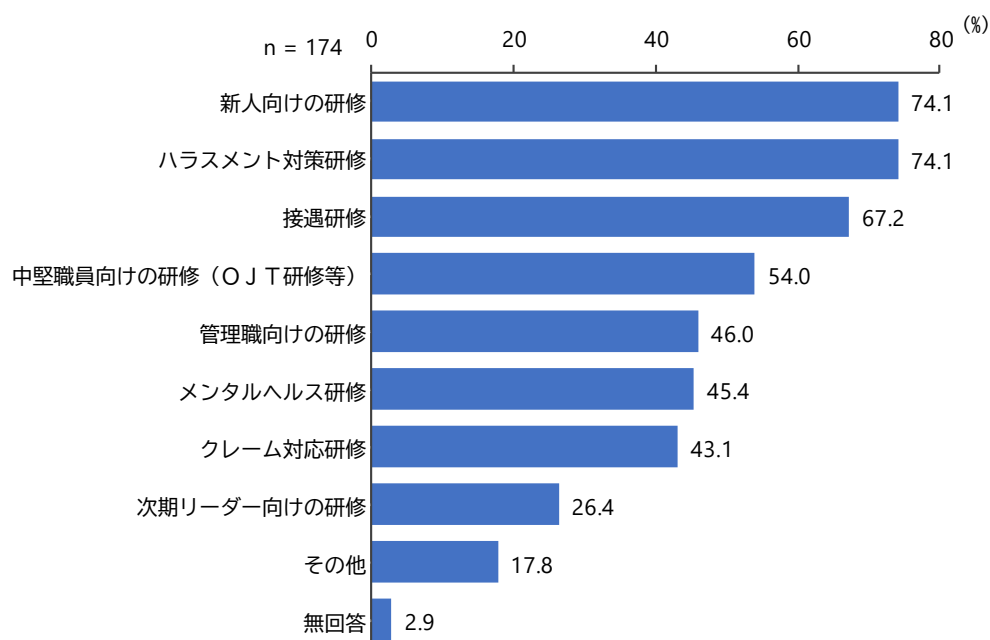
※「実施している」と答えた事業所においては、実施（予定）している研修内容すべてにチェックしてください。

《研修の実施の有無》



【設問9 《研修の実施の有無》で「実施している」と回答した事業所】

《実施（予定）している研修内容》

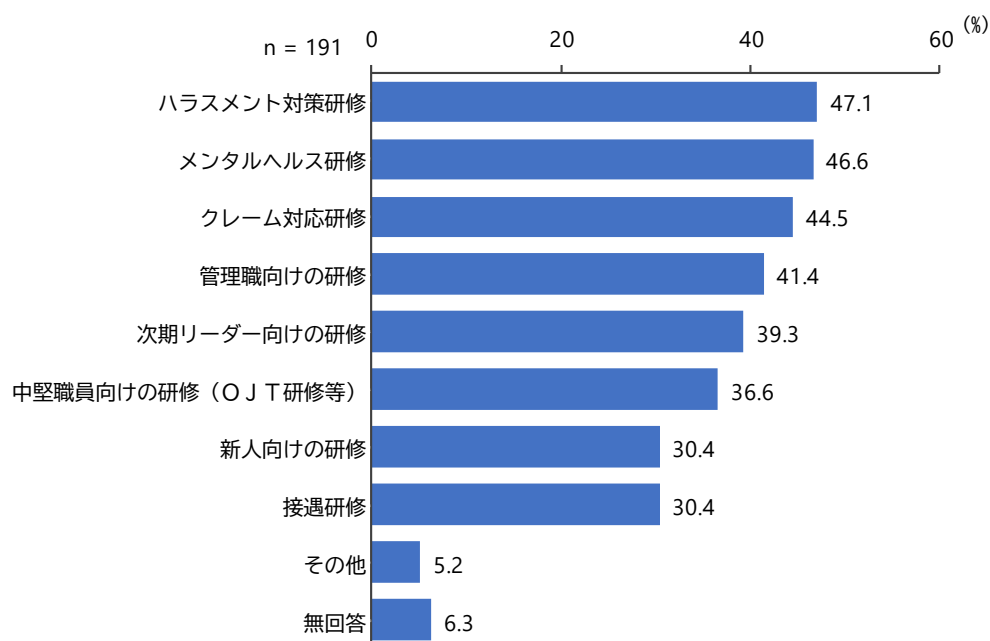


研修の実施の有無について、「実施している」が91.1%、「実施していない」が8.9%となっています。

実施（予定）している研修内容について、「新人向けの研修」「ハラスメント対策研修」がともに74.1%と最も高く、次いで「接遇研修」（67.2%）、「中堅職員向けの研修（OJT研修等）」（54.0%）となっています。

（８）参加したい行政主催の研修

設問 10 今後、行政が主催する場合、参加してみたい研修内容にチェックしてください。
※あてはまるものすべてにチェックしてください。

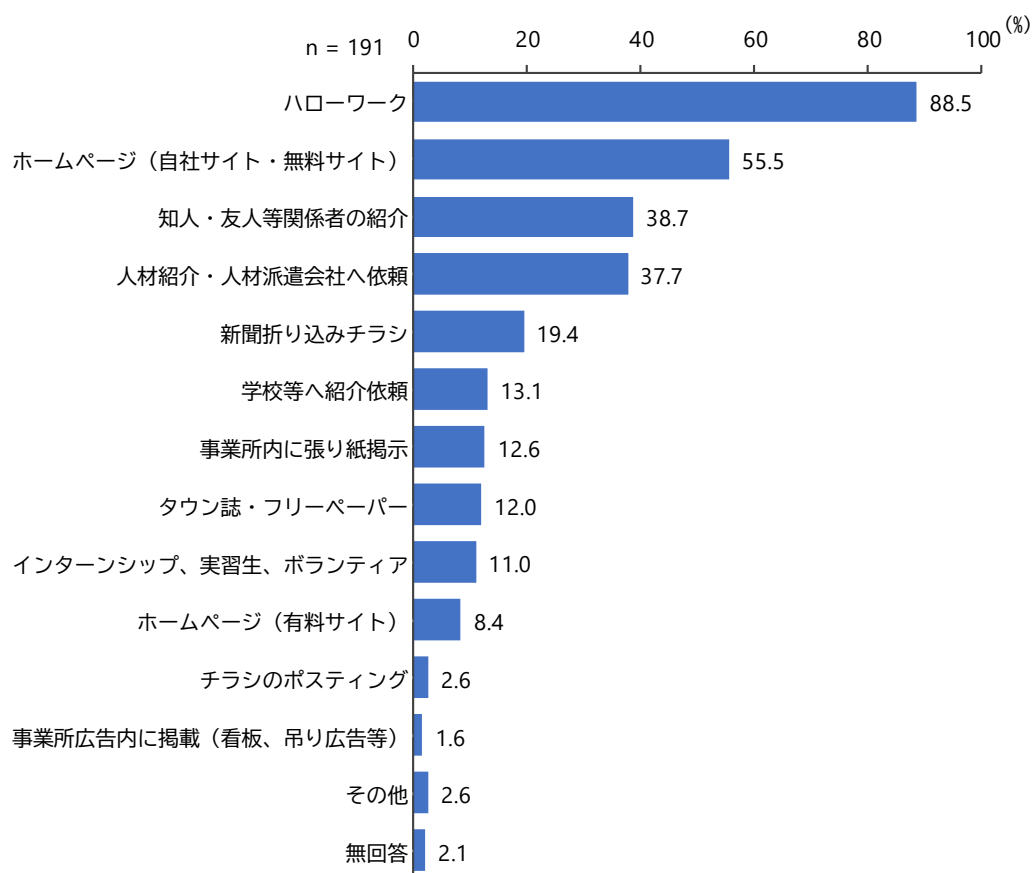


参加したい行政主催の研修について、「ハラスメント対策研修」が47.1%と最も高く、次いで「メンタルヘルス研修」（46.6%）、「クレーム対応研修」（44.5%）となっています。

（９）人材募集の方法・媒体

設問 11 人材募集を行う場合どのような方法・媒体を使っていますか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。



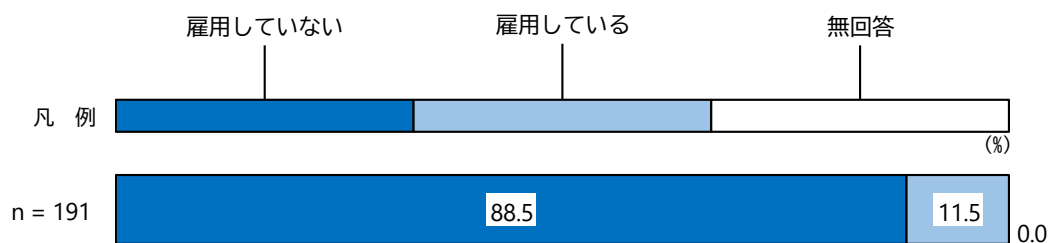
人材募集の方法・媒体について、「ハローワーク」が88.5%と最も高く、次いで「ホームページ（自社サイト・無料サイト）」（55.5%）、「知人・友人等関係者の紹介」（38.7%）となっています。

(10) 外国人従事者の雇用

設問 12 貴事業所では、外国人従事者を雇用していますか。

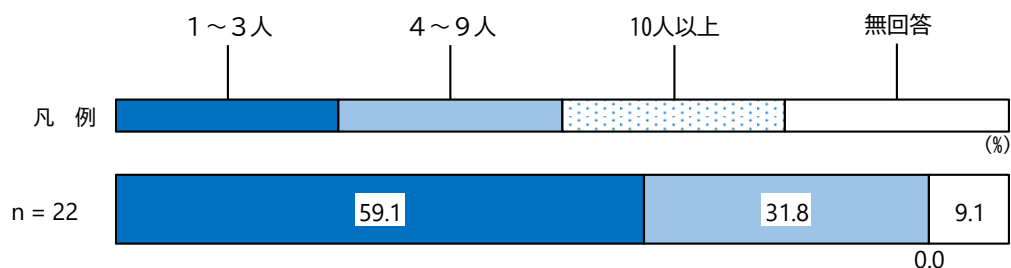
※「雇用している」と答えた事業所においては、人数をお答えください。

《外国人従事者の雇用の有無》



【設問 12 《外国人従事者の雇用の有無》で「雇用している」と回答した事業所】

《雇用している外国人従事者の人数》



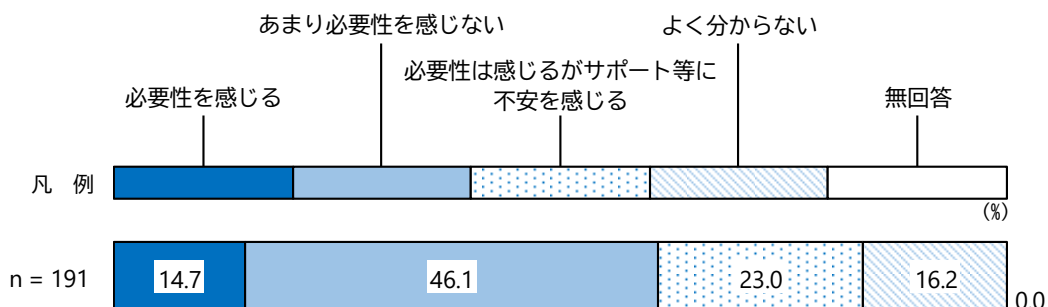
※ここでいう外国人とは、在留資格が「介護」「留学（介護福祉士取得）」「特定活動（介護福祉士候補者）」とします。以下同じです。

外国人従事者の雇用の有無について、「雇用していない」が 88.5%、「雇用している」が 11.5%となっています。

雇用している外国人従事者の人数について、「1～3人」が 59.1%、「4～9人」が 31.8%となっています。

(11) 外国人労働者を積極的に雇用する必要性

設問 13 外国人労働者を積極的に雇用する必要を感じますか

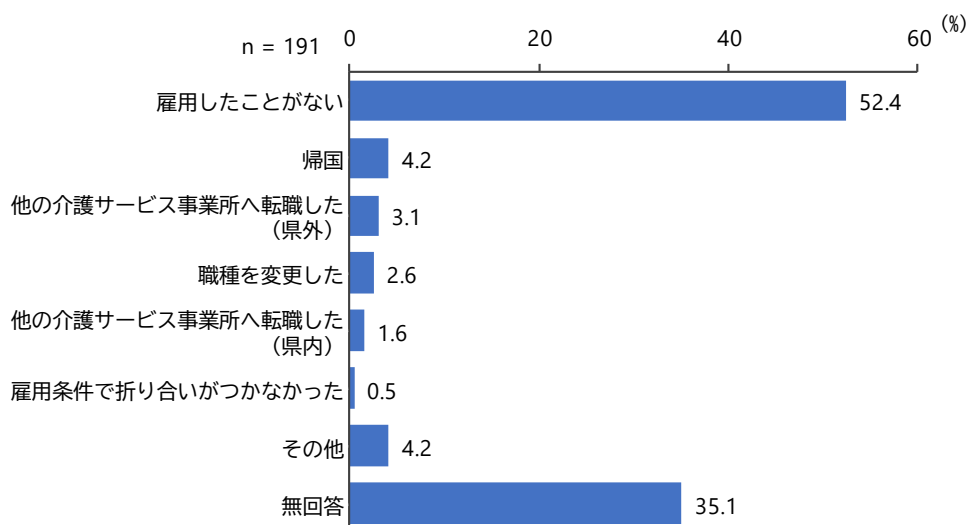


外国人労働者を積極的に雇用する必要性について、「あまり必要性を感じない」が46.1%と最も高く、次いで「必要性を感じるがサポート等に不安を感じる」（23.0%）、「必要を感じる」（14.7%）となっています。一方、「よく分からない」は16.2%となっています。

(12) 外国人労働者が退職した理由

設問 14 以前に外国人労働者を雇用していた事業所で退職された主な理由は何ですか

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

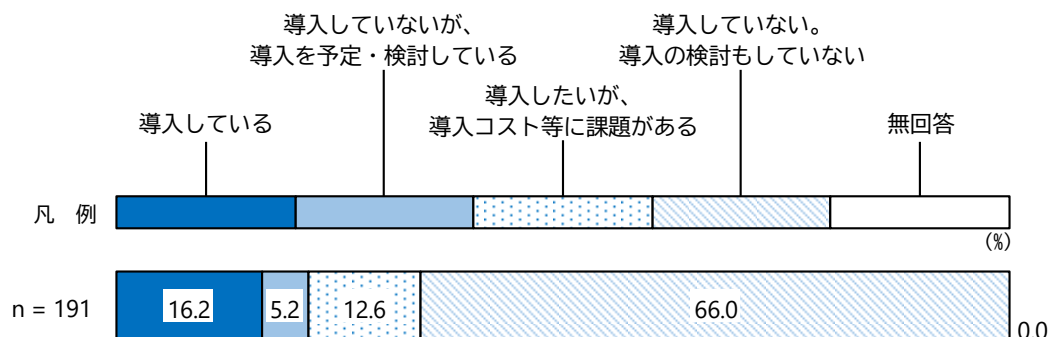


外国人労働者が退職した理由について、「帰国」が4.2%と最も高く、次いで「他の介護サービス事業所へ転職した(県外)」（3.1%）、「職種を変更した」（2.6%）となっています。一方、「雇用したことがない」は52.4%となっています。

(13) 介護ロボットの導入状況

設問 15 貴事業所では介護ロボットを導入していますか。

※いずれか1つのみチェックしてください。



※介護ロボットとは：情報を感知（センサー系）、判断（知能・制御系）、動作（駆動系）の3つの要素技術を有する、知育化した機械システムで、これを応用して高齢者の自立支援や介護者の負担軽減に役立つ介護機器のことです。

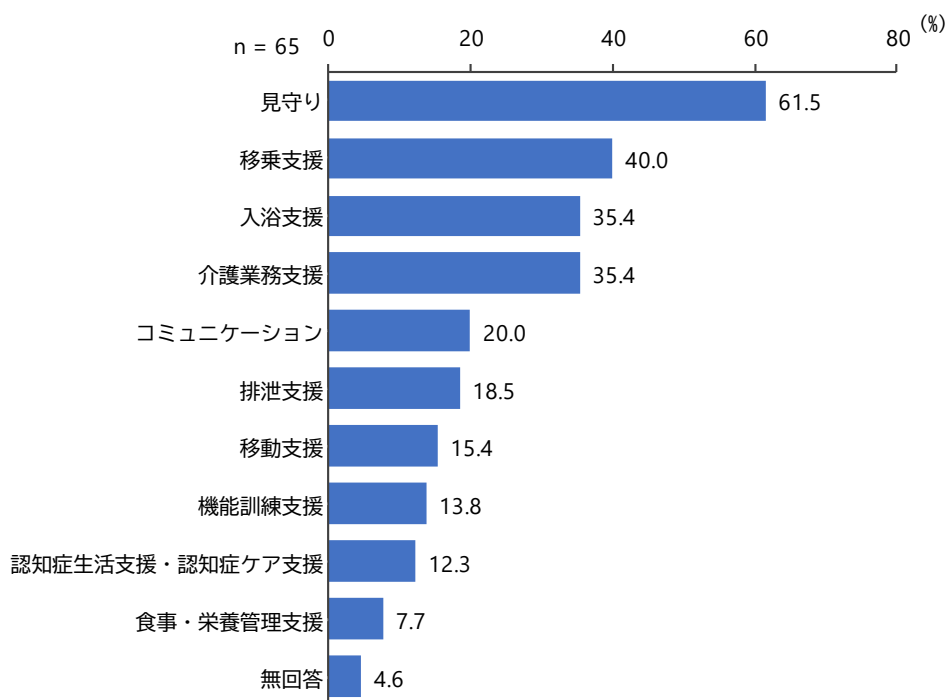
介護ロボットの導入状況について、「導入していない。導入の検討もしていない」が66.0%と最も高く、次いで「導入している」（16.2%）、「導入したいが、導入コスト等に課題がある」（12.6%）となっています。

(14) 導入（予定）の介護ロボットの種類

【設問 15 で《介護ロボットを導入（予定）しているまたは導入したい》と回答した事業所】

設問 15－1 設問 15 で 1～3 と答えた事業所は、導入（予定）しているまたは導入したい介護ロボットの種類はどれですか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。



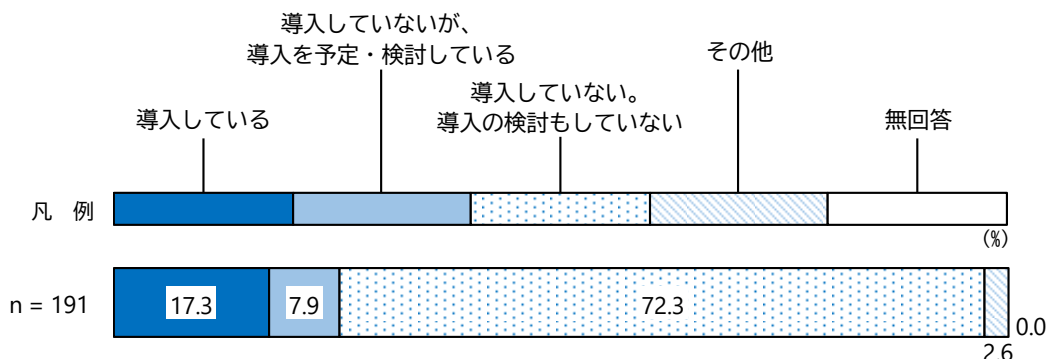
※分類は依頼文に添付した厚労省資料「ロボット技術の介護利用における重点分野」を参照してください。

導入（予定）の介護ロボットの種類について、「見守り」が 61.5%と最も高く、次いで「移乗支援」（40.0%）、「入浴支援」「介護業務支援」（ともに 35.4%）となっています。

(15) 介護助手（介護補助）の導入状況

設問 16 貴事業所で介護助手（介護補助）は導入していますか。

※いずれか1つのみチェックしてください。



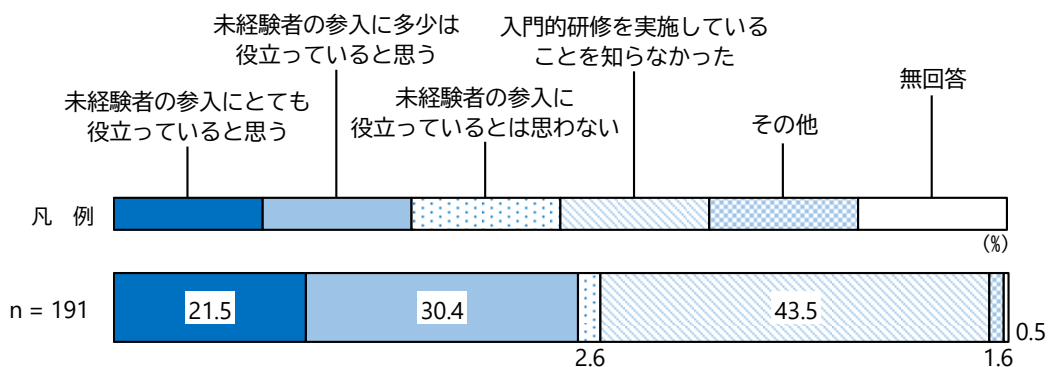
※介護助手とは、介護施設や事業所等で掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の話の相手等、身体介護以外の業務で、介護職員の補助的な業務を担う仕事です。ボランティアではありません。資格が必要ない職種です。

介護助手（介護補助）の導入状況について、「導入していない。導入の検討もしていない」が72.3%と最も高く、次いで「導入している」（17.3%）、「導入していないが、導入を予定・検討している」（7.9%）となっています。

(16) 入門的研修の評価

設問 17 郡山市では、介護分野への未経験者の参入を目的として「介護に関する入門的研修」を実施しています。入門的研修の評価についてチェックしてください。

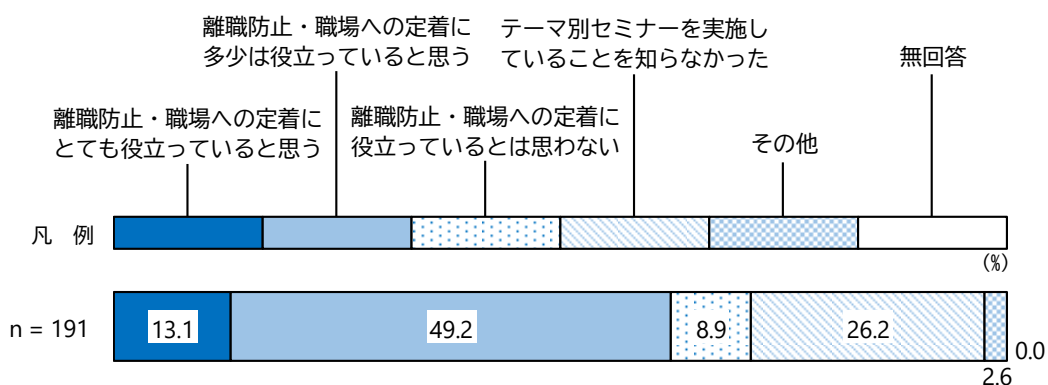
※いずれか1つのみチェックしてください。



入門的研修の評価について、「未経験者の参入に多少は役立っていると思う」が30.4%と最も高く、次いで「未経験者の参入にとっても役立っていると思う」（21.5%）、「未経験者の参入に役立っているとは思わない」（2.6%）となっています。一方、「入門的研修を実施していることを知らなかった」は43.5%となっています。

(17) テーマ別セミナーの評価

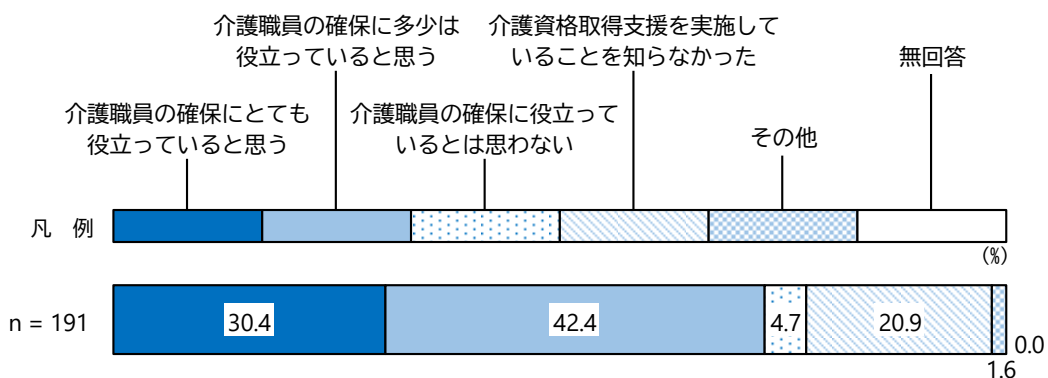
設問 18 郡山市では、介護現場における離職防止、職場への定着を目的として、「介護職テーマ別セミナー」を実施しています。テーマ別セミナーの評価についてチェックしてください。
※いずれか1つのみチェックしてください。



テーマ別セミナーの評価について、「離職防止・職場への定着に多少は役立っていると思う」が49.2%と最も高く、次いで「離職防止・職場への定着にとっても役立っていると思う」(13.1%)、「離職防止・職場への定着に役立っているとは思わない」(8.9%)となっています。一方、「テーマ別セミナーを実施していることを知らなかった」は26.2%となっています。

(18) 助成金の交付の評価

設問 19 郡山市では、介護職員の確保や、既に就労している介護職員の資質向上を目的として、「介護資格取得支援助成金の交付」を実施しています。助成金の交付の評価についてチェックしてください。
※いずれか1つのみチェックしてください。

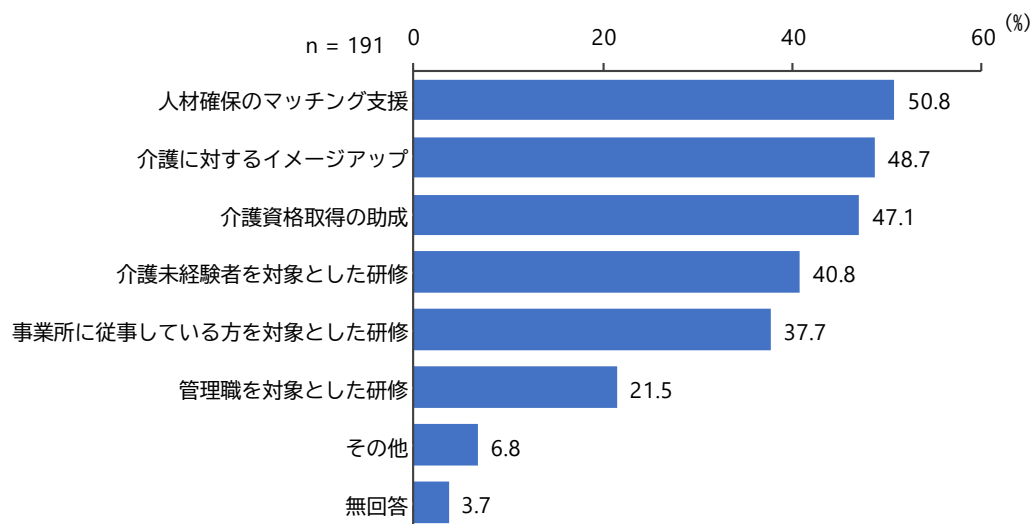


助成金の交付の評価について、「介護職員の確保に多少は役立っていると思う」が42.4%と最も高く、次いで「介護職員の確保にとっても役立っていると思う」(30.4%)、「介護職員の確保に役立っているとは思わない」(4.7%)となっています。一方、「介護資格取得支援を実施していることを知らなかった」は20.9%となっています。

(19) 介護人材の確保・定着のために力を入れてほしいこと

設問20 より良い介護人材を確保・定着のため、郡山市の政策で力を入れてほしいことについてチェックしてください。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。



介護人材の確保・定着のために力を入れてほしいことについて、「人材確保のマッチング支援」が50.8%と最も高く、次いで「介護に対するイメージアップ」(48.7%)、「介護資格取得の助成」(47.1%)となっています。

資料（調査票）

介護人材確保・定着に関するアンケート調査

- 郡山市内に所在する介護保険事業所におかれましては、下記の項目についてお答えくださいますようお願いいたします。
- ◆ 回答いただいた事業所名、担当者名など、法人個人が特定できるような公表は行いません。
 - ◆ 令和8年1月1日時点の状況で回答してください。
 - ◆ 各事業所単位で回答してください。1つの拠点で2つ以上の介護保険サービス事業を行っている場合は、それぞれ別に回答してください。
 - ◆ 集計結果は「第十次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画」の策定の参考いたします。

（お問合せ先 郡山市役所介護保険課 電話：024(924)3021）

アンケートは郡山市オンライン申請サービスよりご回答ください。

URL:
<https://ipost.task-aspp.net/cu/072036/ea/residents/procedures/apply/6a243f18-5979-4931-8e84-644f6a4bb3b6/start>
よりご回答ください。

QRコード:



以下は、当該ウェブサイトと同じアンケート内容です。回答書の作成等にご活用ください。

No.	項目名	入力内容
1	事業所名【必須】	[全角]
2	回答担当者【必須】	[全角]

1

7	貴事業所において、特に退職者の多い職種(定率率の低い職種)はどれですか。 ※ 上位3つまでをチェックしてください。	☐ 介護職員 ☐ 訪問介護員 ☐ サードス提供責任者 ☐ 看護師・准看護師 ☐ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ☐ 柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 ☐ 生活相談員 ☐ 計画作成担当者 ☐ 介護支援専門員 ☐ 管理栄養士・栄養士 ☐ 主任ケアマネジャー ☐ 社会福祉士 ☐ 保健師・看護師 ☐ 福祉用具専門相談員
8	設問 6、7 の職種の人材が不足する理由、退職者が多い理由にチェックしてください。 ※ 上位3つまでをチェックしてください。	☐ 利用者・家族との関係でトラブルがあり退職する ☐ 職場(職員同士)の人間関係でトラブルがあり退職する ☐ 勤務時間が長い、残業が多い ☐ 夜勤がある、夜間の緊急対応がある ☐ 給与面の待遇がよくない ☐ 結婚・出産を機に退職する ☐ 身内の介護のため退職する ☐ 入職前の予想以上に業務内容がきつ、精神的・体力的に続かない ☐ 業務の中で精神的に負担になることがあり、勤務を続けられない ☐ 人件費に見合うだけの収入が見込めないため採用できない ☐ 定年退職者が多く、補充が追いつかない ☐ 高齢者が多く、体力的に続かないパソコン等の機器に慣れない ☐ 好条件で募集している他の事業所があるため、転職しやすい ☐ 採用に必要な資格者がもともと少ないので、応募がない ☐ その他

3

3	貴事業所で行っているサービスはどれですか。【必須】 ※ いずれか1つのみチェックしてください。	☐ 居宅介護支援、高齢者あんしんセンター ☐ 訪問介護 ☐ 訪問入浴介護 ☐ 訪問看護 ☐ 訪問リハビリテーション ☐ 通所介護、地域密着型通所介護 ☐ 通所リハビリテーション ☐ 短期入所生活介護・短期入所療養介護 ☐ 特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護 ☐ 福祉用具貸与・福祉用具販売 ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ☐ 認知症対応型通所介護 ☐ 小規模多機能型居宅介護 ☐ 看護小規模多機能型居宅介護 ☐ 認知症対応型共同生活介護 ☐ 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設
4	貴事業所の、介護人材の充足の度合いについてチェックしてください。 ※ いずれか1つのみチェックしてください。	☐ 充足しており、ほぼ支障ない ☐ 不足する時もあるが、おおむね充足し、支障ない ☐ 不足気味で支障を感じることがある ☐ 慢性的に不足し、支障がある ☐ その他()
5	貴事業所で、介護人材の確保・定着で困っていることは何ですか。 ※ あてはまるものすべてにチェックしてください。	☐ 応募者がいない ☐ 定着しない(離職が早い) ☐ 人材育成に取り組めない ☐ 特になし ☐ その他 []
6	貴事業所において、現在、特に人材確保に苦慮している職種はどれですか。 ※ 上位3つまでをチェックしてください。	☐ 介護職員 ☐ 訪問介護員 ☐ サービス提供責任者 ☐ 看護師・准看護師 ☐ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ☐ 柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 ☐ 生活相談員 ☐ 計画作成担当者 ☐ 介護支援専門員 ☐ 管理栄養士・栄養士 ☐ 主任ケアマネジャー ☐ 社会福祉士 ☐ 保健師・看護師 ☐ 福祉用具専門相談員

2

9	貴事業所で、研修は実施していますか。 ※「実施している」と答えた事業所においては、実施(予定)している研修内容すべてにチェックしてください。	【研修は、社内研修、外部研修それぞれを含みます。】 ☐ 実施していない ☐ 実施している ☐ 新人向けの研修 ☐ 中堅職員向けの研修(OJT 研修等) ☐ 次期リーダー向けの研修 ☐ 管理職向けの研修 ☐ 接遇研修 ☐ クレーム対応研修 ☐ ハラスメント対策研修 ☐ メンタルヘルズ研修 ☐ その他()
10	今後、行政が主催する場合、参加してみたい研修内容にチェックしてください。 ※ あてはまるものすべてにチェックしてください。	☐ 新人向けの研修 ☐ 中堅職員向けの研修(OJT 研修等) ☐ 次期リーダー向けの研修 ☐ 管理職向けの研修 ☐ 接遇研修 ☐ クレーム対応研修 ☐ ハラスメント対策研修 ☐ メンタルヘルズ研修 ☐ その他()
11	人材募集を行う場合どのような方法・媒体を使っていますか。 ※ あてはまるものすべてにチェックしてください。	☐ ハローワーク ☐ 事業所内に張り紙掲示 ☐ 新聞折り込みチラシ ☐ 学校等へ紹介依頼 ☐ インターネット、実習生、ボランティア ☐ 知人・友人等関係者の紹介 ☐ ホームページ(自社サイト・無料サイト) ☐ ホームページ(有料サイト) ☐ タウン誌・フリーペーパー ☐ チラシのポスティング ☐ 事業所広告内に掲載(看板、吊り広告等) ☐ 人材紹介・人材派遣会社へ依頼 ☐ その他()
12	貴事業所では、外国人従事者を雇用していますか。 ※「雇用している」と答えた事業所においては、人数をお答えください。	【「どこでいう」外国人従事者」とは、EPA(経済連携協定)、在留資格「介護」、技能実習、特定技能1号、永住者のいずれか)とします。以下同じです。】 ☐ 雇用していない ☐ 雇用している (名) [全角数字のみ]

4

13	外国人労働者を積極的に雇用する必要を感じますか	☐ 必要性を感じる ☐ あまり必要性を感じない ☐ 必要性は感じるがサポート等に不安を感じる ☐ よく分からない
14	以前に外国人労働者を雇用していた事業所で退職された主な理由は何ですか ※ あてはまるものすべてにチェックしてください。	☐ 雇用したことがない ☐ 雇用条件で折り合いがつかなかった ☐ 職種を変更した ☐ 他の介護サービス事業所へ転職した(県内) ☐ 他の介護サービス事業所へ転職した(県外) ☐ 帰国 ☐ その他()
15	貴事業所では介護ロボットを導入していますか。 ※ いずれか1つのみチェックしてください。	【介護ロボットとは 情報を感じ取(センサー系)、判断(知能・制御系)、動作(駆動系)の3つの要素技術を有する、知覚化した機械システムで、これを用いて高齢者の自立支援や介護者の負担軽減に役立つ介護機器のことです。】 ☐ 1 導入している ☐ 2 導入していないが、導入を予定・検討している ☐ 3 導入したいが、導入コスト等に課題がある ☐ 4 導入していない。導入の検討もしていない
15-1	設問 15 で1～3と答えた事業所は、導入(予定)しているまたは導入したい介護ロボットの種類はどれですか。 ※ あてはまるものすべてにチェックしてください。	【分類は依頼文に添付した厚生労働省資料「介護テクノロジー利用の重点分野の全体図と普及率」を参考にしてください。】 ☐ 移乗支援 ☐ 移動支援 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援 ☐ 見守り ☐ コミュニケーション ☐ 介護業務支援 ☐ 機能訓練支援 ☐ 食事・栄養管理支援 ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援
16	貴事業所で介護助手(介護補助)は導入していますか。 ※ いずれか 1 つのみチェックしてください。	【介護助手とは、介護施設や事業所等で掃除や食事の配膳・片づけ、ベッドメイキング、利用者の話の相手等、身体介護以外の業務で、介護職員の補助的な業務を担う仕事です。ボランティアではありません。資格が必要ない職種です。】 ☐ 導入している ☐ 導入していないが、導入を予定・検討している ☐ 導入していない。導入の検討もしていない ☐ その他()
17	郡山市では、介護分野への未経験者の参入を目的とし	☐ 未経験者の参入にとても役立っていると思う

5

	で「介護に関する入門的研修」を実施しています。入門的研修の評価についてチェックしてください。 ※ いずれか 1 つのみチェックしてください。	☐ 未経験者の参入に多少は役立っていると思う ☐ 未経験者の参入に役立っているとは思わない ☐ 入門的研修を実施していることを知らなかった ☐ その他
18	郡山市では、介護現場における離職防止、職場への定着を目的として、「介護職マナーセミナー」を実施しています。テーマ別セミナーの評価についてチェックしてください。 ※ いずれか 1 つのみチェックしてください。	☐ 離職防止・職場への定着にとても役立っていると思う ☐ 離職防止・職場への定着に多少は役立っていると思う ☐ 離職防止・職場への定着に役立っているとは思わない ☐ テーマ別セミナーを実施していることを知らなかった ☐ その他
19	郡山市では、介護職員の確保や、既に就労している介護職員の資質向上を目的として、「介護資格取得支援助成金の交付」を実施しています。助成金の交付の評価についてチェックしてください。 ※ いずれか 1 つのみチェックしてください。	☐ 介護職員の確保にとても役立っていると思う ☐ 介護職員の確保に多少は役立っていると思う ☐ 介護職員の確保に役立っているとは思わない ☐ 介護資格取得支援を実施していることを知らなかった ☐ その他
20	より良い介護人材を確保・定着のため、郡山市の政策で力を入れてほしいことについてチェックしてください。 ※あてはまるものすべてにチェックしてください。	☐ 介護未経験者を対象とした研修 ☐ 事業所に従事している方を対象とした研修 ☐ 管理職を対象とした研修 ☐ 介護資格取得の助成 ☐ 人材確保のマッチング支援 ☐ 介護に対するイメージアップ ☐ その他

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

6